

統計でみる大阪府のがん  
がんの征圧を目指して

2005年12月

大阪府立成人病センター調査部

## はじめに

人口動態統計特殊報告「都道府県別年齢調整死亡率」によると、大阪府におけるがん年齢調整死亡率は、1985年以來一貫して全国47都道府県中男女ともワーストワン（2000年値、人口10万対、大阪：男245.0、女117.2、全国：男214.0、女103.5。標準人口は1985年日本人モデル人口）であり、大阪府では、がんの予防、診断、治療を含めた総合的かつ効果的ながん対策が、疾病対策上の最重要課題である。

がん対策を効果的かつ効率的に進めるには、実態把握と現状分析がきわめて重要である。大阪府では、1962年から大阪府全域を対象とする悪性新生物登録事業（地域がん登録事業）が実施され、がんの罹患、がん患者の医療、予後についての成績が年報として報告され、がん対策の基礎資料として活用されてきたが、保健所・市区町村の第一線の保健医療担当者には、年次推移や地域毎の特徴が把握し難いという指摘もあった。また、がん予防の観点から、がんの発生と生活習慣との関連、および、検診の効果に関する科学的根拠を要約して欲しいという要請もあった。

この度、このような要請に答えるものとして大阪府のがんの統計を取りまとめた。図表を多用するなどして分かりやすく記述した。がん対策の推進にあたって幅広くご活用頂ければ幸いである。

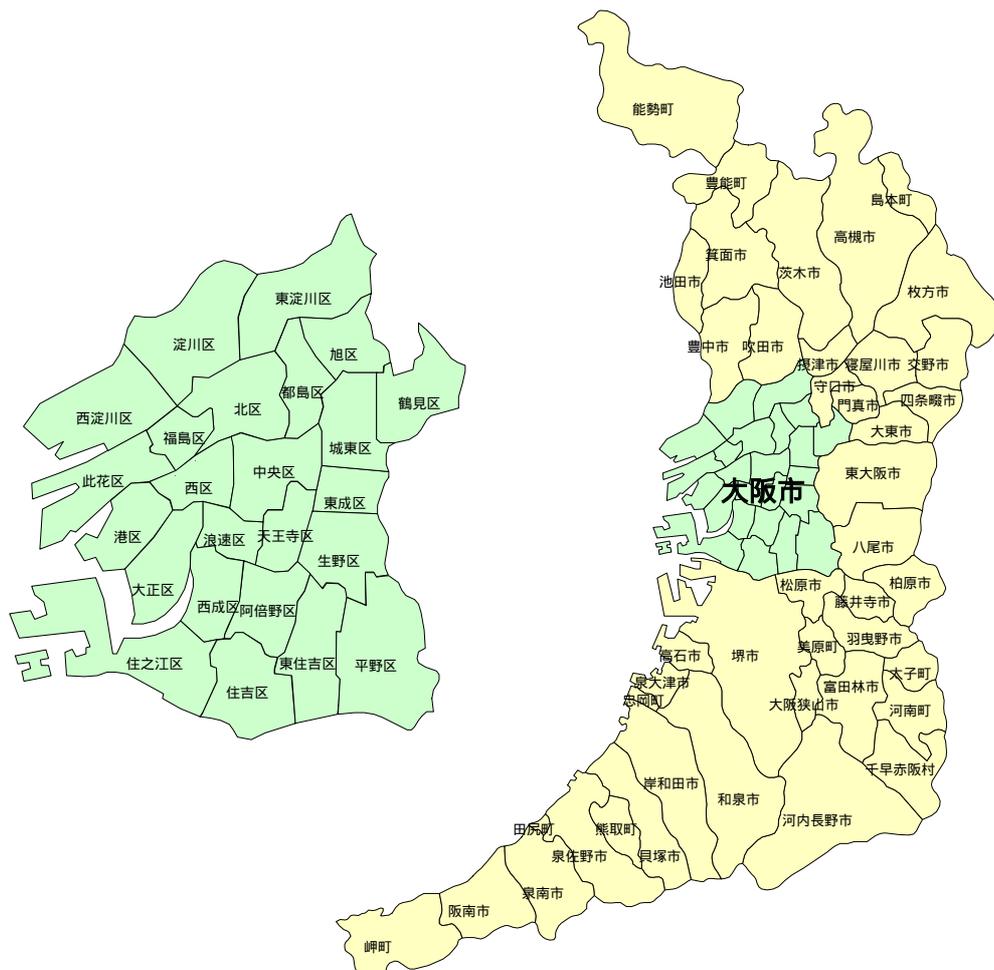
大阪府立成人病センター調査部

# 目 次

はじめに

第1章 大阪府におけるがんの現状	1
1. 大阪府の特徴	
(1) 死亡率	3
(2) 死亡率と罹患率	6
【参考】死亡率と罹患率 - 米国 -	9
(3) 生存率	15
(4) がん罹患の将来推計	16
2. 大阪府内各地域の特徴	
(1) 市区町村別の標準化死亡比	20
(2) 市区町村別の標準化罹患比	26
(3) 市区町村別の死亡率と罹患率	33
(4) 医療圏別の生存率	37
(5) 市区町村の社会経済特性とがん	43
第2章 がんと生活習慣	45
1. 大阪府における喫煙の現状	47
2. リスクとなる生活習慣、予防となる生活習慣	48
第3章 がんと検診	49
1. 大阪府における検診の受診状況	51
2. 有効ながん検診	53
第4章 効果的ながん対策を目指して	55
1. 効果的ながん対策が求められる大阪府	57
2. 死亡率減少効果が期待できる大阪府がん対策とは	58
3. まずは「効果的なたばこ対策」からはじめましょう！	59
資 料	61

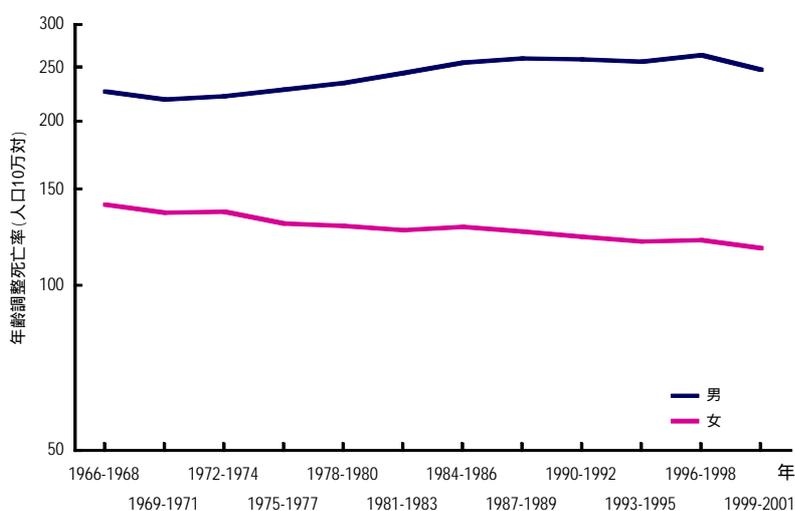
# 第1章 大阪府におけるがんの現状



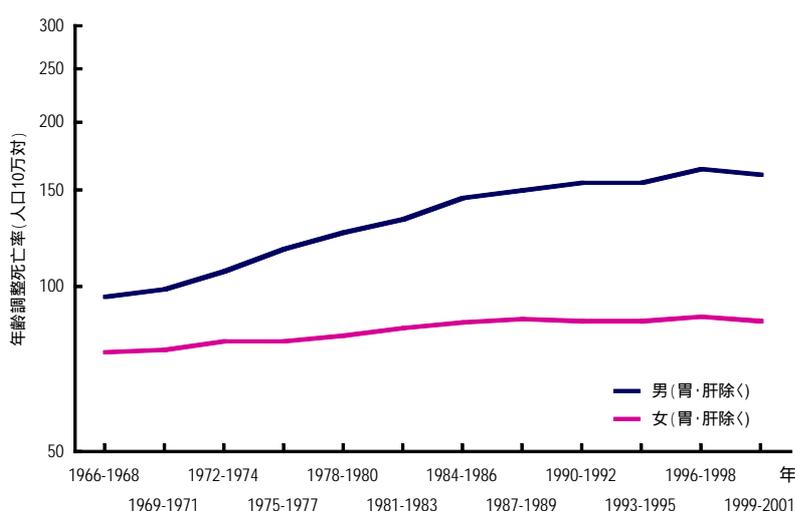
# 1. 大阪府の特徴

## (1) 死亡率

全がんの年齢調整死亡率は男性では増加から近年減少に転じ、女性では減少傾向  
 胃と肝臓を除く全がんの死亡率は、男性では増加から近年横ばい、女性では横ばい  
 死亡率が増加しているがんは、男性では**大腸**、女性では**大腸・肝臓・乳房**  
 死亡率が増加から近年横ばいのがんは、男女ともには**肺**  
 死亡率が減少または増加から近年減少に転じたがんは、男性では**胃・肝臓**、女性では  
**胃・子宮**



年齢調整死亡率の動向 - 全部位(男女)

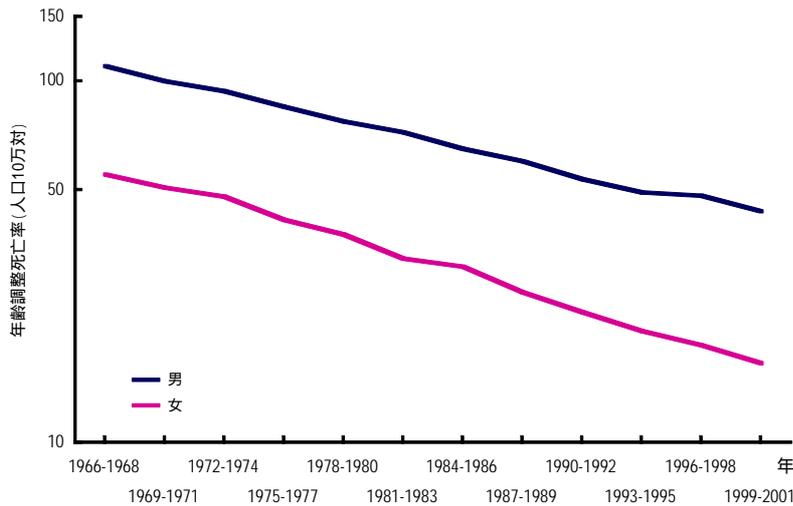


年齢調整死亡率の動向 - 全部位(胃・肝を除く)(男女)

大阪府におけるがん死亡の動向を、男女別に示した。全がんの年齢調整死亡率（標準人口は1985年日本モデル人口）は、男性では1996 - 1998年に263.9まで増加したが、その後は減少に転じた。女性では、1966 - 1968年以降減少傾向にあり、1999 - 2001年では117.2である。

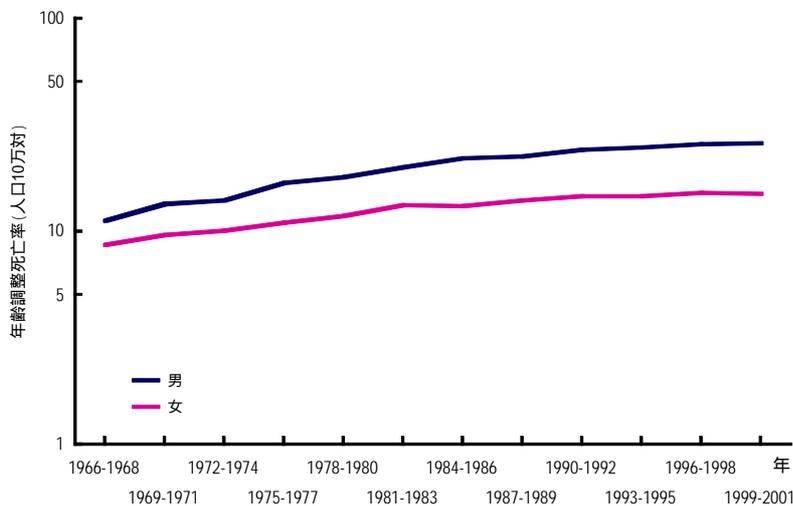
胃と肝臓を除く全がん死亡の動向を、男女別に示した。男性では1996 - 1998年に164.5まで増加し、その後はほぼプラトーである。女性では、1984 - 1986年以降はほぼプラトーに推移している。

なお、胃がんは生活水準の向上や電気冷蔵庫の普及などによる食習慣の変化に伴い、肝がんは肝炎ウイルス感染者の減少により、罹患率がともに減少しつつある。ここでは、胃と肝臓以外の全がん死亡率の動向を観察しているが、がん対策が死亡率を低下させるには至っていない。



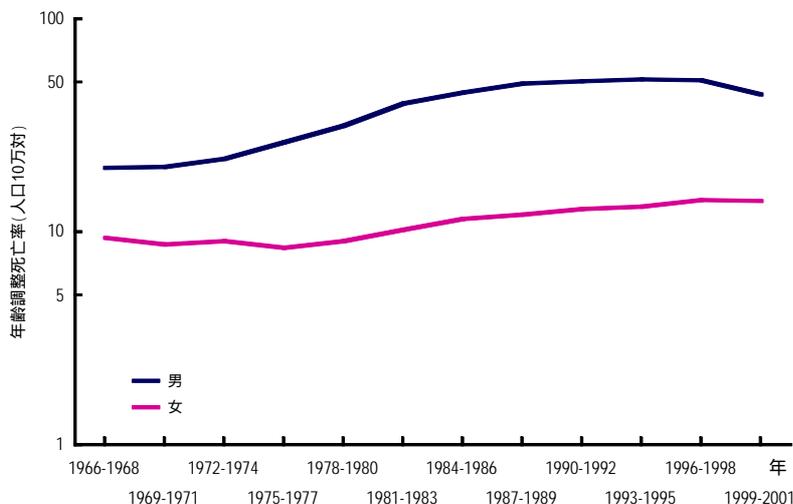
大阪府における胃がんの死亡の動向を、男女別に示した。年齢調整死亡率は、男性では109.9（1966 - 1968年）から43.5（1999 - 2001年）へ、女性では55.2から16.6へ減少しており、女性において減少傾向が大きい。

年 齢 調 整 死 亡 率 の 動 向 - 胃 (男 女)



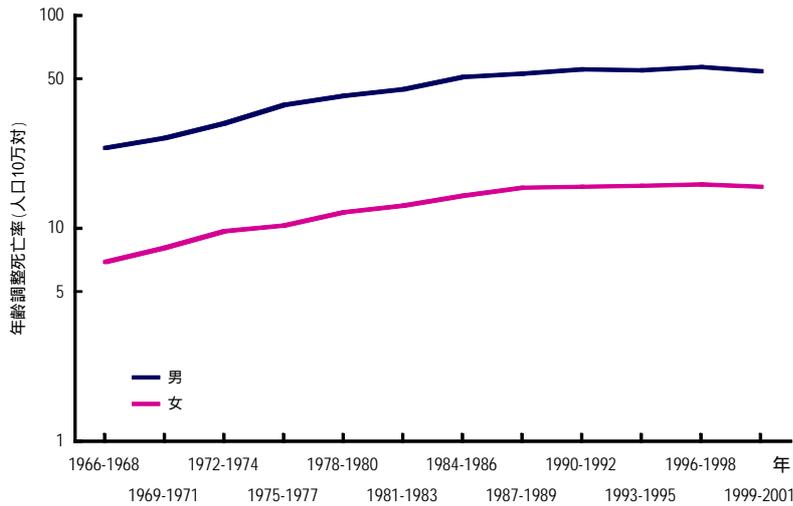
大阪府における大腸がんの死亡の動向を、男女別に示した。年齢調整死亡率は、男性では11.2（1966 - 1968年）から25.9（1999 - 2001年）へ、女性では8.6から15.0へと、共に約2倍の増加である。

年 齢 調 整 死 亡 率 の 動 向 - 大 腸 (男 女)

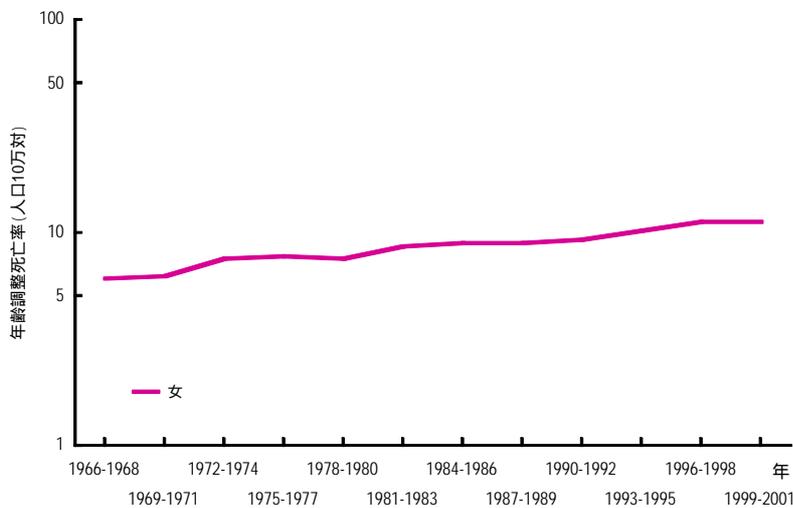


大阪府における肝臓がんの死亡の動向を、男女別に示した。年齢調整死亡率は、男性では1993 - 1995年に51.8まで増加したが、その後は減少に転じ、1999 - 2001年は44.2である。女性では1975 - 1977年以降増加しており、1999 - 2001年は13.9である。

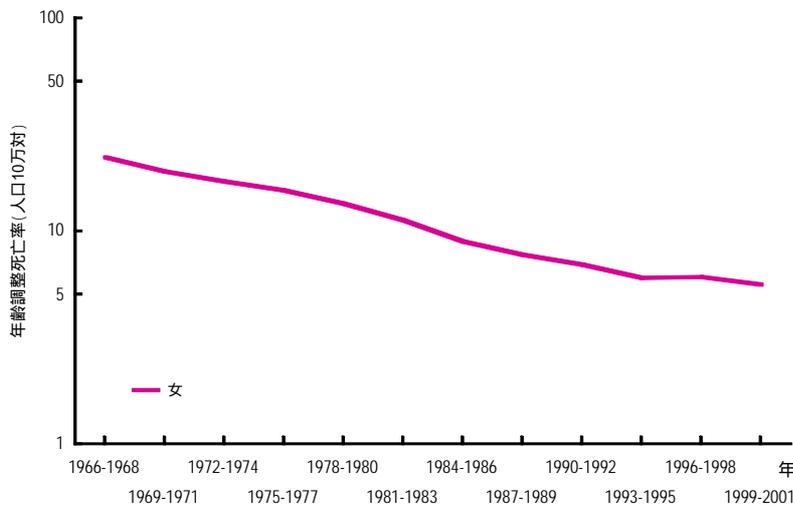
年 齢 調 整 死 亡 率 の 動 向 - 肝 臓 (男 女)



年 齢 調 整 死 亡 率 の 動 向 - 肺 (男 女)



年 齢 調 整 死 亡 率 の 動 向 - 乳 房 (女)



年 齢 調 整 死 亡 率 の 動 向 - 子 宮

大阪府における肺がんの死亡の動向を、男女別に示した。年齢調整死亡率は、1966 - 1968 年から 1999 - 2001 年にかけて、男性では 2.3 倍、女性では 2.2 倍に増加した。ただし、男女ともに 1990 - 1992 年以降は横ばいで、男性では 55 - 56、女性では 15 - 16 を推移しているものの、減少傾向は認められていない。

大阪府における女性乳がんの死亡の動向を示した。年齢調整死亡率は 1966 - 1968 年以降増加しており、6.1 (1966 - 1968 年) から 11.2 (1999 - 2001 年) と、35 年間で約 2 倍の増加である。

大阪府における子宮がんの死亡の動向を示した。年齢調整死亡率は、22.2 (1966 - 1968 年) から 5.6 (1999 - 2001 年) へと減少している。

## (2) 死亡率と罹患率

男性における近年の全がん死亡率の減少は、罹患率の減少に平行。女性では減少する全がん死亡率に対し罹患率は横ばい

胃および肝臓を除く全がんの罹患率は、男女ともに近年横ばい

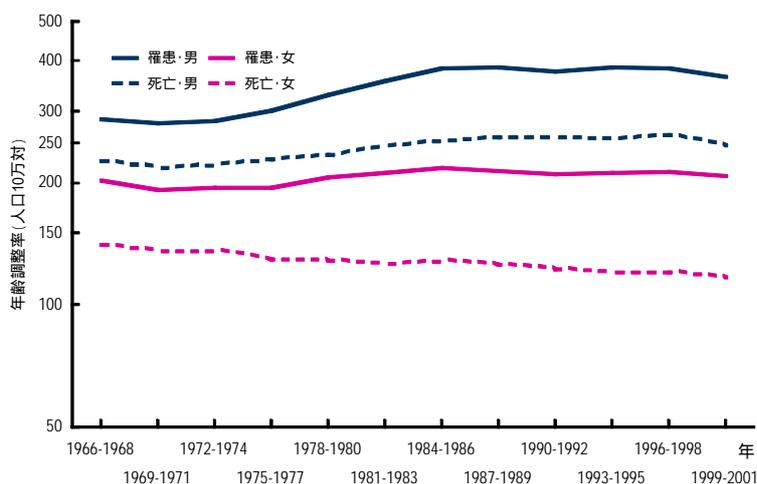
肺がんは男女とも死亡率と罹患率が平行に推移（増加または近年横ばい）

肝臓がんも死亡率と罹患率が平行に推移（近年減少に転じた）

大腸・女性乳がんでは死亡率と罹患率の推移に乖離があるも、罹患率が増加または近年横ばい

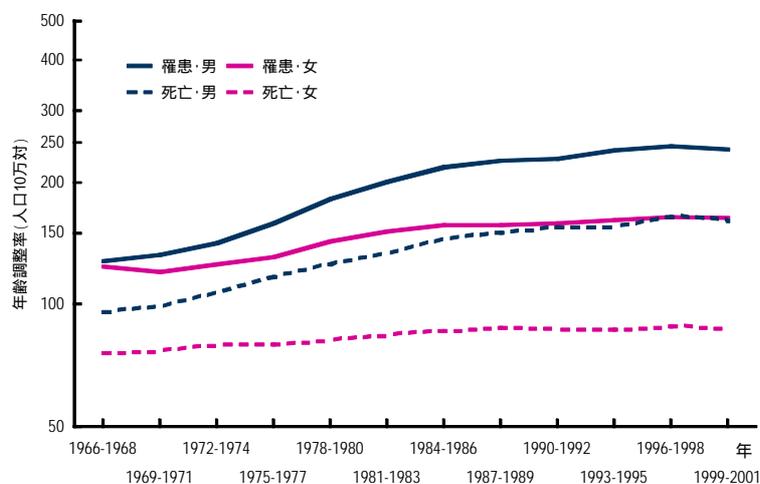
胃・子宮がんでは罹患率が減少しているが、死亡率の減少がより顕著

死亡率と罹患率の推移が乖離し、二次予防活動や治療の進歩の効果が現れているがんは、**胃・大腸・乳房・子宮**



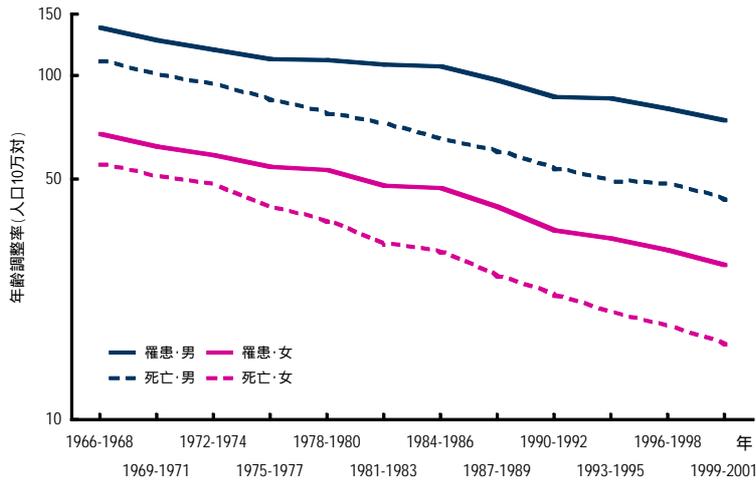
年齢調整死亡率と罹患率の動向 - 全部位(男女)

大阪府における全がん死亡と罹患の動向を、男女別に示した。年齢調整死亡率と年齢調整罹患率(ともに標準人口は1985年日本モデル人口)は、男性では1984 - 1986年以降ほぼ平行に推移し近年減少傾向にあるが、女性では減少する死亡率に対して、罹患率は1978 - 1980年以降プラトーに推移している。



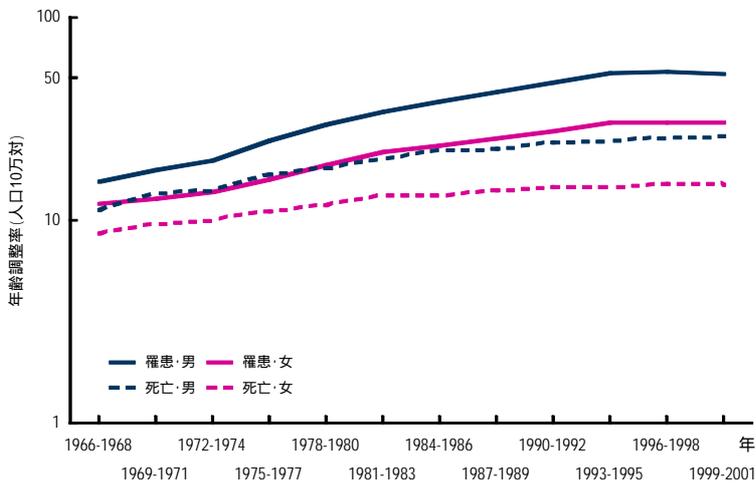
年齢調整死亡率と罹患率の動向 - 全部位(胃・肝を除く)(男女)

胃と肝臓を除く全がん死亡と罹患の動向を、男女別に示した。年齢調整死亡率と年齢調整罹患率は、男女ともに平行に推移している。罹患率は、男女ともに1996 - 1998年まで増加しており、その後はプラトーである。



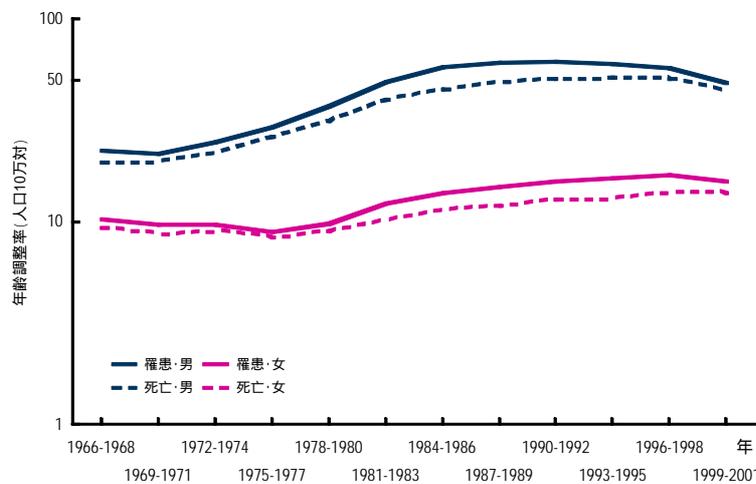
年齢調整死亡率と罹患率の動向 - 胃(男女)

大阪府における胃がんの死亡と罹患の動向を、男女別に示した。年齢調整死亡率と年齢調整罹患率は、男女ともに減少している。また、1975 - 1977年以降に死亡率と罹患率の乖離がみられ、この乖離は、胃がんに対する二次予防活動(胃がん検診の実施、医療機関における胃がんの診断と治療の能力の向上など)や治療の進歩の効果であると推定される。



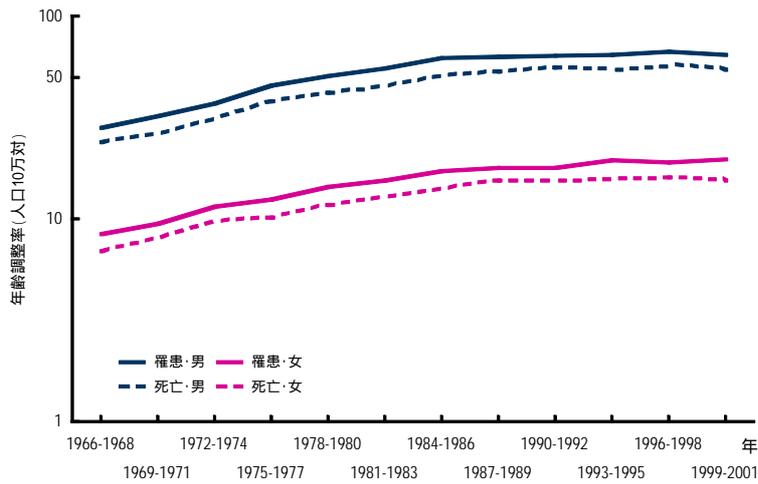
年齢調整死亡率と罹患率の動向 - 大腸(男女)

大阪府における大腸がんの死亡と罹患の動向を、男女別に示した。年齢調整罹患率は男女ともに増加したが1993 - 1995年以降はプラトーに推移している。なお1978 - 1980年以降は、罹患率の増加が死亡率の増加を上回り、両者に乖離がみられる。この乖離は、大腸がんに対する二次予防活動や治療の進歩の効果であると推定される。



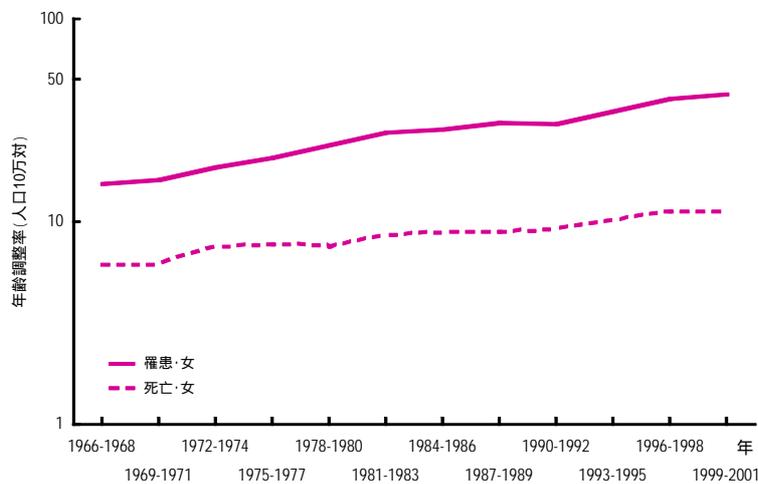
年齢調整死亡率と罹患率の動向 - 肝臓(男女)

大阪府における肝臓がんの死亡と罹患の動向を、男女別に示した。年齢調整死亡率と年齢調整罹患率は、男女ともにほぼ平行に推移している。罹患率は、男性では1990 - 1992年に61.7まで増加し、その後減少、1999 - 2001年は48.8である。女性では1996 - 1998年に17.1まで増加し、その後、減少傾向である。<sup>注1)</sup>



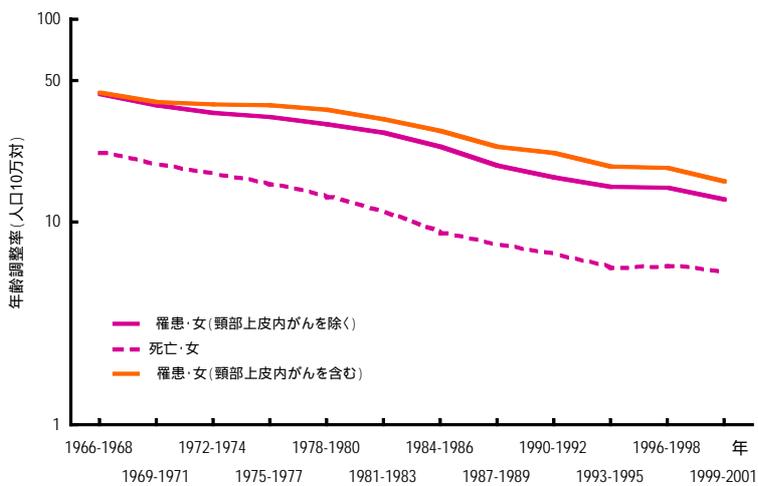
年齢調整死亡率と罹患率の動向 - 肺(男女)

大阪府における肺がんの死亡と罹患の動向を、男女別に示した。年齢調整死亡率と年齢調整罹患率は、男女ともにほぼ平行に推移している。男性の罹患率は、1993 - 1995 年以降プラトーに推移し、1999 - 2001 年は 65.1 である。女性では 1966 - 1968 年以降増加し続けており、1999 - 2001 年は 19.9 である。<sup>注2)</sup>



年齢調整死亡率と罹患率の動向 - 乳房(女)

大阪府における女性乳がんの死亡と罹患の動向を示した。年齢調整死亡率と年齢調整罹患率は、ともに増加しているが、死亡率に比べ罹患率の増加が上回り、両者に乖離がみられる。この乖離は、乳がんに対する二次予防活動や治療の進歩の効果であると推定される。



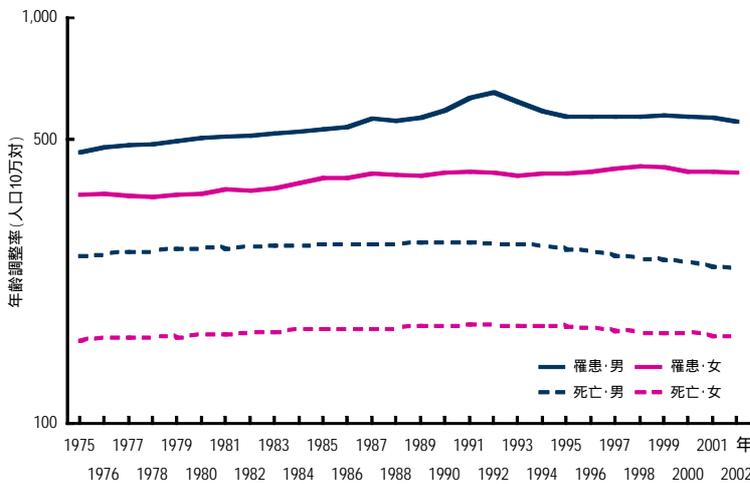
年齢調整死亡率と罹患率の動向 - 子宮

大阪府における子宮がんの死亡と罹患(頸部上皮内がんを含む場合と除く場合)の動向を示した。年齢調整死亡率と年齢調整罹患率はともに減少しているが、死亡率の減少が多少上回り、両者に乖離がみられる(子宮頸部上皮内がんを含む罹患率と死亡率の乖離がより大きい)。この乖離は、子宮がんに対する二次予防活動や治療の進歩の効果であると推定される。

【参考】死亡率と罹患率 - 米国 -

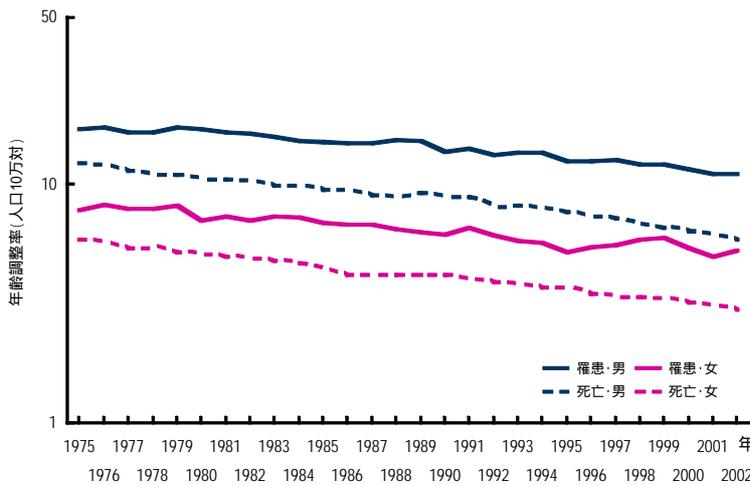
全がん死亡率と罹患率が、男女ともに近年減少傾向にある  
**肺がん**では男女とも死亡率と罹患率が減少または近年減少（両者の推移はパラレル）  
**胃・大腸・女性乳房・子宮がん**罹患率は減少または近年減少し、死亡率は罹患率の減少を上回っている

資料：National Cancer Institute. SEER Cancer Statistics Review, 1975-2002



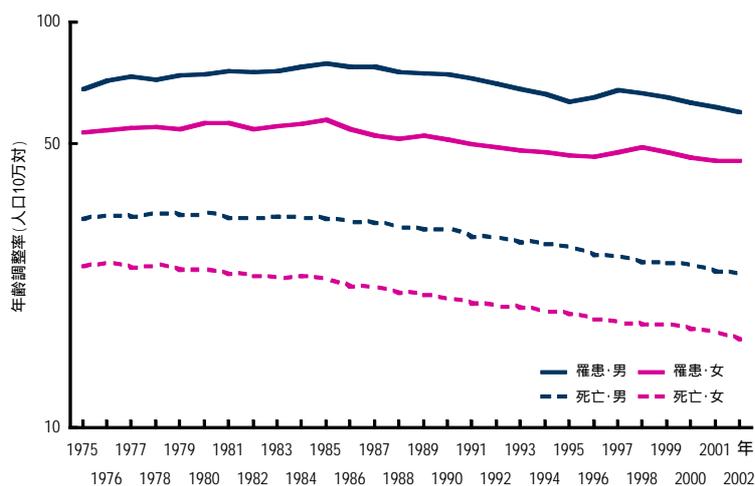
年齢調整死亡率と罹患率の動向 - 全部位(男女), 米国

米国における全がん死亡と罹患の動向を、男女別に示した。年齢調整死亡率（標準人口は2000年米国モデル人口）は、男性では1990年、女性では1991年まで増加し、その後減少に転じている。また、年齢調整罹患率（標準人口は2000年米国モデル人口）は、男性では1992年、女性では1998年をピークに減少に転じている。

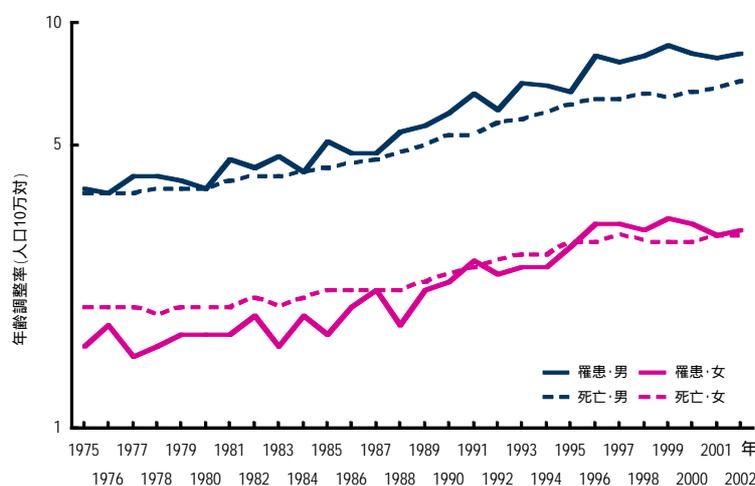


年齢調整死亡率と罹患率の動向 - 胃(男女), 米国

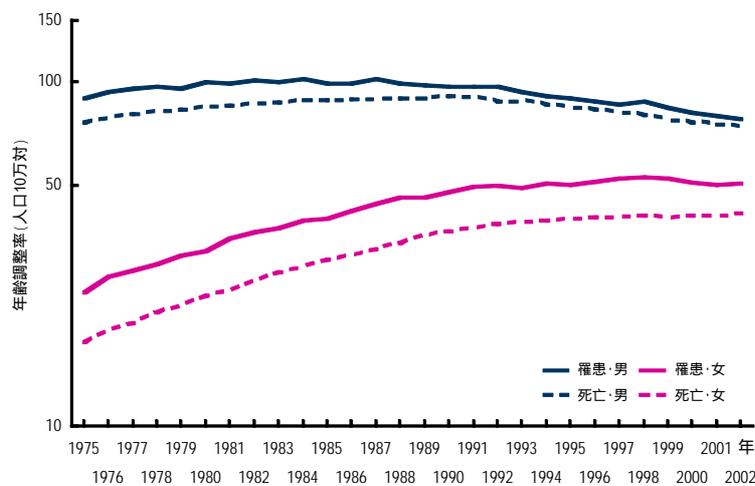
米国における胃がんの死亡と罹患の動向を、男女別に示した。米国では1930年代には胃がんが、がん死亡のトップであったが、罹患率の減少とともに死亡率も減少している。



年齢調整死亡率と罹患率の動向 - 大腸(男女), 米国



年齢調整死亡率と罹患率の動向 - 肝臓(男女), 米国

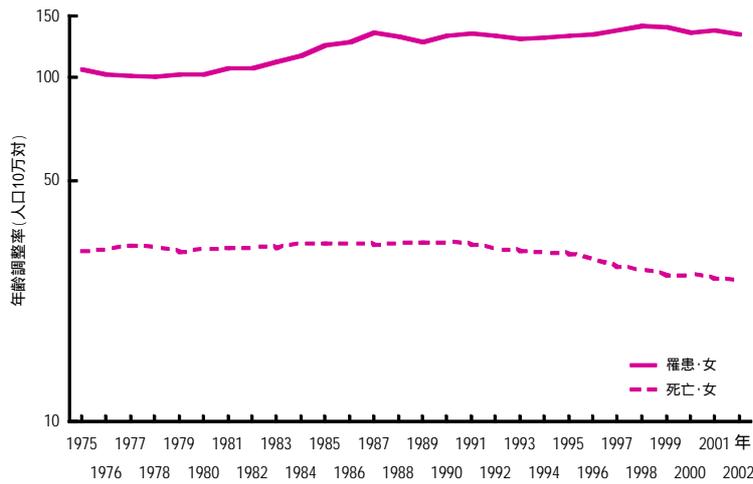


年齢調整死亡率と罹患率の動向 - 肺(男女), 米国

米国における大腸がんの死亡と罹患の動向を、男女別に示した。年齢調整死亡率は男女ともに減少している。年齢調整罹患率も減少に転じているが、死亡率の減少がより顕著である。

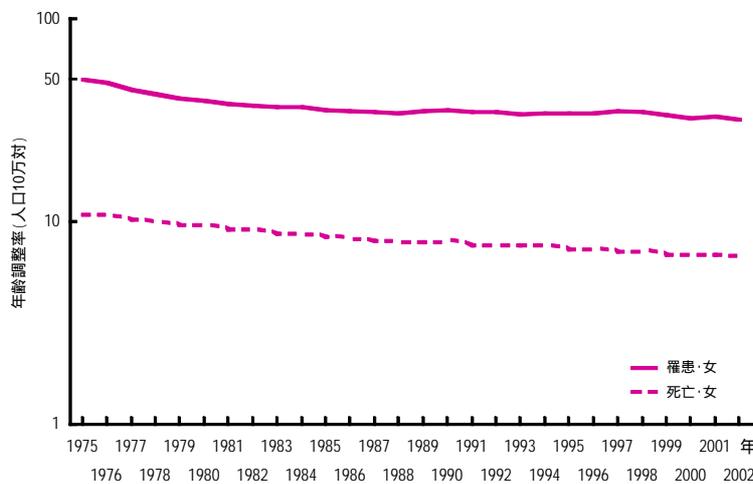
米国における肝臓がんの死亡と罹患の動向を、男女別に示した。肝臓がんは、米国では死亡が比較的小さいがんであるが、C型肝炎ウイルスキャリアが増加しつつあり、年齢調整死亡率と年齢調整罹患率は、男女とも増加しつつある。

米国における肺がんの死亡と罹患の動向を、男女別に示した。年齢調整死亡率と年齢調整罹患率はほぼ平行に推移している。死亡率は、男性では1990年をピークに減少傾向にある。女性では増加傾向にあったが、近年はプラトーに推移している。罹患率は、男性では1984年をピークに、女性では1998年をピークに減少に転じている。<sup>注3)</sup>



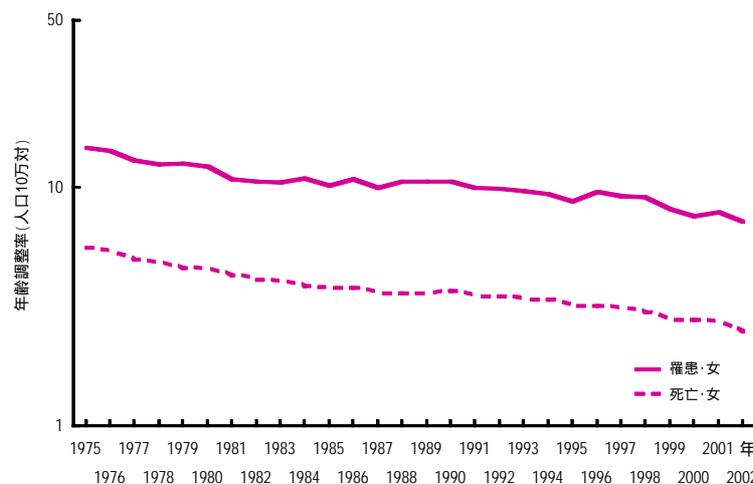
年齢調整死亡率と罹患率の動向 - 乳房(女), 米国

米国における女性乳がんの死亡と罹患の動向を示した。年齢調整死亡率は1989年をピークに、減少に転じている。年齢調整罹患率は1998年に140.8まで増加したが、その後は減少傾向を示している。死亡率と罹患率の乖離が顕著である。



年齢調整死亡率と罹患率の動向 - 子宮, 米国

米国における子宮がん(頸部上皮内がんを除く)の死亡と罹患の動向を示した。年齢調整死亡率と年齢調整罹患率はともに減少傾向にある。なお、米国では子宮がん死亡の約5-6割、罹患の約7-8割が子宮体がんである。

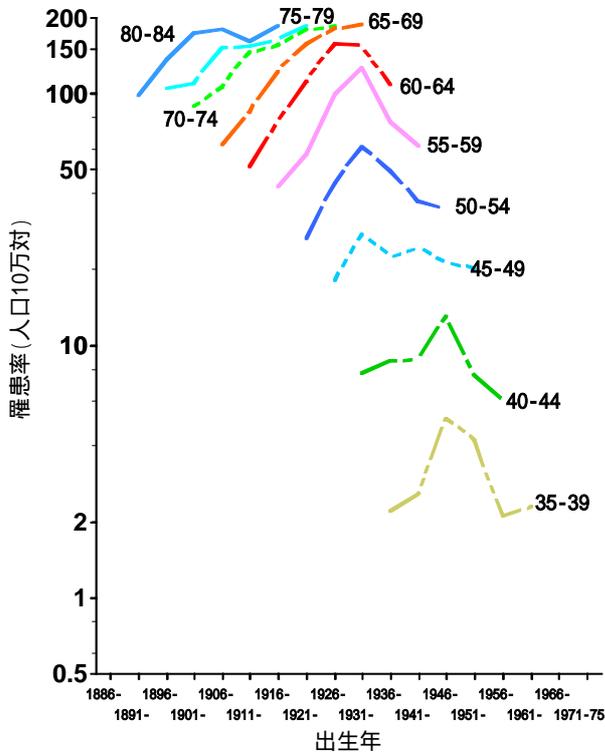


年齢調整死亡率と罹患率の動向 - 子宮頸部, 米国

米国における子宮頸がん(頸部上皮内がんを除く)の死亡と罹患の動向を示した。年齢調整死亡率と年齢調整罹患率は、1975年以降、ともに半減しているが、死亡率の減少が多少上回る。

【注釈】

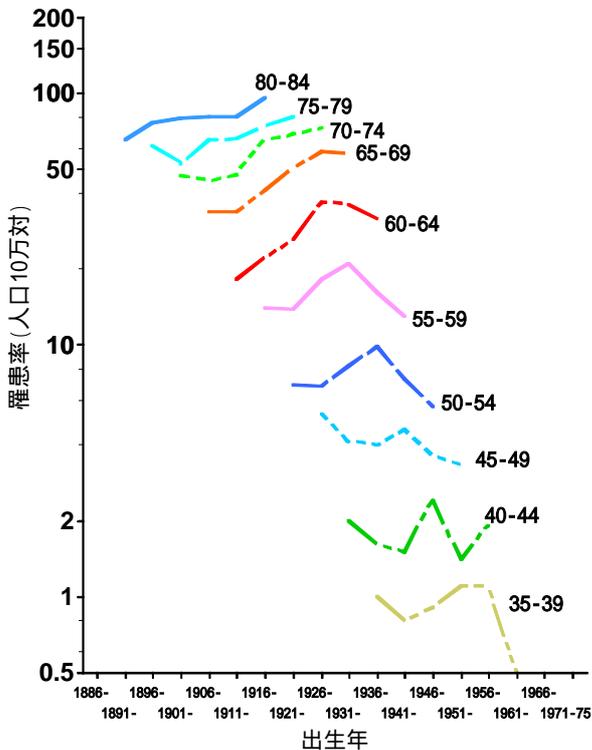
注1)



年齢階級・出生年別罹患率の推移 - 肝臓(男)

大阪府における肝臓がん(男)の年齢階級・出生年別の罹患率の推移を示した。年齢とともに罹患率は高くなるが、同じ年齢階級でも、出生年により罹患率が異なる。C型肝炎関連の肝臓がんが多い45-49歳以上では1931-1935年生まれに、またB型肝炎関連の肝がんの割合が多い40-44歳未満では1946-1950年生まれに、それぞれ罹患率のピークがある。

肝臓がん(男)の年齢調整罹患率は1993-1995年以降減少に転じているが、こうした年次推移の変化は、C型肝炎ウイルスキャリアの多い1931-35年を中心とする出生者の発がん好発年齢での消長と密接に関っていると推測される。

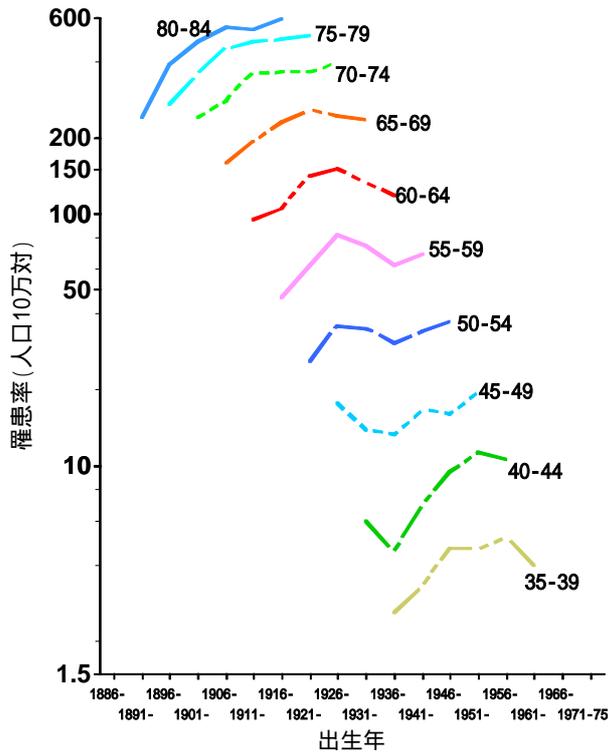


年齢階級・出生年別罹患率の推移 - 肝臓(女)

大阪府における肝臓がん(女)の年齢階級・出生年別の罹患率の推移を示した。年齢とともに罹患率は高くなるが、同じ年齢階級でも、出生年により罹患率が異なる。男性の場合ほど明瞭ではないが、C型肝炎関連の肝臓がんが多い55-59歳以上では1931-1935年生まれに罹患率のピークがある。

肝臓がん(女)の罹患率は1996-1998年以降やや減少傾向にあるが、こうした年次推移の変化は、C型肝炎ウイルスキャリアの多い1931-35年を中心とする出生者の発がん好発年齢での消長と密接に関っていると推測される。

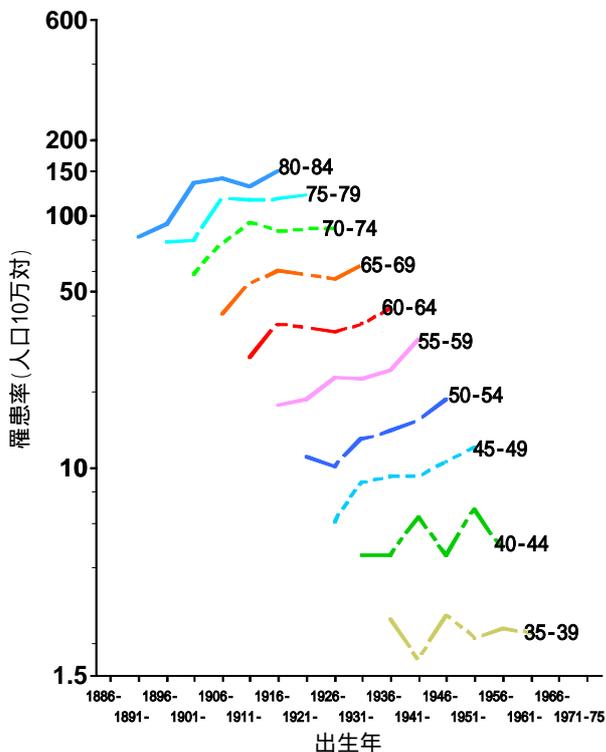
注2)



年齢階級・出生年別罹患率の推移 - 肺(男)

大阪府における肺がん(男)の年齢階級・出生年別の罹患率の推移を示した。年齢とともに罹患率は高くなるが、同じ年齢階級でも出生年により罹患率は異なる。1936 - 1940 年生まれでは罹患率が他の世代と比べて低い傾向にあり、これはこの世代にタバコの消費量が少なかったことと関連している。

肺がん(男)の年齢調整罹患率は1993 - 1995 年以降プラトーであるが、これはタバコ消費量の少ない1936 - 1940 年生まれの影響であり、肺がん(男)の罹患率は今後再び増加に転じる可能性が高いと考えられている。

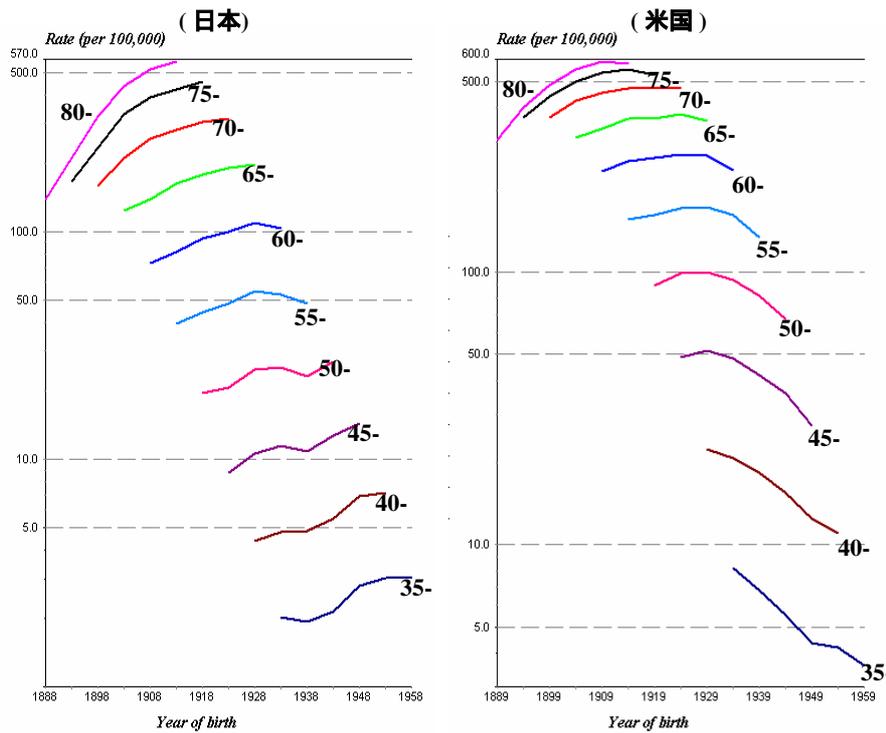


年齢階級・出生年別罹患率の推移 - 肺(女)

大阪府における肺がん(女)の年齢階級・出生年別の罹患率の推移を示した。年齢とともに罹患率は高くなり、また、同じ年齢階級でも出生年により罹患率は異なる。45 - 59 歳では、出生年が最近の者ほど、罹患率が高い傾向にある。60 歳以上では、1916 - 1930 年生まれでほぼ水平に推移し、より近年で再上昇に転じている。

肺がん(女)の年齢調整罹患率は1990 - 1992 年以降横ばいに推移しているが、上述のように、出生年が最近の世代での罹患率が上昇していることから、肺がん(女)の年齢調整罹患率は今後再び増加に転ずる可能性が高いと推測される。

注3)



年齢階級・出生年別死亡率の推移 - 肺(男), 日本と米国

日本、米国における肺がん(男)の年齢階級・出生年別の死亡率の推移を示した。死亡率は年齢とともに高く、同じ年齢階級でも出生年により異なる。米国では、若い年齢層から最近の出生年で死亡率が減少し、肺がんの「流行」が終息しつつあるが、日本では、若い年齢層で出生年が最近になるにつれ死亡率が上昇しており、「流行」が終息していない。わが国の肺がん(男)死亡率は一旦横ばいになったが、今後増加傾向に転ずる可能性が高い。

(3) 生存率

がんの5年相対生存率\*1は、部位により異なる。また、大阪府全体と大阪府地域がん診療拠点病院を比較した場合、同じ部位でも生存率は異なる。

大阪府全体における生存率は、胃 50.1% (大阪府地域がん診療拠点病院では62.7%)、大腸 58.8% (同 71.5%)、肝臓 15.9% (同 29.7%)、肺 14.7% (同 27.9%)、乳房 82.8% (同 85.7%) である。

大阪府全体と大阪府地域がん診療拠点病院の生存率の大小は、がんの進行度(診断時のがんの拡がり)分布の違いを反映すると共に、この差が大きいことは、患者が受けるがん医療の改善に余地があることを示唆している。両者に10ポイント以上の差を認めたのは、大腸(領域)、肝臓(限局・領域)、肺(限局)である。

\*1: 相対生存率は実測生存率を期待生存確率で除したものの。

大阪府全体および大阪府地域がん診療拠点病院における5年相対生存率

部位	進行度	大阪府地域がん診療拠点病院 <sup>*1</sup>		大阪府全体 <sup>*2</sup>		生存率 較差
		対象数	生存率(%)	対象数	生存率(%)	
胃	限局	2,120	94.5	8,878	88.9	5.6
	領域	1,432	39.9	6,614	30.5	9.4
	遠隔	556	2.3	3,807	1.3	1.1
	全体 <sup>*3</sup>	4,156	62.7	21,063	50.1	
大腸	限局	1,480	95.8	6,128	90.1	5.7
	領域	980	62.6	4,654	51.3	11.3
	遠隔	433	10.0	2,645	5.5	4.5
	全体 <sup>*3</sup>	2,931	71.5	14,503	58.8	
肝臓	限局	1,191	38.1	5,764	26.1	12.0
	領域	244	21.4	1,527	6.6	14.8
	遠隔	167	8.0	1,435	3.0	5.0
	全体 <sup>*3</sup>	1,874	29.7	11,832	15.9	
肺	限局	605	73.4	2,241	53.9	19.5
	領域	989	19.9	4,874	11.5	8.4
	遠隔	748	3.3	4,706	1.8	1.5
	全体 <sup>*3</sup>	2,391	27.9	13,101	14.7	
乳房	限局	1,256	96.7	4,286	95.8	0.9
	領域	968	77.7	3,016	74.8	2.9
	遠隔	94	25.7	475	19.9	5.8
	全体 <sup>*3</sup>	2,349	85.7	8,160	82.8	

注) 大阪府がん登録資料に基づいて、診断年が1993-97年の新発生届出患者の5年相対生存率を算出した。

進行度は、診断時のがんの拡がりにより、「限局(原発臓器に限局)」、「領域(所属リンパ節または隣接臓器・組織に浸潤)」、「遠隔(遠隔臓器・組織に転移)」の3つに分類。

\*1 大阪府地域がん診療拠点病院(11医療機関)とは次のとおりである。

大阪市立総合医療センター、府立成人病センター、大阪赤十字病院、府立急性期・総合医療センター、市立豊中病院、高槻赤十字病院、星ヶ丘厚生年金病院、東大阪市立総合病院、大阪南医療センター、大阪労災病院、市立岸和田市民病院

なお、各医療機関の治療成績については、<http://www.mc.pref.osaka.jp/ocr/gankyoten/index.html>

\*2 治療医療機関に関らず大阪府全体の成績。

\*3 進行度不明例を含む。

(4) がん罹患の将来推計

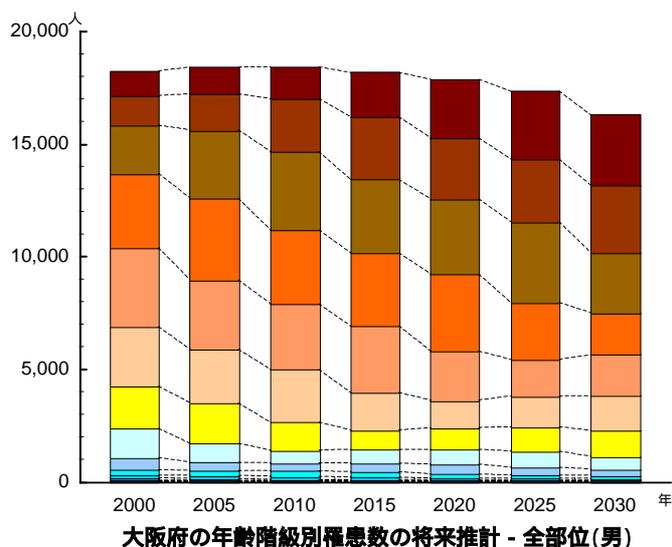
1963 - 1999 年のがん罹患動向と政策科学大学院による将来推計人口から、大阪府における 2030 年までのがん罹患を推計\*1した。

全がんの年齢調整罹患率は 2000 年以降男女ともに減少傾向を示すものの、人口の高齢化と減少の影響を受け、罹患数は、男性では 2010 年まで、女性では 2020 年まで増加し、人口 10 万人当たりの粗罹患率は、男女とも 2030 年まで増加を続ける。

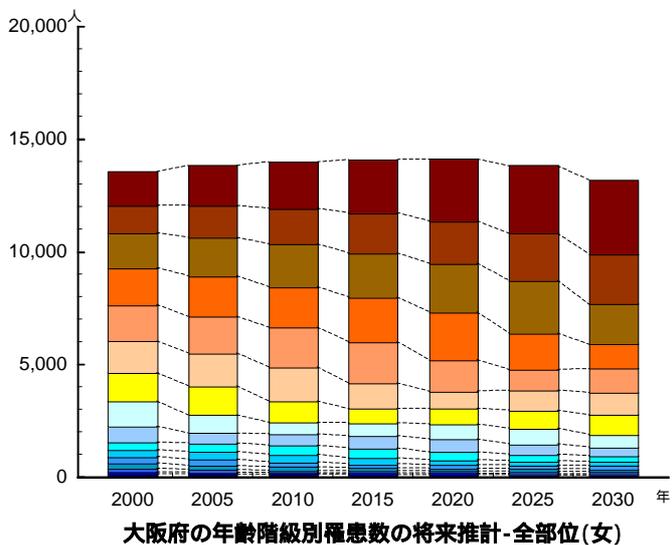
**肺（男女）および女性乳がん**は、罹患数だけでなく年齢調整罹患率も増加する。

将来推計には、人口の高齢化と減少の見込みが加わり、大阪府のがん罹患数、粗罹患率、年齢調整罹患率の今後の動向には不確実な要素を少なからず伴うことに注意を要する。

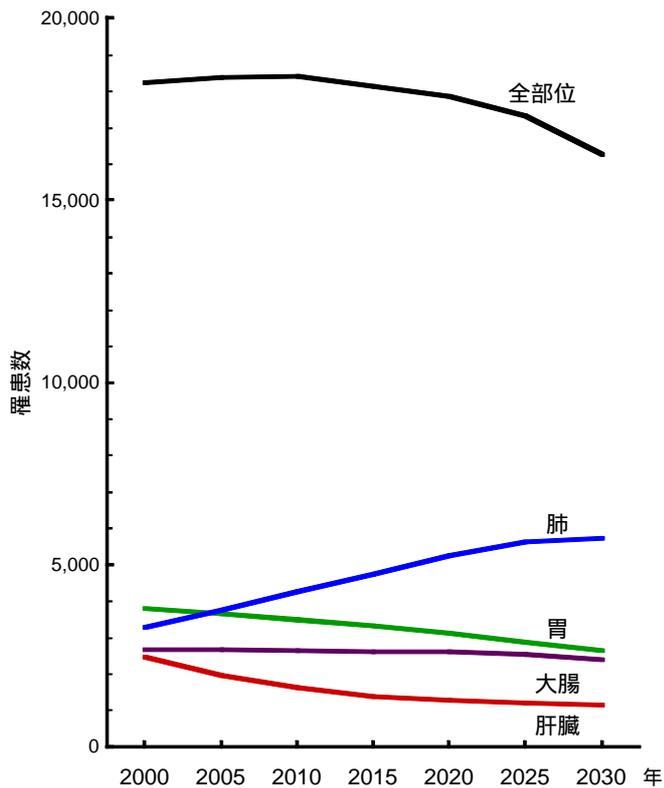
\*1：大阪大学大学院数理保健学研究室大野ら APC（年齢、時代、コホート）モデルを用いた解析結果に基づく。



大阪府における 2030 年までの全がん（男）の年齢階級別罹患数の将来推計を示した。全体の罹患数は 2010 年以降減少傾向であるが、80 歳以上の罹患数は増加傾向にある。また、80 歳以上が全体に占める割合は、2000 年から 2030 年までに 13.2%から 37.5%へと増加する。

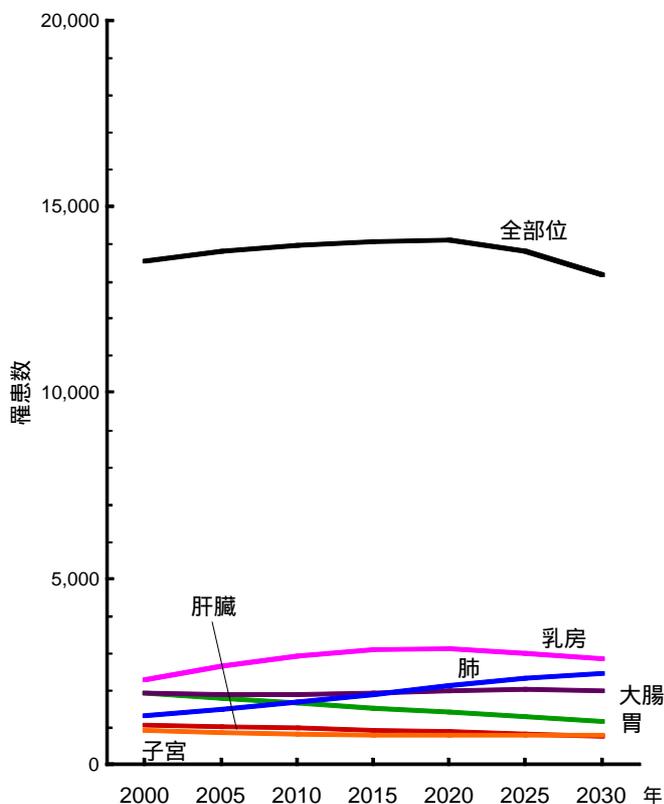


大阪府における 2030 年までの全がん（女）の年齢階級別罹患数の将来推計を示した。全体の罹患数は 2020 年以降減少傾向であるが、80 歳以上の罹患数は 2000 年以降増加し続ける。また、80 歳以上が全体に占める割合は、2000 年から 2030 年までに 20.0%から 42.0%へと増加する。



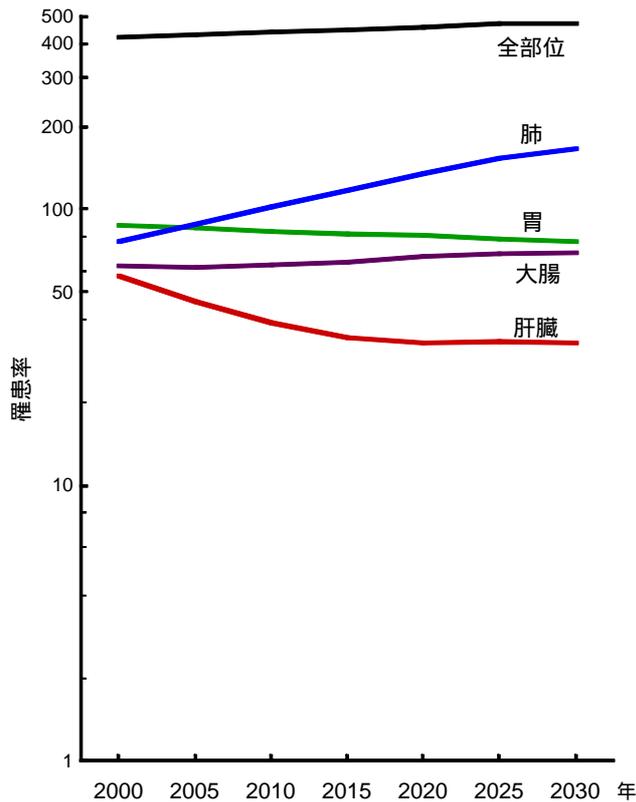
大阪府における2030年までのがん(男)の罹患者数の将来推計を示した。全がんの罹患者数は、2010年以降減少傾向である。胃・大腸・肝臓がんについても、2000年以降罹患者数は減少し続ける。一方、肺がんの罹患者数は2000年以降増加し続け、2000年から2030年までの30年間で1.7倍に罹患者数が増加すると推計される。

大阪府の罹患者数の将来推計 - 男



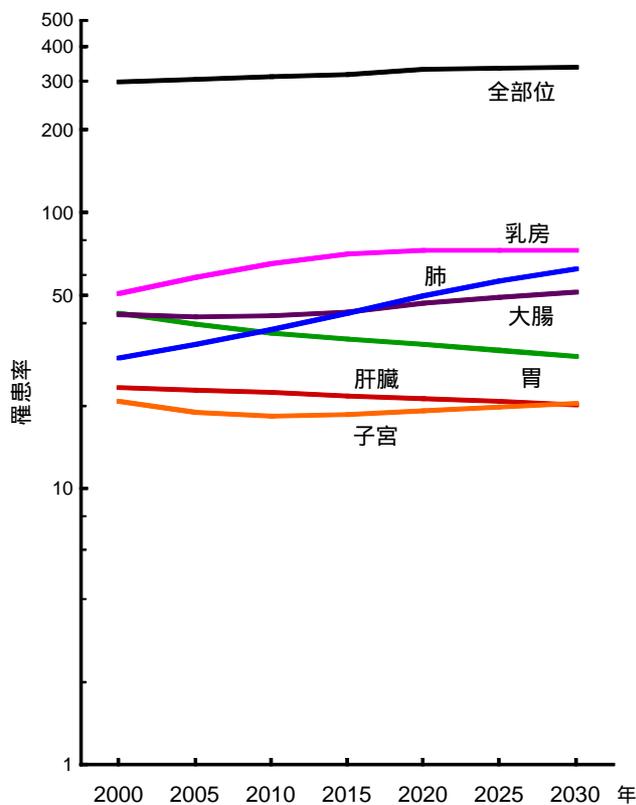
大阪府における2030年までのがん(女)の罹患者数の将来推計を示した。全がんの罹患者数は、2020年までは増加し続け、それ以降は減少に転じる。胃・肝臓・子宮がんでは、2000年以降罹患者数は減少し続ける。一方、大腸・肺・乳がんの罹患者数は増加傾向にあり、特に肺がんについては、2000年以降増加し続け、2000年から2030年までの30年間で1.8倍に罹患者数が増加すると推計される。

大阪府の罹患者数の将来推計 - 女



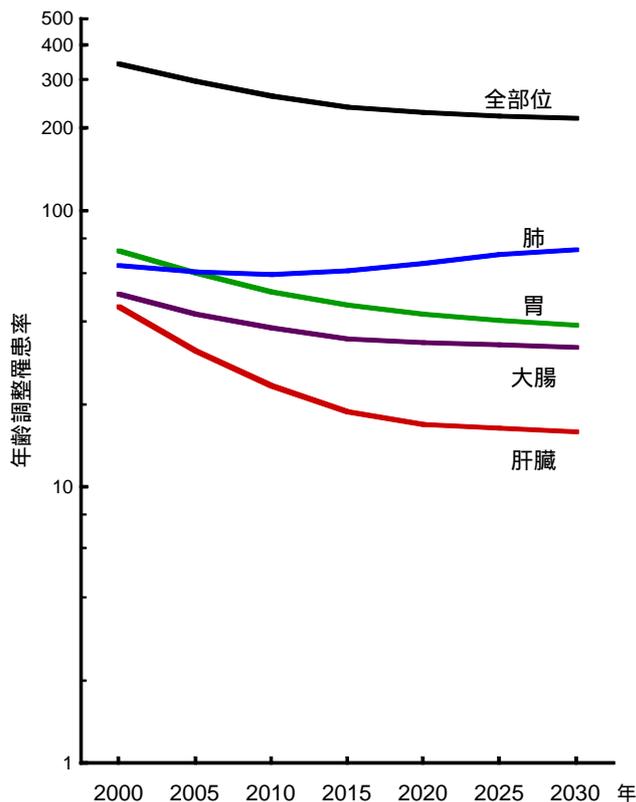
大阪府の粗罹患率の将来推計 - 男

大阪府における2030年までのがん(男)の粗罹患率の将来推計を示した。全がんの罹患率は、2000年以降増加傾向である。胃・肝臓がんでは、2000年以降罹患率は減少し続ける。一方、大腸・肺がんの罹患率は2000年以降増加し続け、特に肺がんでは、2000年から2030年までの30年間で、76.7から166.7へと2.2倍に罹患率が増加すると推計される。



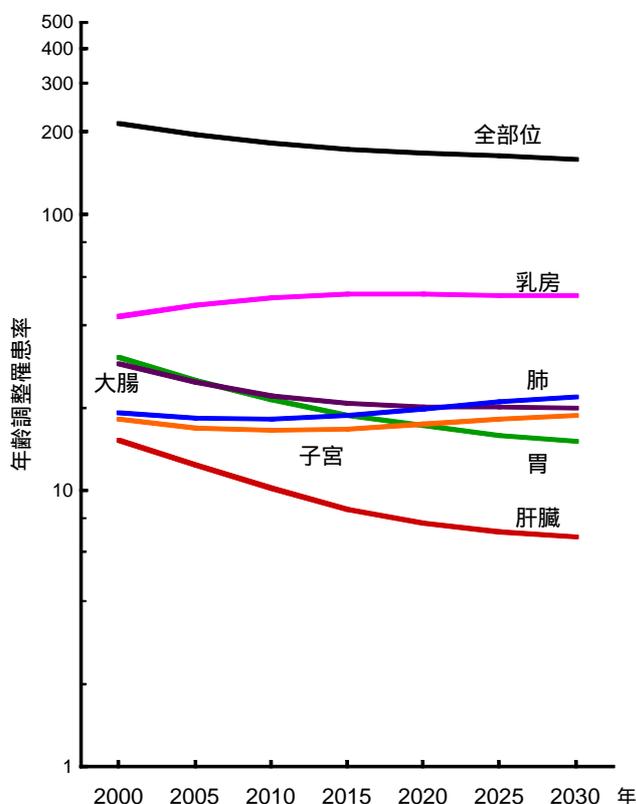
大阪府の粗罹患率の将来推計 - 女

大阪府における2030年までのがん(女)の粗罹患率の将来推計を示した。全がんの罹患率は2000年以降増加傾向にある。胃・肝臓がんでは、2000年以降罹患率は減少し続ける。一方、大腸・肺・乳がんの罹患率は増加傾向にあり、特に肺がんでは、2000年から2030年までの30年間で、29.9から63.3へと2.1倍に罹患率が増加すると推計される。子宮がんの罹患率は2000年以降減少傾向にあるが、2010年に再び増加に転じる。



大阪府の年齢調整罹患率の将来推計 - 男

大阪府における2030年までのがん(男)の年齢調整罹患率の将来推計を示した。全がんの罹患率は、2000年以降減少傾向である。胃・大腸・肝臓がんでは、2000年以降罹患率は減少し続ける。一方、肺がんの罹患率は2000年以降増加し続け、2000年から2030年までの30年間で、63.4から73.0へと1.2倍に罹患率が増加すると推計される。



大阪府の年齢調整罹患率の将来推計 - 女

大阪府における2030年までのがん(女)の年齢調整罹患率の将来推計を示した。全がんの罹患率は2000年以降減少し続ける。胃・大腸・肝臓がんでは、2000年以降罹患率は減少し続ける。一方、肺・乳がんの罹患率は増加傾向にあり、2000年から2030年までの30年間で、肺がんでは19.2から21.9へ、乳がんでは43.0から51.1へと増加すると推計される。子宮がんの罹患率は2000年以降減少傾向にあるが、2015年に再び増加に転じる。

## 2. 大阪府内各地域の特徴

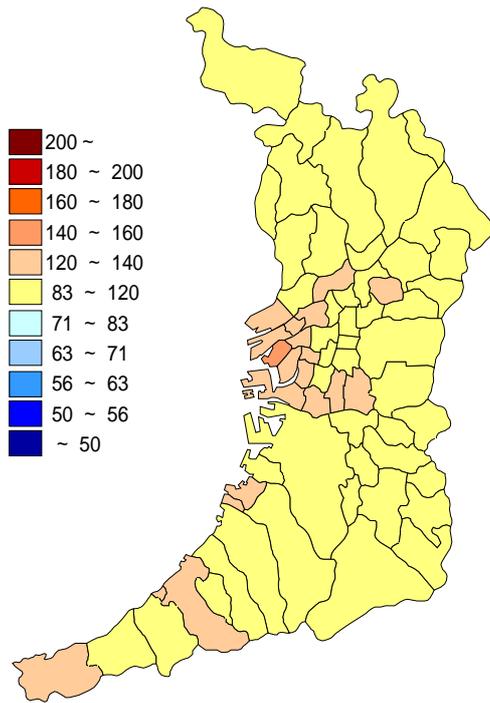
### (1) 市区町村別の標準化死亡比

市区町村別のがんの標準化死亡比（1998 - 2002 年。全国を基準とする）をみると、全国より低い市区町村ベスト3と、全国より高い市区町村ワースト3は、次のとおりである。市区町村ワースト3のほとんどの市区町村で、標準化死亡比は全国と比べて有意に高かった（\* $p < 0.05$ 、\*\* $p < 0.01$ ）。

なお、標準化死亡比が基準値（100）より大きいということは、その地域の死亡状況は全国より高いということを含意し、基準値より小さいということは、全国より低いということを含意する。

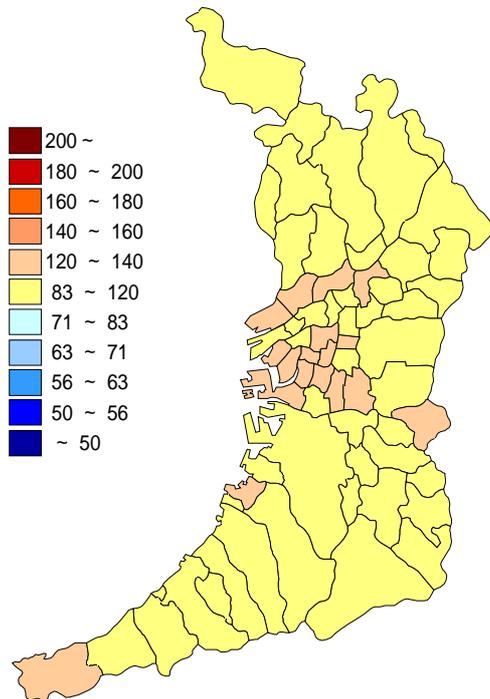
資料：厚生労働省大臣官房統計情報部編・平成10年 - 平成14年 人口動態保健所・市区町村別統計 人口動態統計特殊報告・財団法人厚生統計協会 2004.

全部位	男	ベスト3は豊能、太子、能勢	ワースト3は港**、西成**、東淀川**
	女	ベスト3は美原、豊能、太子	ワースト3は浪速**、西成**、東成**
胃	男	ベスト3は千早赤阪、太子、大阪狭山	ワースト3は港**、高石**、田尻
	女	ベスト3は能勢、豊能、箕面	ワースト3は千早赤阪、河南*、摂津*
大腸	男	ベスト3は田尻、千早赤阪、美原	ワースト3は西淀川**、阿倍野*、柏原
	女	ベスト3は太子、美原*、能勢	ワースト3は忠岡、摂津*、浪速*
肝臓	男	ベスト3は能勢、豊能、泉南	ワースト3は岬**、港**、浪速**
	女	ベスト3は河南、千早赤阪、島本	ワースト3は岬**、浪速**、泉大津**
肺	男	ベスト3は豊能、熊取、高石	ワースト3は田尻、忠岡**、西**
	女	ベスト3は千早赤阪、忠岡、泉大津	ワースト3は西成**、鶴見**、北**



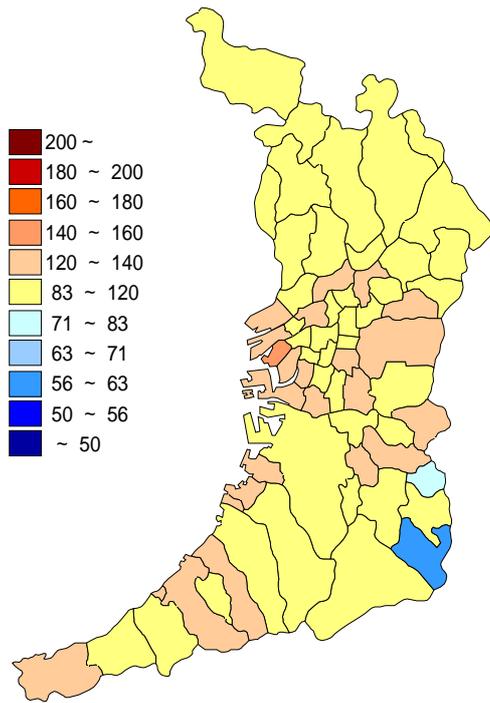
市区町村別標準化死亡率 - 全部位(男)

男性におけるがんの標準化死亡率を、全国を基準として市区町村別に示した。地域の死亡状況が全国より低い市区町村は 7 市町（低い方から、豊能、太子、能勢、熊取、交野、池田、枚方）である。それ以外の地域の標準化死亡率は 100 - 160 の間にあり、最も高い地域は港区\*\* (144.4) である。



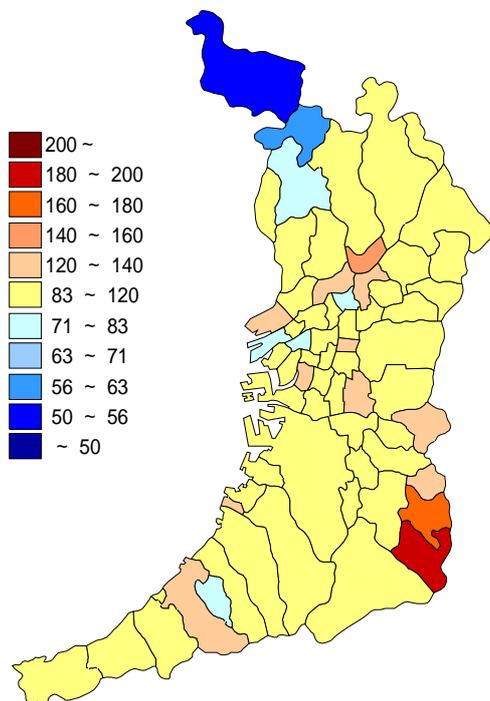
市区町村別標準化死亡率 - 全部位(女)

女性におけるがんの標準化死亡率を、全国を基準として市区町村別に示した。地域の死亡状況が全国より低い市区町村は 9 市町村（低い方から、美原、豊能、太子、田尻、大阪狭山、泉南、島本、千早赤阪、箕面）である。それ以外の地域の標準化死亡率は 100 - 140 の間にあり、120 - 140 には 18 市区町（高い方から、浪速\*\*、西成\*\*、東成\*\*、平野\*\*、住之江\*\*、港\*\*、東淀川\*\*、天王寺\*\*、柏原\*\*、守口\*\*、泉大津\*\*、西淀川\*\*、阿倍野\*\*、中央\*\*、東住吉\*\*、淀川\*\*、大正\*\*、岬）があてはまる。



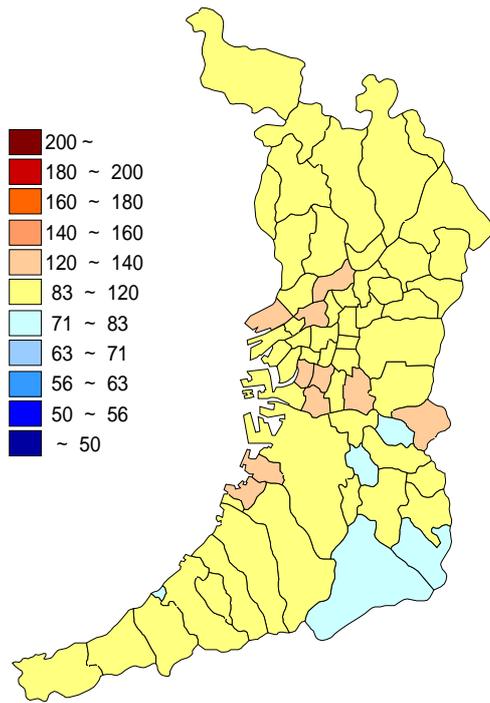
市区町村別標準化死亡率 - 胃(男)

男性における胃がんの標準化死亡率を、全国を基準として市区町村別に示した。地域の死亡状況が全国より低い市区町村は15市区町村（低い方から、千早赤阪、太子、大阪狭山、豊能、池田、高槻\*、交野、能勢、枚方、河南、箕面、西、富田林、都島、淀川）である。それ以外の地域の標準化死亡率は100 - 160の間にあり、最も高い地域は港区\*\*（140.3）である。



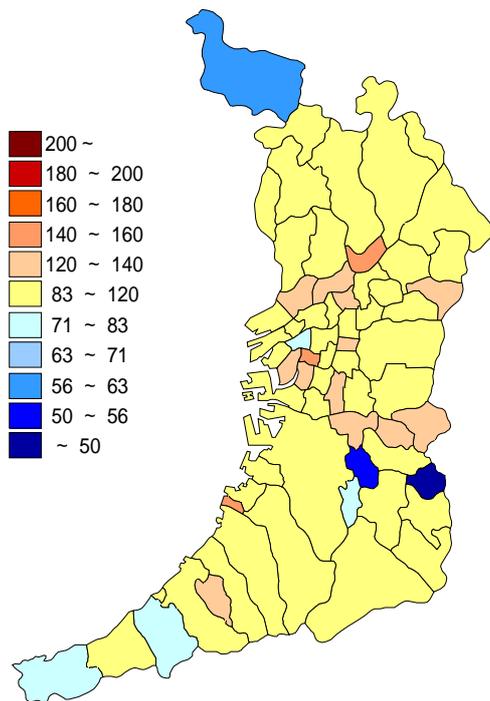
市区町村別標準化死亡率 - 胃(女)

女性における胃がんの標準化死亡率を、全国を基準として市区町村別に示した。地域の死亡状況が全国より低い市区町村は20市区町（低い方から、能勢、豊能、箕面、西、熊取、此花、旭、四条畷、福島、大東、泉南、交野、美原、富田林、和泉、生野、淀川、浪速、泉大津、大阪狭山）である。それ以外の地域の標準化死亡率は100 - 200の間にあり、最も高い地域は千早赤阪村（186.9）である。



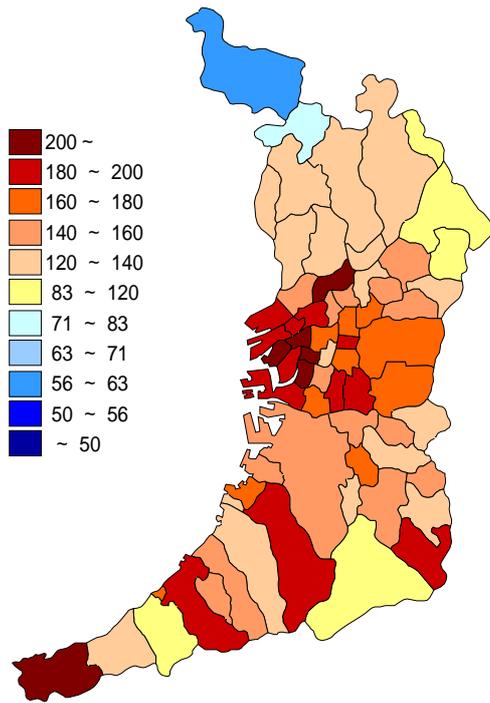
市区町村別標準化死亡比 - 大腸(男)

男性における大腸がんの標準化死亡比を、全国を基準として市区町村別に示した。地域の死亡状況が全国より低い市区町村は 28 市区町村（低い方から、田尻、千早赤阪、美原、河内長野、藤井寺、能勢、寝屋川\*、鶴見、富田林、大正、河南、淀川、豊能、大東、羽曳野、太子、貝塚、松原、高槻、岸和田、枚方、八尾、港、生野、天王寺、福島、和泉、旭）である。それ以外の地域の標準化死亡比は 100 - 140 の間にあり、120 - 140 には 10 市区（高い方から、西淀川\*\*、阿倍野\*、柏原、北、平野\*\*、住吉\*、泉大津、西成\*\*、高石、東淀川\*）があてはまる。



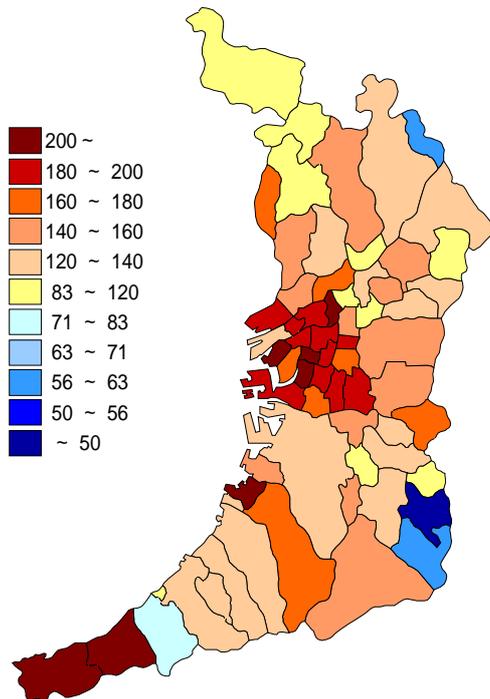
市区町村別標準化死亡比 - 大腸(女)

女性における大腸がんの標準化死亡比を、全国を基準として市区町村別に示した。地域の死亡状況が全国より低い市区町村は 28 市区町（低い方から、太子、美原\*、能勢、西、岬、大阪狭山、泉南、鶴見、池田、田尻、吹田、交野、住之江、貝塚、箕面、河南、羽曳野、和泉、阪南、豊能、阿倍野、島本、豊中、生野、大東、天王寺、高槻、門真）である。それ以外の地域の標準化死亡比は 100 - 160 の間にあり、140 - 160 には 3 市区町（高い方から、忠岡、摂津\*、浪速\*）があてはまる。



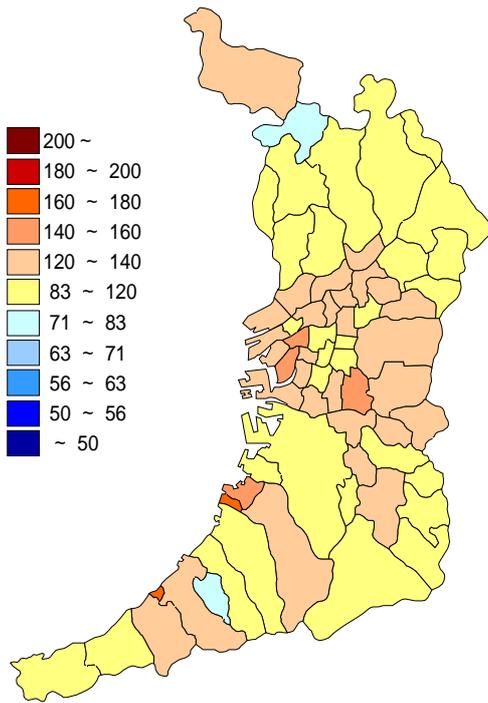
市区町村別標準化死亡比 - 肝臓(男)

男性における肝臓がんの標準化死亡比を、全国を基準として市区町村別に示した。地域の死亡状況が全国より低い市区町村は3市町(低い方から、能勢、豊能、泉南)のみである。それ以外の地域の標準化死亡比は100 - 300の間にあり、200を超えている地域は6区町(高い方から、岬\*\* 291.7、港\*\* 242.2、浪速\*\* 232.3、東淀川\*\* 213.7、西成\*\* 212.4、西\*\* 202.0)である。



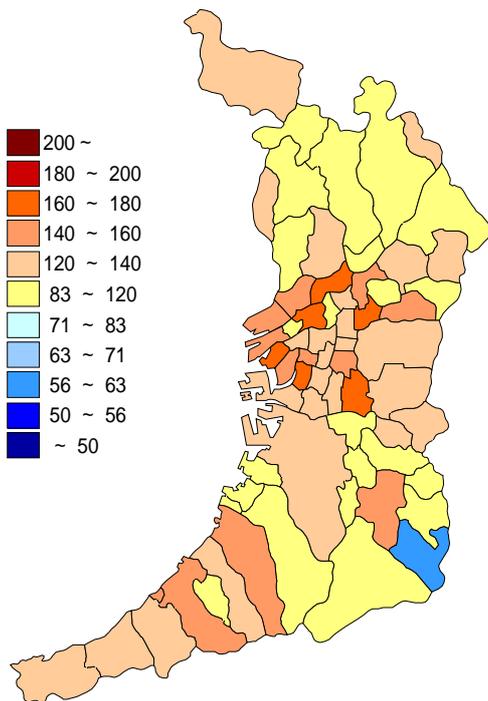
市区町村別標準化死亡比 - 肝臓(女)

女性における肝臓がんの標準化死亡比を、全国を基準として市区町村別に示した。地域の死亡状況が全国より低い市区町村は7市町村(低い方から、河南、千早赤阪、島本、泉南、太子、能勢、田尻)である。それ以外の地域の標準化死亡比は100 - 320の間にあり、200を超えている地域は7市区町(高い方から、岬\*\* 309.3、浪速\*\* 264.4、泉大津\*\* 230.0、西成\*\* 220.1、阪南\*\* 209.3、港\*\* 206.8、都島\*\* 202.3)である。



市区町村別標準化死亡比 - 肺(男)

男性における肺がんの標準化死亡比を、全国を基準として市区町村別に示した。地域の死亡状況が全国より低い市区町村は10市区町（低い方から、豊能、熊取、高石、中央、河内長野、交野、箕面、阪南、河南、大阪狭山）である。それ以外の地域の標準化死亡比は100 - 180 の間にあり、160 - 180 には2町（高い方から、田尻、忠岡\*\*）があてはまる。



市区町村別標準化死亡比 - 肺(女)

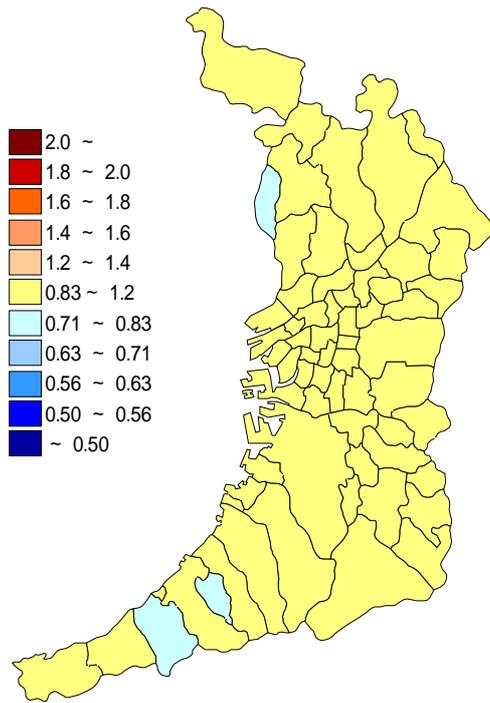
女性における肺がんの標準化死亡比を、全国を基準として市区町村別に示した。地域の死亡状況が全国より低い市区町村は7市町村（低い方から、千早赤阪、忠岡、泉大津、太子、高石、箕面、大阪狭山）である。それ以外の地域の標準化死亡比は100 - 180 の間にあり、160 - 180 には6区（高い方から、西成\*\*、鶴見\*\*、北\*\*、東淀川\*\*、平野\*\*、港\*\*）があてはまる。

( 2 ) 市区町村別の標準化罹患比

市区町村別のがんの標準化罹患比(1995 - 1999年。大阪府を基準とする)をみると、大阪府より低い市区町村ベスト3と、大阪府より高い市区町村ワースト3は、次のとおりである。市区町村ベスト3の約半数の市区町村で標準化罹患比は大阪府と比べて有意に低く、また、市区町村ワースト3のほとんどの市区町村で標準化罹患比は大阪府と比べて有意に高かった(\*p<0.05、\*\*p<0.01)。

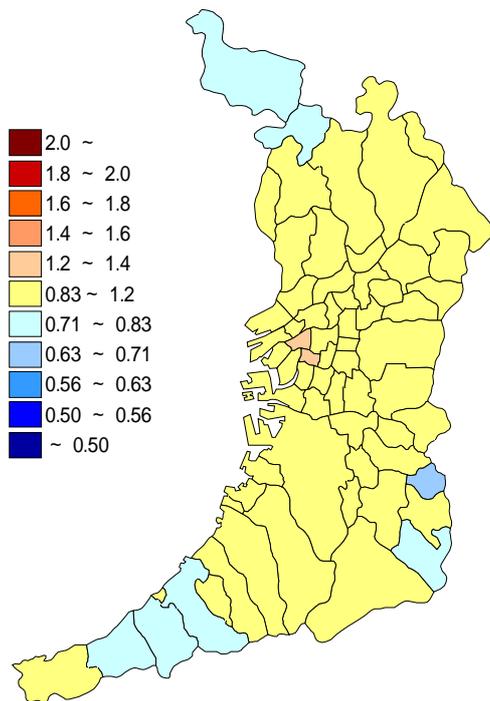
なお、標準化罹患比が基準値(1.00)より大きいということは、その地域の罹患状況は大阪府より高いということを含意し、基準値より小さいということは、大阪府より低いということを含意する。

全部位	男	ベスト3は熊取**、池田**、泉南**	ワースト3は大正**、東淀川**、西**
	女	ベスト3は太子**、千早赤阪*、豊能**	ワースト3は西**、浪速**、東淀川**
胃	男	ベスト3は千早赤阪、岬*、太子	ワースト3は東淀川**、大正**、生野**
	女	ベスト3は忠岡*、豊能*、太子	ワースト3は浪速*、河南、淀川**
大腸	男	ベスト3は千早赤阪、忠岡*、能勢	ワースト3は中央**、美原*、西**
	女	ベスト3は太子*、田尻、千早赤阪	ワースト3は東成**、西*、中央
肝臓	男	ベスト3は島本**、豊能**、太子	ワースト3は岬**、浪速**、東成**
	女	ベスト3は河南*、能勢、太子	ワースト3は岬**、浪速**、西**
肺	男	ベスト3は熊取**、豊能*、岬*	ワースト3は港**、西*、浪速*
	女	ベスト3は千早赤阪**、島本、熊取	ワースト3は鶴見**、此花**、大正*
乳房	女	ベスト3は忠岡**、能勢*、千早赤阪	ワースト3は大阪狭山**、藤井寺**、中央**
子宮		ベスト3は西淀川**、太子、岬	ワースト3は西**、河南、東住吉**



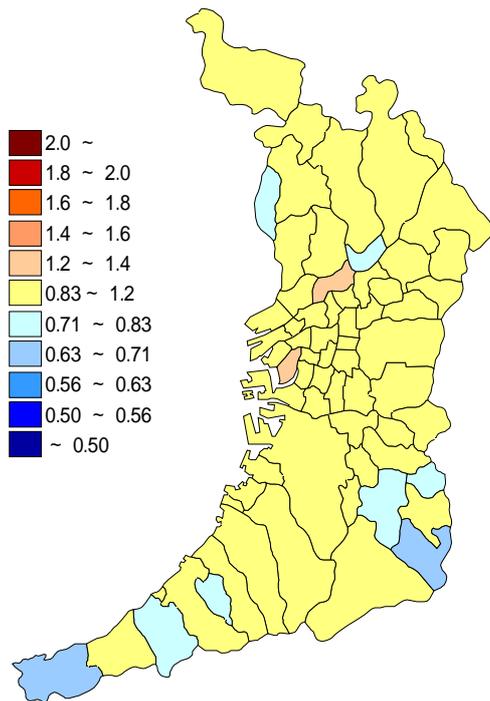
市区町村別標準化罹患比 - 全部位(男)

男性におけるがんの標準化罹患比を、大阪府を基準として市区町村別に示した。地域の罹患状況が大阪府より低い市区町村は33市区町村である。それ以外の地域の標準化罹患比は1.0 - 1.2の間にあり、1.1 - 1.2には10区(高い方から、大正\*\*、東淀川\*\*、西\*\*、福島\*\*、生野\*\*、港\*\*、浪速\*\*、西淀川\*\*、東成\*\*、北\*\*)があてはまる。



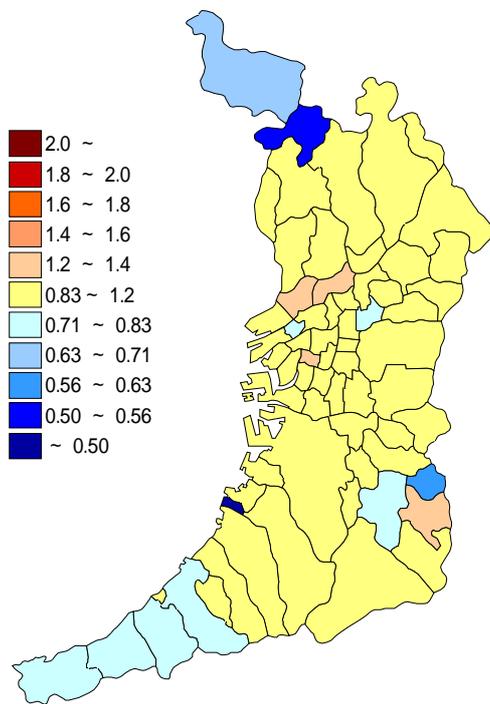
市区町村別標準化罹患比 - 全部位(女)

女性におけるがんの標準化罹患比を、大阪府を基準として市区町村別に示した。地域の罹患状況が大阪府より低い市区町村は35市区町村である。それ以外の地域の標準化罹患比は1.0 - 1.4の間にあり、1.1 - 1.4には10区(高い方から、西\*\*、浪速\*\*、東淀川\*\*、中央\*\*、西成\*\*、東成\*\*、淀川\*\*、生野\*\*、住吉\*\*、天王寺\*)があてはまる。



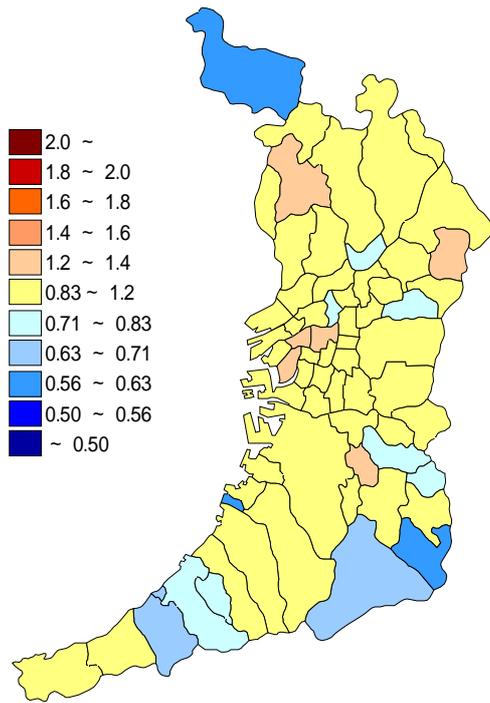
市区町村別標準化罹患比 - 胃(男)

男性における胃がんの標準化罹患比を、大阪府を基準として市区町村別に示した。地域の罹患状況が大阪府より低い市区町村は 34 市区町村である。それ以外の地域の標準化死亡比は 1.0 - 1.4 の間にあり、1.1 - 1.4 には 13 市区町（高い方から、東淀川\*\*、大正\*\*、生野\*\*、島本、交野、西、中央、此花、福島、貝塚、岸和田\*、西淀川、美原）があてはまる。



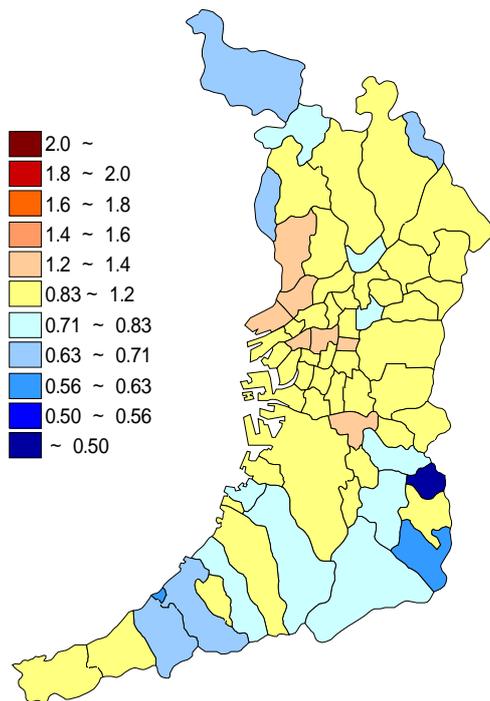
市区町村別標準化罹患比 - 胃(女)

女性における胃がんの標準化罹患比を、大阪府を基準として市区町村別に示した。地域の罹患状況が大阪府より低い市区町村は 38 市区町村である。それ以外の地域の標準化罹患比は 1.0 - 1.4 の間にあり、1.1 - 1.4 には 13 市区町（高いほうから、浪速\*、河南、淀川\*\*、東淀川\*、大東\*、田尻、生野\*、平野\*、天王寺、西淀川、交野、松原、門真）があてはまる。



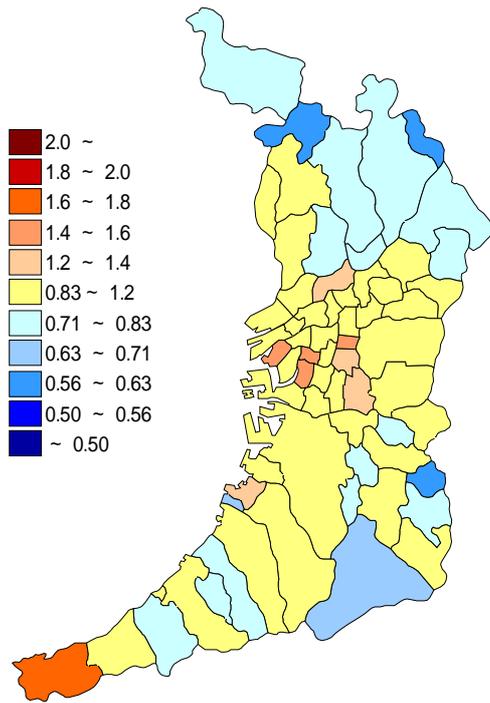
市区町村別標準化罹患比 - 大腸(男)

男性における大腸がんの標準化罹患比を、大阪府を基準として市区町村別に示した。地域の罹患状況が大阪府より低い市区町村は 40 市区町村である。それ以外の地域の標準化罹患比は 1.0 - 1.4 の間にあり、1.1 - 1.4 には 18 市区町（高い方から、中央\*\*、美原\*、西\*\*、大正\*\*、交野\*、箕面\*\*、西淀川\*、福島、東淀川\*\*、東成、豊中\*\*、生野\*、藤井寺、住吉\*、吹田\*\*、阿倍野、島本、岸和田）があてはまる。



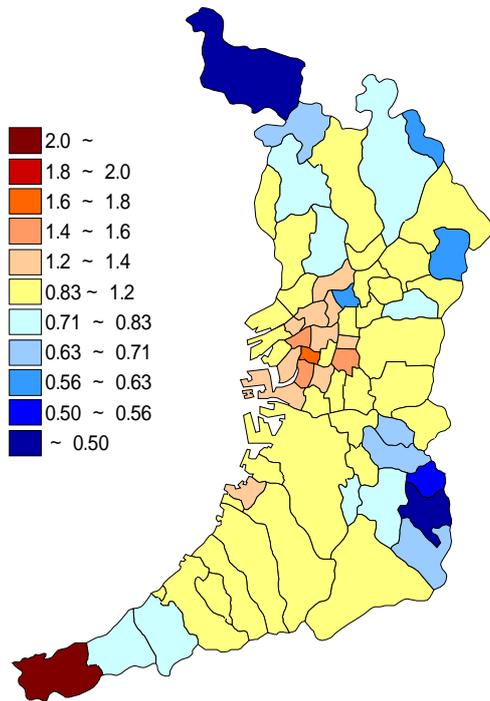
市区町村別標準化罹患比 - 大腸(女)

女性における大腸がんの標準化罹患比を、大阪府を基準として市区町村別に示した。地域の罹患状況が大阪府より低い市区町村は 36 市区町である。それ以外の地域の標準化罹患比は 1.0 - 1.4 の間にあり、1.1 - 1.4 には 18 市区（高い方から、東成\*\*、西\*、中央、西淀川\*、松原\*、豊中\*\*、淀川\*、藤井寺、寝屋川\*、門真、西成、東淀川、箕面、福島、交野、住吉、四條畷、浪速）があてはまる。



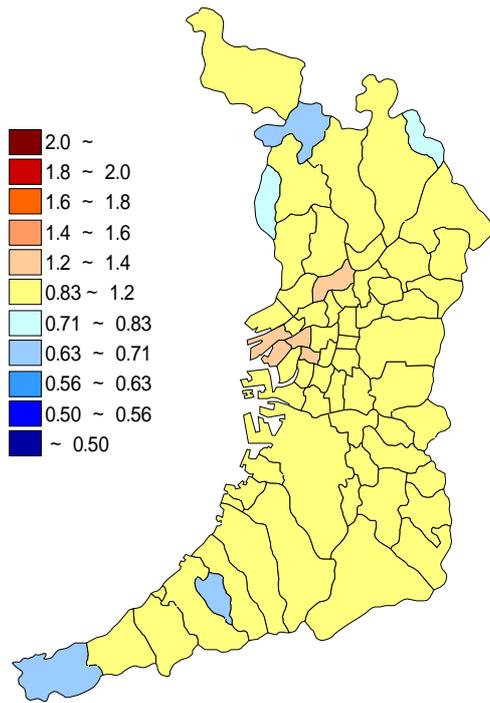
市区町村別標準化罹患比 - 肝臓(男)

男性における肝臓がんの標準化罹患比を、大阪府を基準として市区町村別に示した。地域の罹患状況が大阪府より低い市区町村は37市区町村である。それ以外の地域の標準化死亡比は1.0 - 1.8の間にあり、1.1 - 1.8には19市区町（高い方から、岬\*\*、浪速\*\*、東成\*\*、港\*\*、西成\*\*、東淀川\*\*、生野\*\*、泉大津\*\*、平野\*\*、住之江\*、北、西淀川、八尾\*\*、住吉、西、大正、東大阪\*\*、鶴見、和泉）があてはまる。



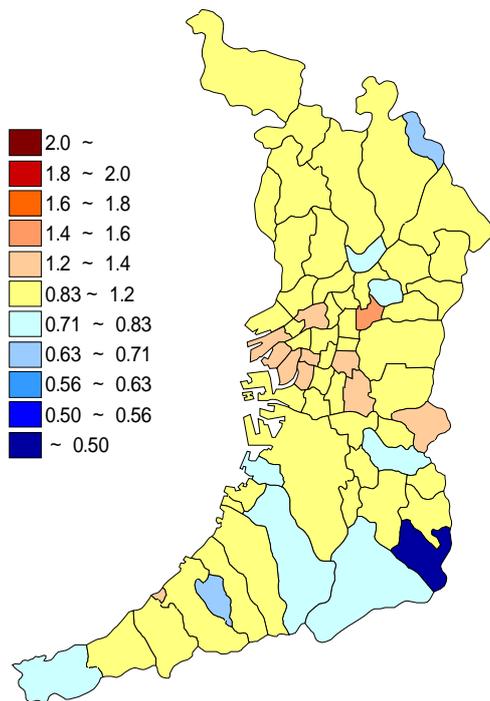
市区町村別標準化罹患比 - 肝臓(女)

女性における肝臓がんの標準化罹患比を、大阪府を基準として市区町村別に示した。地域の罹患状況が大阪府より低い市区町村は37市区町村である。それ以外の地域の標準化罹患比は1.0 - 2.2の間にあり、1.1 - 2.2には23市区町（高い方から、岬\*\*、浪速\*\*、西\*\*、西成\*\*、生野\*\*、東成\*\*、阿倍野\*\*、北\*、都島\*、中央、東淀川\*\*、住之江\*、福島、泉大津、大正、港、城東、平野、八尾\*、此花、池田、西淀川、淀川）があてはまる。



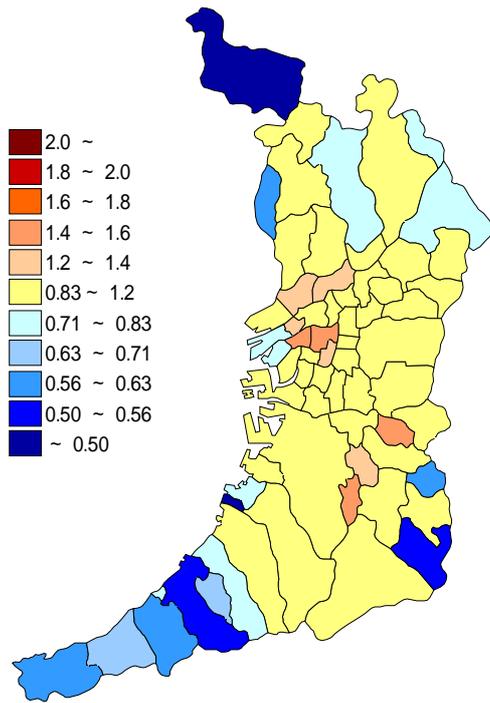
市区町村別標準化罹患比 - 肺(男)

男性における肺がんの標準化罹患比を、大阪府を基準として市区町村別に示した。地域の罹患状況が大阪府より低い市区町村は 27 市区町村である。それ以外の地域の標準化罹患比は 1.0 - 1.4 の間にあり、1.1 - 1.4 には 17 市区町（高い方から、港\*\*、西\*、浪速\*、東淀川\*\*、此花\*、河南、都島\*、北\*、大正、美原、平野\*、淀川\*、住之江、和泉、太子、西淀川、門真）があてはまる。



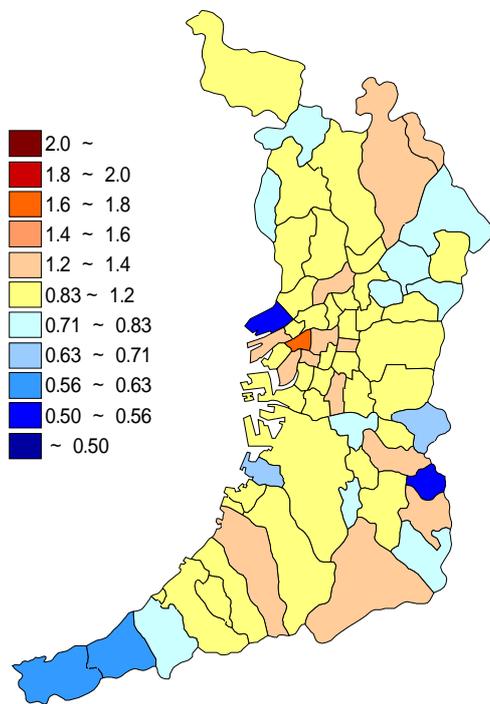
市区町村別標準化罹患比 - 肺(女)

女性における肺がんの標準化罹患比を、大阪府を基準として市区町村別に示した。地域の罹患状況が大阪府より低い市区町村は 36 市区町村である。それ以外の地域の標準化罹患比は 1.0 - 1.6 の間にあり、1.1 - 1.6 には 24 市区町（高い方から、鶴見\*\*、此花\*\*、大正\*、生野\*\*、西成\*\*、浪速、港、平野\*\*、北、田尻、柏原、美原、住之江、河南、天王寺、西、東成、淀川、忠岡、城東、岸和田、東住吉、守口、旭）があてはまる。



市区町村別標準化罹患比 - 乳房(女)

女性における乳がんの標準化罹患比を、大阪府を基準として市区町村別に示した。地域の罹患状況が大阪府より低い市区町村は 35 市町村である。それ以外の地域の標準化罹患比は 1.0 - 1.6 の間にあり、1.1 - 1.6 には 18 市区町（高い方から、大阪狭山\*\*、藤井寺\*\*、中央\*\*、西\*\*、福島\*\*、淀川\*\*、東淀川\*\*、天王寺、美原、住吉\*、阿倍野\*、四條畷、豊中\*\*、住之江、東住吉\*、西成、松原、東成）があてはまる。



市区町村別標準化罹患比 - 子宮

子宮がん（頸部上皮内がんを除く）の標準化罹患比を、大阪府を基準として市区町村別に示した。地域の罹患状況が大阪府より低い市区町村は 38 市町村である。それ以外の地域の標準化罹患比は 1.0 - 1.8 の間にあり、1.1 - 1.8 には 20 市区町（高い方から、西\*\*、河南、東住吉\*\*、岸和田\*\*、中央、浪速、島本、河内長野、高槻\*\*、大正、東淀川、羽曳野、東成、此花、平野、豊中\*、鶴見、住吉、港、摂津）があてはまる。

(3) 市区町村別の死亡率と罹患率

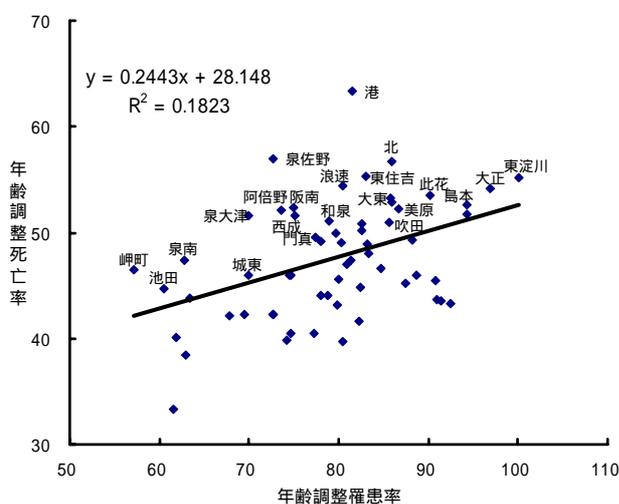
死亡と罹患がパラレルである（相関係数が大きい）がんは、**肝臓・肺**。

したがって、罹患率が高くなるにつれて死亡率も高くなるため、散布図\*1の右上に位置する市区町村では、**一次予防**が重要である。

死亡と罹患がパラレルでない（相関係数が小さい）がんは、**胃・大腸・乳房・子宮**。

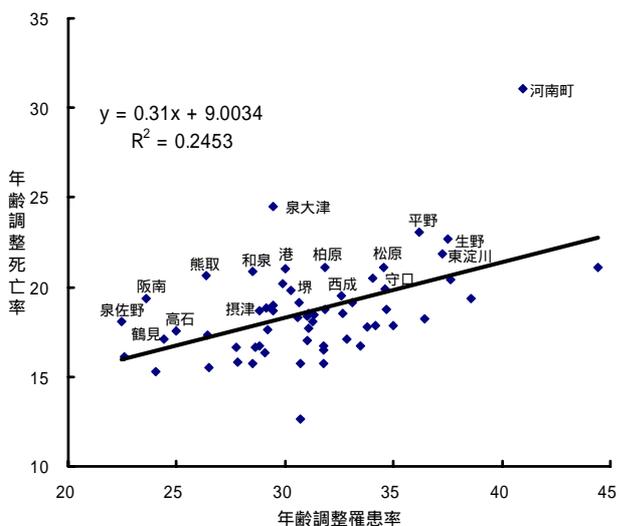
したがって、同じ罹患率でも死亡率に相違があるため、回帰直線よりも上方に位置する市区町村では、**二次予防と医療の充実**が重要である。

\*1：市区町村別の年齢調整死亡率と年齢調整罹患率（1995 - 1999年。標準人口は1985年日本モデル人口）を用いて、各市区町村を散布図にプロットした。また、回帰直線も示した。



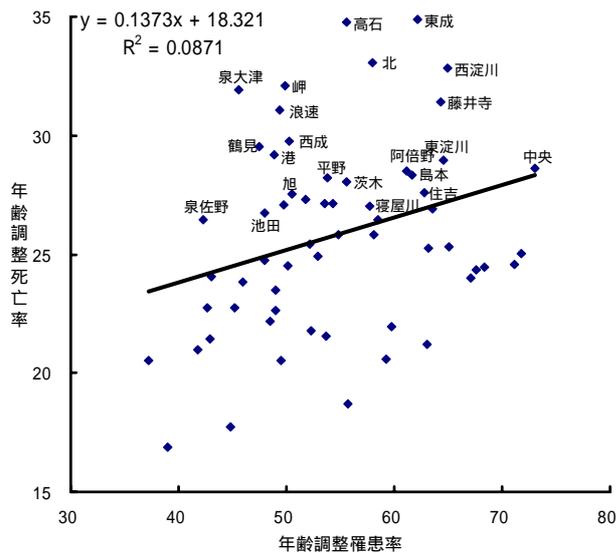
年齢調整死亡率と罹患率の散布図 - 胃(男)

男性における胃がんの死亡と罹患の関連を、市区町村別に示した。回帰直線よりも上方に位置する31市区町（北、東淀川、此花、港、大正、浪速、東成、生野、城東、阿倍野、住吉、東住吉、西成、平野、池田、豊能、吹田、島本、寝屋川、門真、大東、羽曳野、美原、河内長野、和泉、泉大津、高石、泉佐野、泉南、岬、阪南）では、他の市区町村に比べて、同じ罹患率でも死亡率が高い傾向にある。



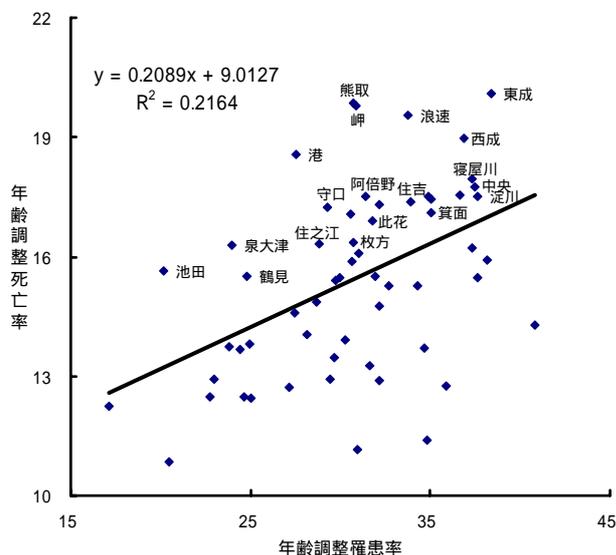
年齢調整死亡率と罹患率の散布図 - 胃(女)

女性における胃がんの死亡と罹患の関連を、市区町村別に示した。回帰直線よりも上方に位置する26市区町（都島、東淀川、港、生野、鶴見、西成、住之江、平野、池田、撰津、守口、門真、東大阪、柏原、羽曳野、松原、河内長野、河南、堺、和泉、泉大津、高石、泉佐野、熊取、泉南、阪南）では、他の市区町村に比べて、同じ罹患率でも死亡率が高い傾向にある。



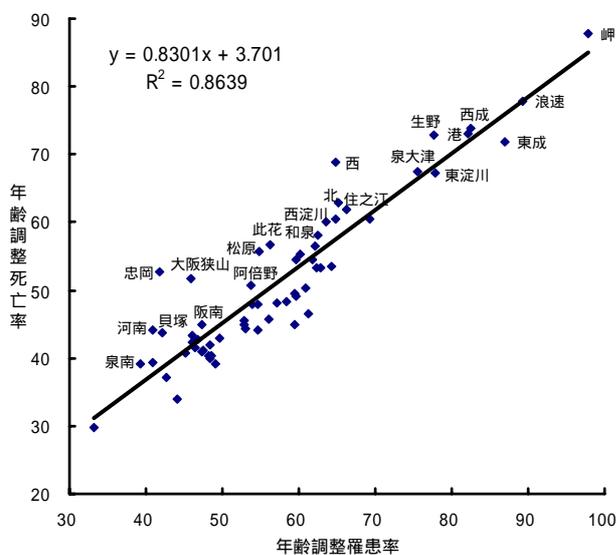
年齢調整死亡率と罹患率の散布図 - 大腸(男)

男性における大腸がんの死亡と罹患の関連を、市区町村別に示した。回帰直線よりも上方に位置する 27 市区町（北、東淀川、旭、港、西淀川、浪速、東成、城東、鶴見、中央、阿倍野、住吉、西成、住之江、平野、池田、茨木、島本、寝屋川、門真、柏原、藤井寺、堺、泉大津、高石、泉佐野、岬）では、他の市区町村に比べて、同じ罹患率でも死亡率が高い傾向にある。



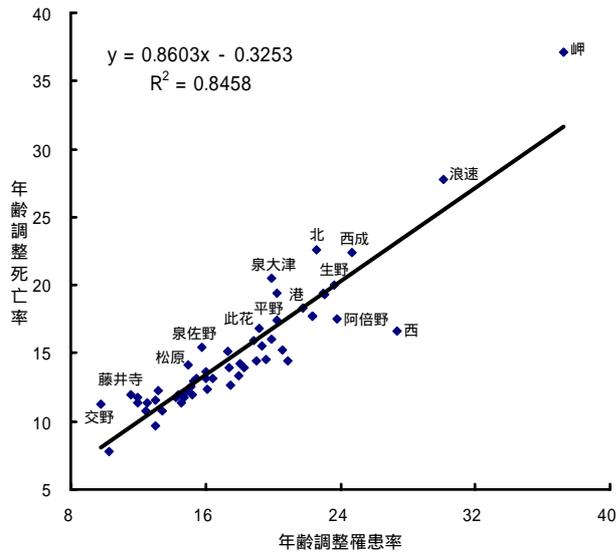
年齢調整死亡率と罹患率の散布図 - 大腸(女)

女性における大腸がんの死亡と罹患の関連を、市区町村別に示した。回帰直線よりも上方に位置する 28 市区町（北、東淀川、淀川、此花、港、浪速、東成、城東、鶴見、中央、阿倍野、住吉、東住吉、西成、住之江、平野、池田、箕面、枚方、寝屋川、守口、門真、東大阪、柏原、藤井寺、泉大津、熊取、岬）では、他の市区町村に比べて、同じ罹患率でも死亡率が高い傾向にある。



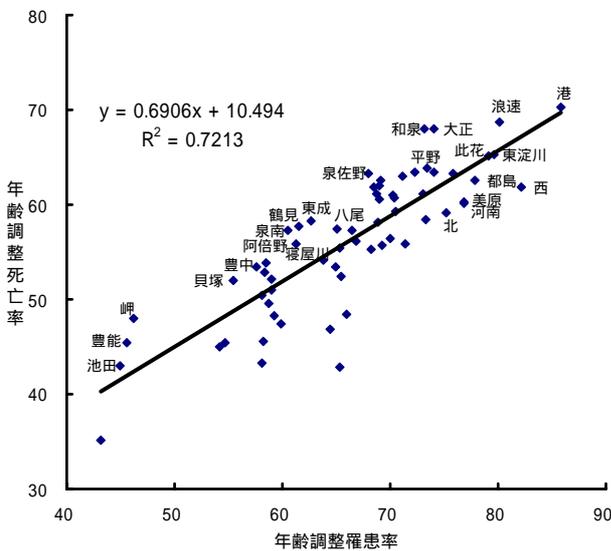
年齢調整死亡率と罹患率の散布図 - 肝臓(男)

男性における肝臓がんの死亡と罹患の関連を、市区町村別に示した。散布図の右上に位置する市区町村ほど、肝臓がんの罹患率と死亡率はともに高い傾向にあり、罹患率と死亡率がともに最も高いのは岬町である。



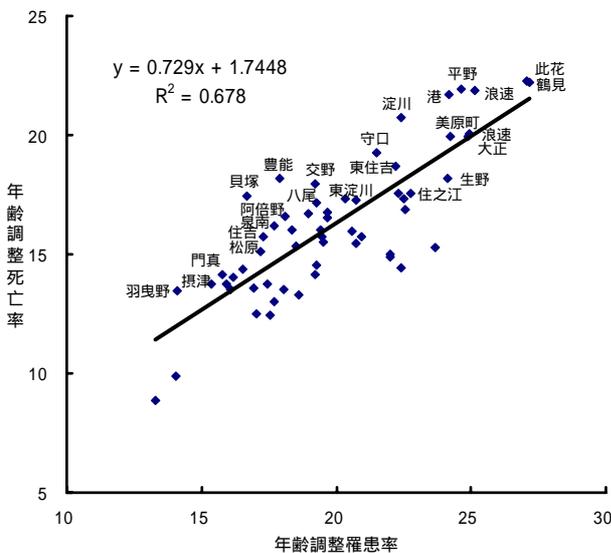
年齢調整死亡率と罹患率の散布図 - 肝臓(女)

女性における肝臓がんの死亡と罹患の関連を、市区町村別に示した。散布図の右上に位置する市区町村ほど、肝臓がんの罹患率と死亡率はともに高い傾向にあり、罹患率と死亡率がともに最も高いのは岬町である。



年齢調整死亡率と罹患率の散布図 - 肺(男)

男性における肺がんの死亡と罹患の関連を、市区町村別に示した。散布図の右上に位置する市区町村ほど、肺がんの罹患率と死亡率はともに高い傾向にあり、罹患率と死亡率がともに最も高いのは港区である。



年齢調整死亡率と罹患率の散布図 - 肺(女)

女性における肺がんの死亡と罹患の関連を、市区町村別に示した。散布図の右上に位置する市区町村ほど、肺がんの罹患率と死亡率はともに高い傾向にあり、罹患率と死亡率がともに最も高いのは此花区と鶴見区である。



#### (4) 医療圏別の生存率

がんの5年相対生存率\*1は、医療圏により異なる。大阪府全域と医療圏別の生存率を比較し、大阪府の生存率より2SE(標準誤差×2)以上低い地域は次のとおりである。

##### 【胃(男)】

大阪市北部(49.1%)、大阪市西部(49.3%)、大阪市東部(47.5%)、大阪市南部(40.5%)、堺市(49.2%)

##### 【胃(女)】

大阪市南部(45.6%)、中河内(45.9%)、堺市(43.6%)

##### 【大腸(男)】

大阪市北部(55.2%)、大阪市東部(58.2%)、大阪市南部(56.1%)、中河内(56.6%)、泉州(58.5%)

##### 【大腸(女)】

大阪市南部(48.7%)、三島(54.3%)

##### 【肝臓(男)】

大阪市北部(15.2%)、大阪市東部(14.0%)、大阪市南部(12.6%)

##### 【肝臓(女)】

大阪市東部(13.9%)、中河内(12.6%)、堺市(13.6%)、泉州(12.6%)

##### 【肺(男)】

大阪市西部(11.9%)、大阪市南部(10.2%)、三島(10.9%)、中河内(13.0%)、南河内(12.7%)

##### 【肺(女)】

大阪市西部(13.2%)、大阪市南部(14.7%)、北河内(13.2%)、南河内(14.8%)

##### 【乳房(女)】

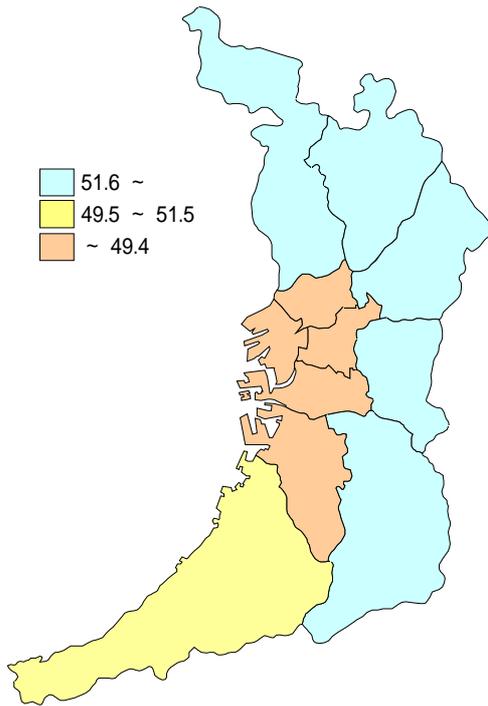
大阪市東部(80.1%)、三島(81.2%)、北河内(79.9%)、泉州(80.2%)

##### 【子宮】

大阪市北部(62.2%)、大阪市西部(63.6%)、大阪市南部(62.1%)、豊能(64.9%)、北河内(64.9%)

生存率の低い地域では、大阪府と比べてがんの限局(診断時のがんの拡がり原発臓器に限局しているもの)割合、かつ/または、がんの進行度別5年相対生存率が低い傾向にある。

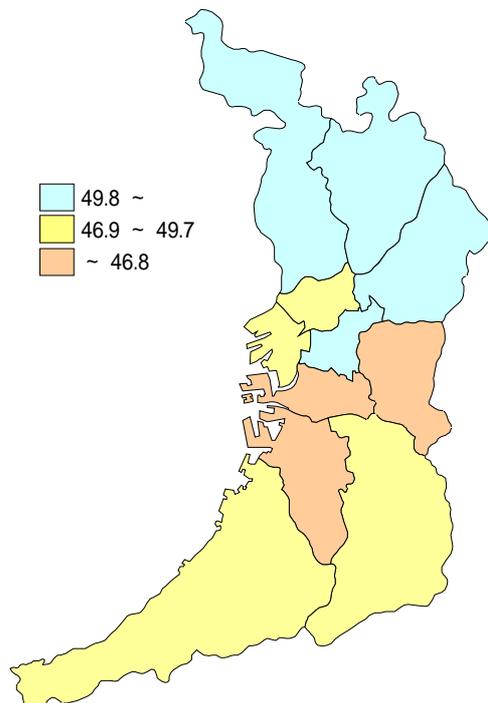
\*1: 相対生存率は実測生存率を期待生存確率で除したものの。



医療圏別5年相対生存率 - 胃(男)

男性における胃がんの5年相対生存率を、医療圏別に示した。大阪府の生存率は50.5%（標準誤差SEは0.5）である。大阪府より2SE（標準誤差×2）以上低い地域は、大阪市北部（49.1%）、大阪市西部（49.3%）、大阪市東部（47.5%）、大阪市南部（40.5%）、堺市（49.2%）である。

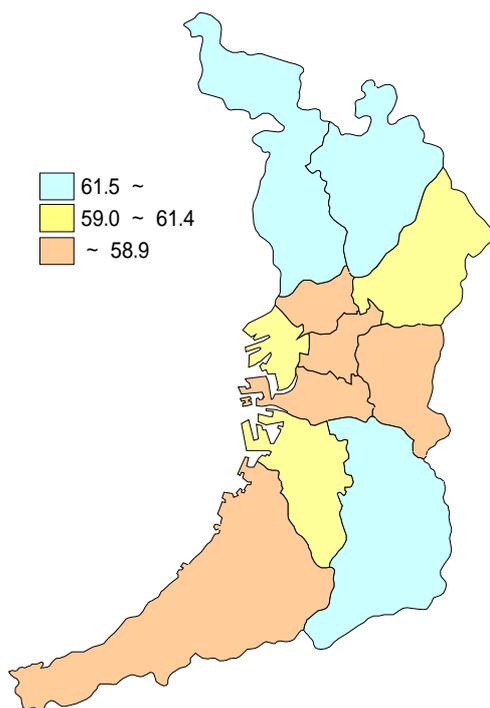
これらの5地域では、胃がんの進行度分布については限局（診断時のがんの拡がり原発臓器に限局しているもの）割合が大阪府に比べて低いか、または、胃がんの進行度別5年相対生存率が大阪府全域に比べて低い傾向にある。



医療圏別5年相対生存率 - 胃(女)

女性における胃がんの5年相対生存率を、医療圏別に示した。大阪府の生存率は48.3%（標準誤差SEは0.7）である。大阪府より2SE（標準誤差×2）以上低い地域は、大阪市南部（45.6%）、中河内（45.9%）、堺市（43.6%）である。

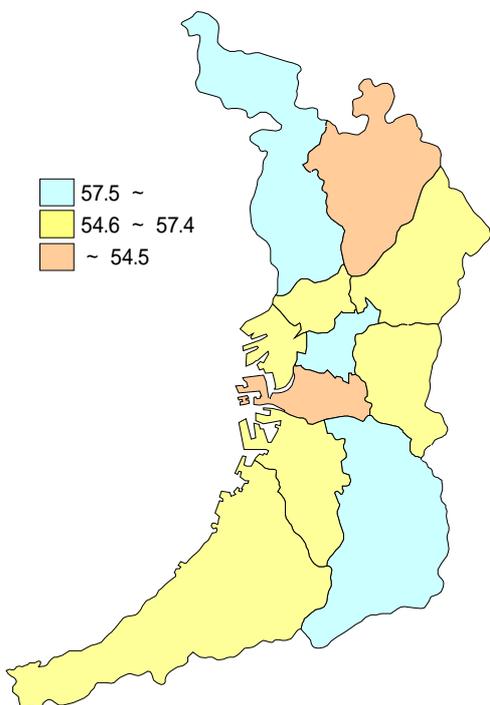
これらの3地域では、胃がんの進行度分布については限局（診断時のがんの拡がり原発臓器に限局しているもの）割合が大阪府全域に比べて低い傾向にある。



医療圏別5年相対生存率 - 大腸(男)

男性における大腸がんの5年相対生存率を、医療圏別に示した。大阪府の生存率は60.2%（標準誤差SEは0.6）である。大阪府より2SE（標準誤差×2）以上低い地域は、大阪市北部（55.2%）、大阪市東部（58.2%）、大阪市南部（56.1%）、中河内（56.6%）、泉州（58.5%）である。

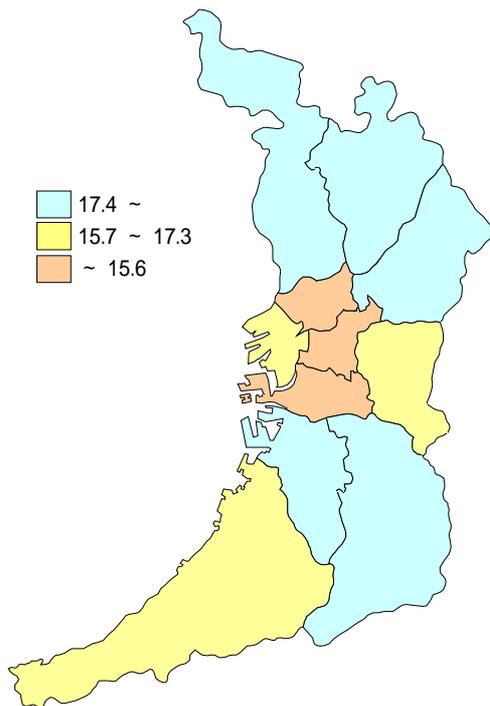
これらの5地域では、大腸がんの進行度分布については限局（診断時のがんの拡がり原発臓器に限局しているもの）割合が大阪府全域に比べて低いか、または、大腸がんの進行度別5年相対生存率が大阪府全域に比べて低い傾向にある。



医療圏別5年相対生存率 - 大腸(女)

女性における大腸がんの5年相対生存率を、医療圏別に示した。大阪府の生存率は56.0%（標準誤差SEは0.7）である。大阪府より2SE（標準誤差×2）以上低い地域は、大阪市南部（48.7%）、三島（54.3%）である。

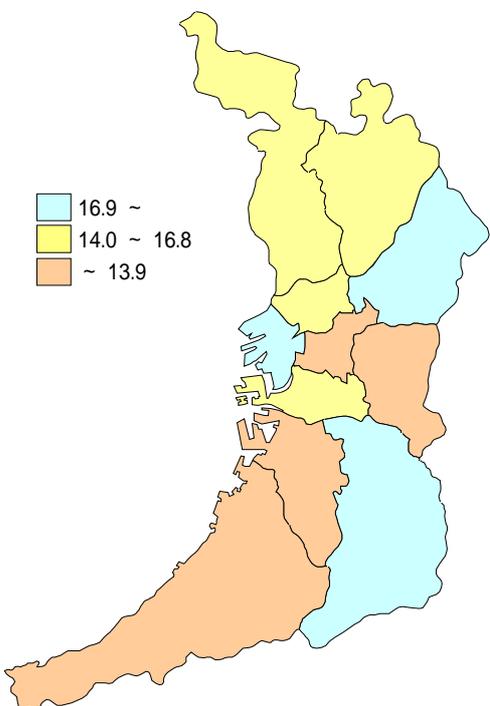
これらの2地域では、大腸がんの進行度分布については限局（診断時のがんの拡がり原発臓器に限局しているもの）割合が大阪府全域に比べて低いか、または、大腸がんの進行度別5年相対生存率が大阪府全域に比べて低い傾向にある。



医療圏別5年相対生存率 - 肝臓(男)

男性における肝臓がんの5年相対生存率を、医療圏別に示した。大阪府の生存率は16.5%（標準誤差SEは0.4）である。大阪府より2SE（標準誤差×2）以上低い地域は、大阪市北部（15.2%）、大阪市東部（14.0%）、大阪市南部（12.6%）である。

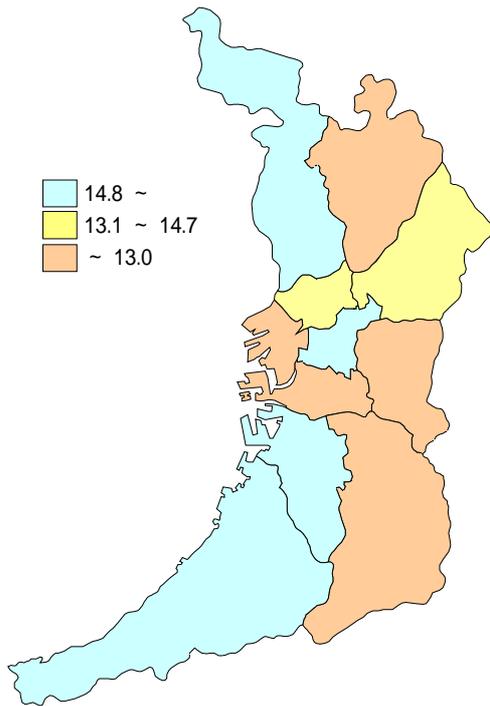
これらの3地域では、肝臓がんの限局（診断時のがんの拡がりか原発臓器に限局しているもの）の5年相対生存率が大阪府全域に比べて低い傾向にある。



医療圏別5年相対生存率 - 肝臓(女)

女性における肝臓がんの5年相対生存率を、医療圏別に示した。大阪府の生存率は15.4%（標準誤差SEは0.7）である。大阪府より2SE（標準誤差×2）以上低い地域は、大阪市東部（13.9%）、中河内（12.6%）、堺市（13.6%）、泉州（12.6%）である。

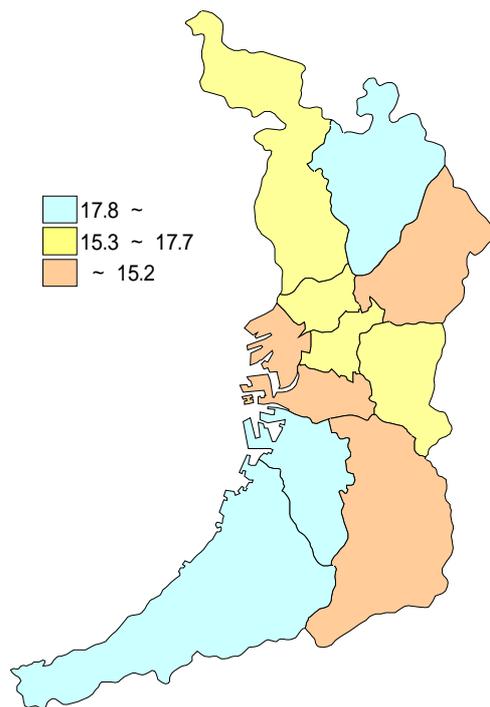
これらの4地域では、肝臓がんの限局（診断時のがんの拡がりか原発臓器に限局しているもの）の5年相対生存率が大阪府全域に比べて低い傾向にある。



医療圏別5年相対生存率 - 肺(男)

男性における肺がんの5年相対生存率を、医療圏別に示した。大阪府の生存率は13.9%（標準誤差SEは0.4）である。大阪府より2SE（標準誤差×2）以上低い地域は、大阪市西部（11.9%）、大阪市南部（10.2%）、三島（10.9%）、中河内（13.0%）、南河内（12.7%）である。

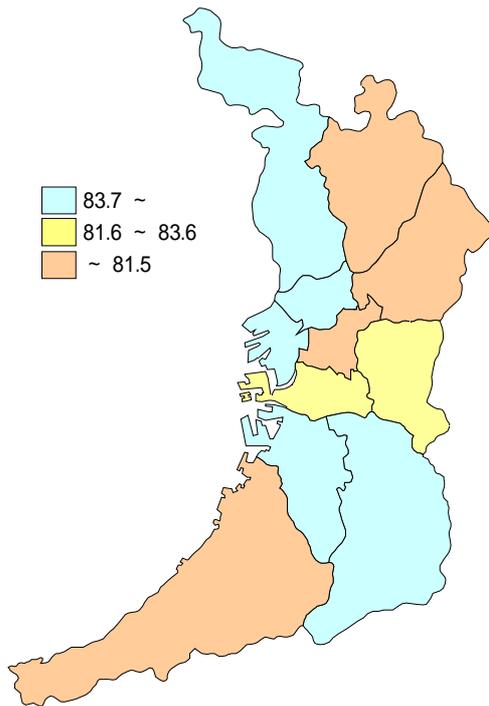
これらの5地域では、肺がんの進行度別5年相対生存率が大阪府全域に比べて低い傾向にある。



医療圏別5年相対生存率 - 肺(女)

女性における肺がんの5年相対生存率を、医療圏別に示した。大阪府の生存率は16.5%（標準誤差SEは0.6）である。大阪府より2SE（標準誤差×2）以上低い地域は、大阪市西部（13.2%）、大阪市南部（14.7%）、北河内（13.2%）、南河内（14.8%）である。

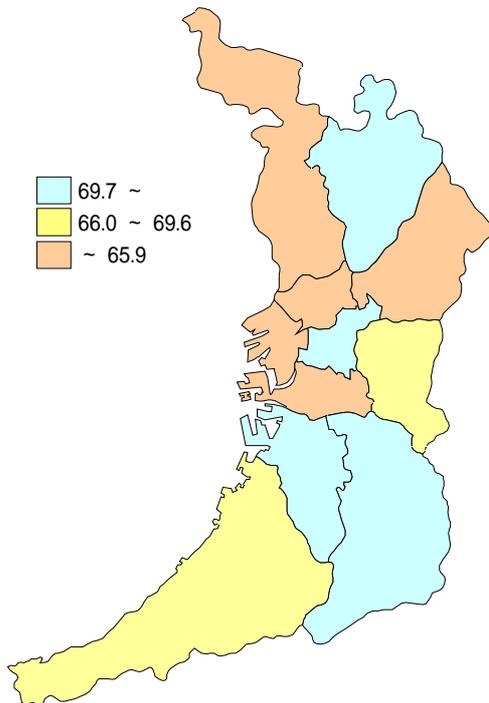
これらの4地域では、肺がんの限局（診断時のがんの拡がりか原発臓器に限局しているもの）の5年相対生存率が大阪府全域に比べて低い傾向にある。



医療圏別5年相対生存率 - 乳房(女)

女性における乳がんの5年相対生存率を、医療圏別に示した。大阪府の生存率は82.6%（標準誤差SEは0.5）である。大阪府より2SE（標準誤差×2）以上低い地域は、大阪市東部（80.1%）、三島（81.2%）、北河内（79.9%）、泉州（80.2%）である。

これらの4地域では、乳がんの進行度分布については限局（診断時のがんの拡がり原発臓器に限局しているもの）割合が大阪府に比べて低いか、または、乳がんの限局の5年相対生存率が大阪府全域に比べて低い傾向にある。



医療圏別5年相対生存率 - 子宮

子宮がんの5年相対生存率を、医療圏別に示した。大阪府の生存率は67.8%（標準誤差SEは0.9）である。大阪府より2SE（標準誤差×2）以上低い地域は、大阪市北部（62.2%）、大阪市西部（63.6%）、大阪市南部（62.1%）、豊能（64.9%）、北河内（64.9%）である。

これらの5地域では、子宮がんの進行度分布については限局（診断時のがんの拡がり原発臓器に限局しているもの）割合が大阪府全域に比べて低いか、または、子宮がんの進行度別5年相対生存率が大阪府全域に比べて低い傾向にある。

(5) 市区町村の社会経済特性とがん

全がんの年齢調整死亡率（1995 - 1999 年。標準人口は 1985 年日本モデル人口）と男性失業率（1995 年）には、正の相関関係がある。

すなわち、男性失業率が高い市区町村ほど、全がんの死亡率が高くなる。

また、男性失業率が 1%悪化すると、年齢調整死亡率は 6.0 人（人口 10 万対）の増加が見込まれる。

全がんの 5 年相対生存率\*1（1990 - 1994 年）と持ち家率（1998 年）には、正の相関関係がある。

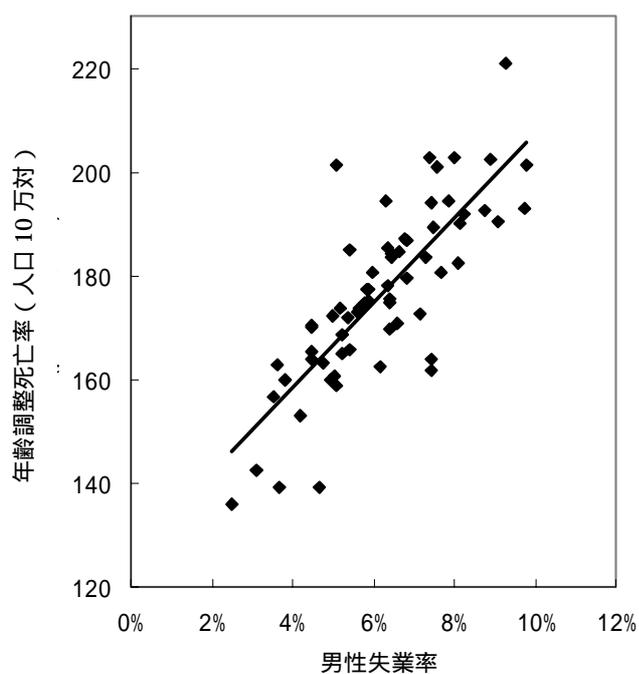
すなわち、持ち家率が高い市区町村ほど、全がんの生存率が高くなる。

また、持ち家率が 10%上昇すると、5 年相対生存率は 5.0%の向上が見込まれる。

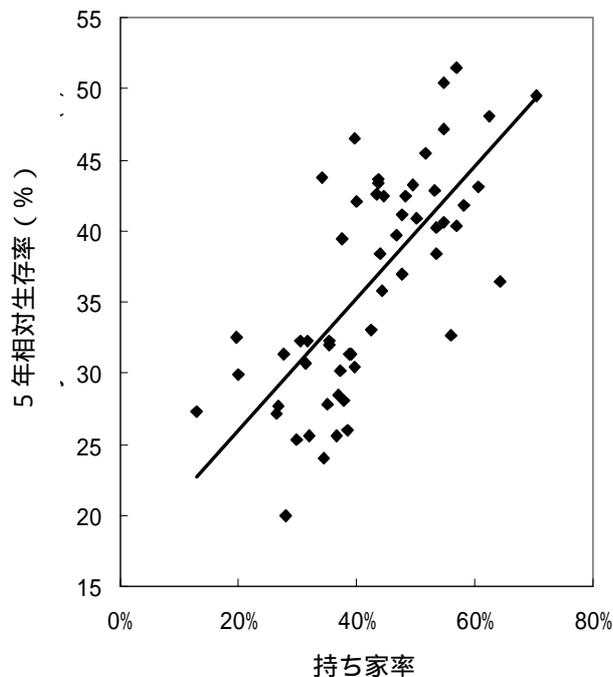
\*1：相対生存率は実測生存率を期待生存確率で除したものの。

資料

1. 総務省編. 統計で見る市町村のすがた.
2. Ueda K, Tsukuma H, Ajiki W, Oshima A. Socioeconomic factors and cancer incidence, mortality, and survival in a metropolitan area of Japan: a cross-sectional ecological study. Cancer Sci 2005; 96: 684-8.



年齢調整死亡率（男女）と男性失業率の散布図 - 全部位



5年相対生存率（男女）と持ち家率の散布図 - 全部位

## 第2章 がんと生活習慣

## 1. 大阪府における喫煙の現状

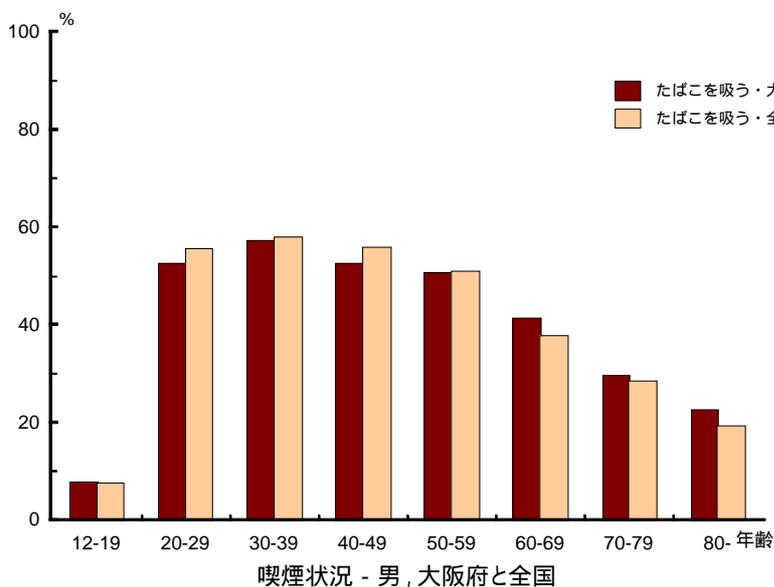
大阪府における喫煙状況は次のとおりである。

【喫煙率（男）】 大阪府（43.7%）と全国（43.9%）はほぼ同じである。  
大阪府の喫煙率は、47都道府県の中で高い方から22番目である。

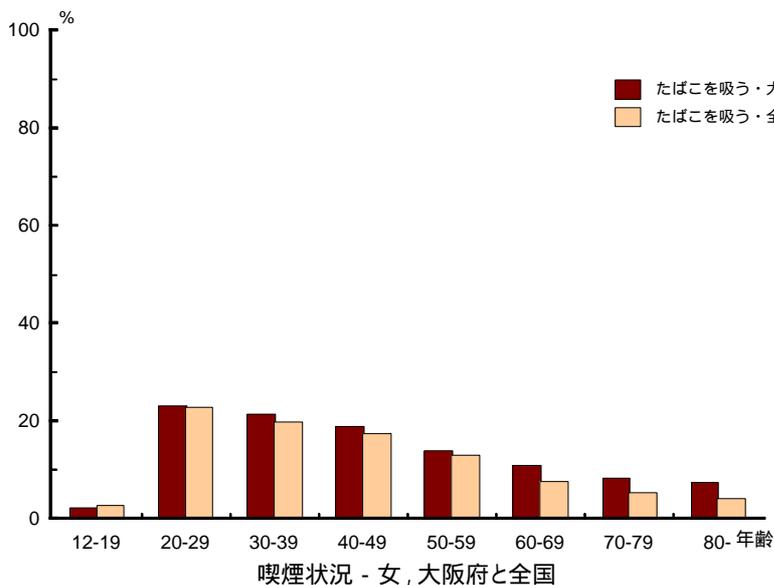
【喫煙率（女）】 大阪府（14.5%）は全国（12.9%）と比べて高い。  
大阪府の喫煙率は、47都道府県の中で高い方から7番目である。

年齢階級別にみると、大阪府の喫煙率は男性では20 - 39歳、女性では20 - 29歳で高い。

資料：平成13年国民生活基礎調査 [http://www.dbtk.mhlw.go.jp/IPPAN/ippan/scm\\_k\\_Ichiran](http://www.dbtk.mhlw.go.jp/IPPAN/ippan/scm_k_Ichiran)



男性における喫煙状況を示した。喫煙率は、大阪府（43.7%）と全国（43.9%）はほぼ同じである。年齢階級別では、60 - 69歳以降で、大阪府は全国に比べて喫煙率が高い。また、大阪府および全国において、20 - 39歳の喫煙率は、40 - 49歳以降と比べて高い。



女性における喫煙状況を示した。喫煙率は、大阪府（14.5%）は全国（12.9%）と比べて高い。年齢階級別では、20 - 29歳以降で、大阪府は全国に比べて喫煙率が高い。また、大阪府および全国において、20 - 29歳の喫煙率は、30 - 39歳以降と比べて高い。

## 2. リスクとなる生活習慣、予防となる生活習慣

日本人におけるがんの主要なリスク要因は、**喫煙**、**多量飲酒**、**塩分摂りすぎ**、**運動不足**  
 日本人におけるがんの主要な予防要因は、**野菜・果物**

資料：日本がん疫学研究会がん予防指針検討委員会. 生活習慣と主要部位のがん 世界がん研究基金 / 米国がん研究協会編「食物・栄養とがん予防」の日本人への適用性. 2000.

日本人における部位別がんのリスク要因と予防要因 - 総合判定 -

部位	リスク要因 <sup>1</sup>			予防要因		
	確実な	ほぼ確実な	可能性がある <sup>2</sup>	ほぼ確実な	可能性がある	可能性がある <sup>3</sup>
胃		塩分摂りすぎ	喫煙 多量飲酒 焼肉焼魚多	野菜・果物	緑黄色野菜 緑茶	
大腸		運動不足	喫煙 焼肉焼魚多食 多量飲酒 肥満 塩分摂りすぎ 油脂肉類多食	野菜・果物	緑黄色野菜 食物繊維	
肝臓	多量飲酒	喫煙				野菜・果物
肺	喫煙	多量飲酒	運動不足	緑黄色野菜		野菜・果物
乳房 (女性)		肥満	多量飲酒 油脂肉類多食 運動不足			野菜・果物 緑黄色野菜 食物繊維
子宮 頸部			喫煙			野菜・果物 緑黄色野菜
子宮 体部			肥満			野菜・果物

\*1：生活習慣以外のリスク要因については、第4章2（58ページ）を参照

\*2：日本人での研究は不十分であるが、リスク要因の可能性はある

\*3：日本人での研究は不十分であるが、予防要因の可能性はある

### 第3章 がんと検診

## 1. 大阪府における検診の受診状況

大阪府における検診の受診状況は次のとおりである。

【胃がん検診（男）】 大阪府（15.7％）は全国（20.2％）と比べて低い。  
大阪府の受診率は、47都道府県の中で低い方から2番目である。

【胃がん検診（女）】 大阪府（11.8％）は全国（16.3％）と比べて低い。  
大阪府の受診率は、47都道府県の中で最も低い。

【大腸がん検診（男）】 大阪府（11.2％）は全国（14.2％）と比べて低い。  
大阪府の受診率は、47都道府県の中で低い方から3番目である。

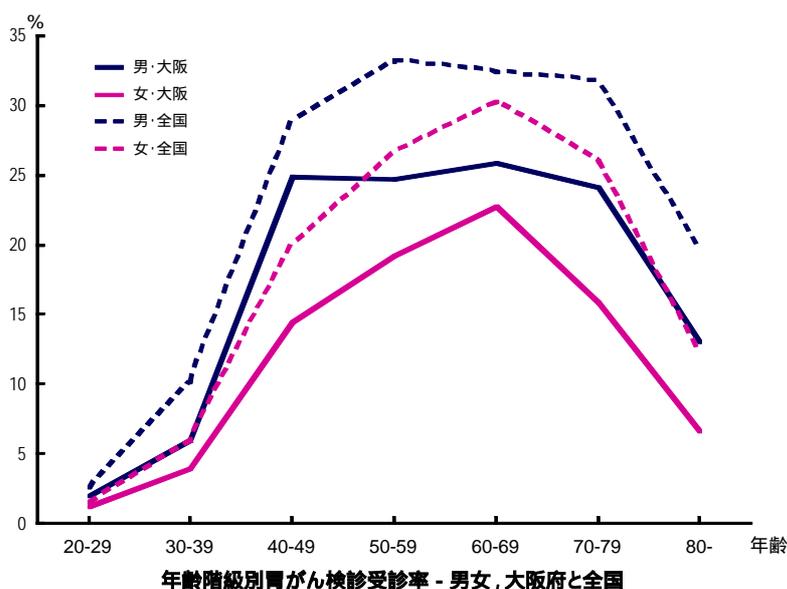
【大腸がん検診（女）】 大阪府（9.0％）は全国（12.1％）と比べて低い。  
大阪府の受診率は、47都道府県の中で低い方から2番目である。

【肺がん検診（男）】 大阪府（9.2％）は全国（12.7％）と比べて低い。  
大阪府の受診率は、47都道府県の中で低い方から4番目である。

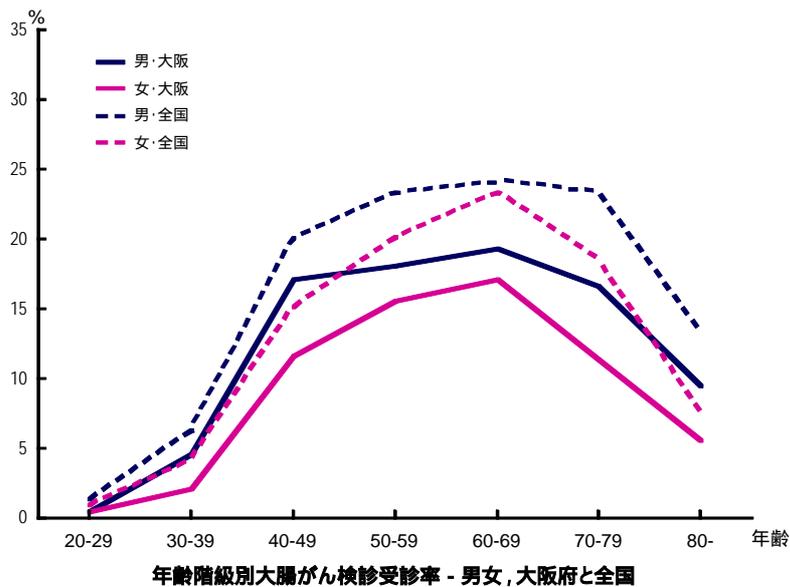
【肺がん検診（女）】 大阪府（6.5％）は全国（10.1％）と比べて低い。  
大阪府の受診率は、47都道府県の中で低い方から3番目である。

【子宮がん検診】 大阪府（16.5％）は全国（18.2％）と比べて低い。  
大阪府の受診率は、47都道府県の中で低い方から11番目である。

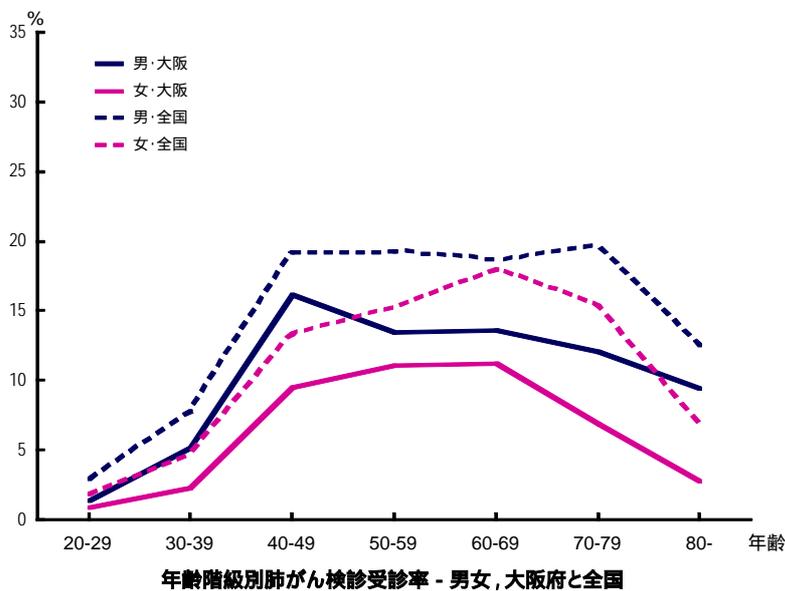
資料：平成13年国民生活基礎調査 [http://www.dbtk.mhlw.go.jp/IPPAN/ippan/scm\\_k\\_Ichiran](http://www.dbtk.mhlw.go.jp/IPPAN/ippan/scm_k_Ichiran)



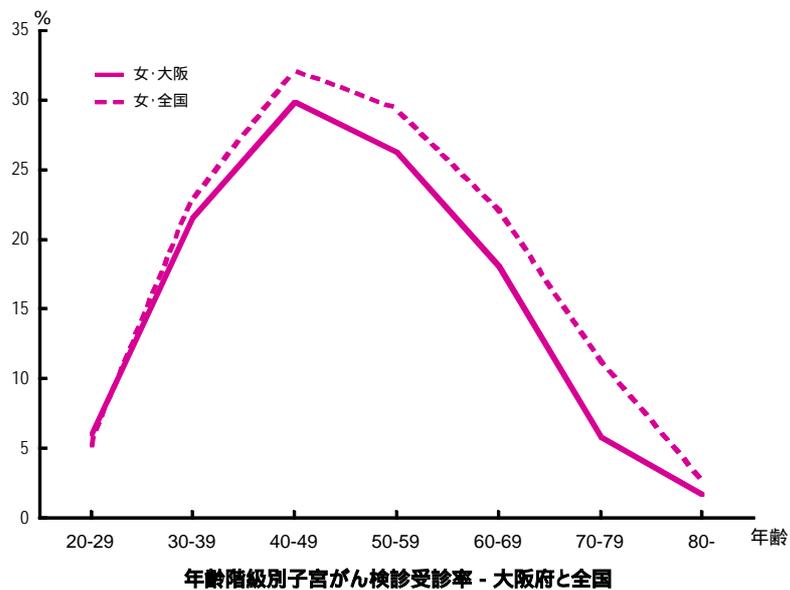
性・年齢階級別の胃がん検診受診率を示した。受診率は、大阪府で男性15.7％、女性11.8％、全国で男性20.2％、女性16.3％である。また、男女ともに、大阪府は全国と比べて、全ての年齢階級において受診率が低い。



性・年齢階級別の大腸がん検診受診率を示した。受診率は、大阪府で男性 11.2%、女性 9.0%、全国で男性 14.2%、女性 12.1%である。また、男女ともに、大阪府は全国と比べて、全ての年齢階級において受診率が低い。



性・年齢階級別の肺がん検診受診率を示した。受診率は、大阪府で男性 9.2%、女性 6.5%、全国で男性 12.7%、女性 10.1%である。また、男女ともに、大阪府は全国と比べて、全ての年齢階級において受診率が低い。



年齢階級別の子宮がん検診受診率を示した。受診率は、大阪府で 16.5%、全国で 18.2%である。また、大阪府は全国と比べて、全ての年齢階級において受診率が低い。

## 2. 有効ながん検診

死亡減少効果が期待できる検診は、**胃**（胃 X 線検査）、**大腸**（便潜血検査）、**肝**（肝炎ウィルスキャリア検査）、**乳**（視触診+マンモグラフィ）、**子宮頸部**（頸部擦過細胞診）がん検診である。<sup>\*1</sup>

その後、検診によるがんの死亡率減少効果の観点から、乳がん検診と子宮頸部がん検診について、「がん検診に関する検討会中間報告」<sup>\*2</sup>で次のような提言がなされ、それを踏まえ、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」の一部改正（2004年、厚生労働省）が行われた。

### 乳がん検診

検診方法はマンモグラフィによる検診を原則とする。

検診対象年齢は40歳以上とする。

受診間隔は2年に1度とする。

子宮頸部がん検診は、

検診対象年齢は20歳以上とする。

受診間隔は2年に1度とする。

\*1: 「新たながん検診手法の有効性の評価」報告書. 2001.

「がん検診の適切な方法とその評価法の確立に関する研究」報告書. 2005.

\*2: 「老人保健事業に基づく乳がん検診及び子宮がん検診の見直しについて」がん検診に関する検討会中間報告. 2004.

### がん検診の「評価判定」のまとめ

部位	検査法	検診による死亡率減少効果		
		十分に効果あり <sup>*1</sup>	相応に効果あり <sup>*2</sup>	相応に効果なし <sup>*3</sup>
胃	胃 X 線検査		○	
	ヘリコバクタ・ピロリ抗体測定			×
大腸	便潜血検査	◎		
肝臓	肝炎ウィルスキャリア検査		○	
肺	胸部 X 線 + 喀痰細胞診（日本）		○	
	胸部 X 線 + 喀痰細胞診（欧米）			×
乳房	視触診単独			×
	視触診 + マンモグラフィ（50歳以上）	◎		
	視触診 + マンモグラフィ（40歳代）		○	
子宮頸部	頸部擦過細胞診	◎		
前立腺	直腸診			×

\*1: 検診による死亡率減少効果があるとする、十分な根拠がある \*2: 検診による死亡率減少効果があるとする、相応の根拠がある \*3: 検診による死亡率減少効果がないとする、相応の根拠がある

資料: 「新たながん検診手法の有効性の評価」報告書. 2001.

「がん検診の適切な方法とその評価法の確立に関する研究」報告書. 2005.

## 第4章 効果的ながん対策を目指して

## 1. 効果的ながん対策が求められる大阪府

今、大阪府では、**がんの死亡率減少効果が期待できる効果的ながん対策**が求められている！！  
なぜなら、

全がんの年齢調整死亡率は近年減少傾向にあるが、これは胃がんと肝がん罹患率の自然減少に起因している

肺がんおよび肝がんの死亡率、罹患率が、全国で最も高いレベルにある

大腸がんおよび乳がんの死亡率は、罹患率とともに増加、あるいは、近年になっても未だ減少していない

大阪府におけるがんの現状を示した。

大阪府と米国のがんの死亡率と罹患率の動向をみると、大阪府は米国に比べて増加傾向にあるがんが多く、大阪府で死亡率と罹患率がともに増加または近年横ばいのがんは、大腸、肺、乳がんである。特に肺と乳がんは今後も増加が予測されるため、死亡率減少効果のある効果的ながん対策がより一層求められる。

### 大阪府におけるがんの現状

部位	死亡率		罹患率		米国（参考）			
					死亡率		罹患率	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
全部位	近年 減少	減少	近年 減少	横ばい	近年 減少	近年 減少	近年 減少	近年 減少
全部位 (胃・肝臓除く)	近年 横ばい	横ばい	近年 横ばい	近年 横ばい	-	-	-	-
胃	減少	減少	減少	減少	減少	減少	減少	減少
大腸	増加	増加	近年 横ばい	近年 横ばい	減少	減少	近年 再び減少	近年 再び減少
肝臓	近年 減少	増加	近年 減少	近年 減少	増加	増加	近年 横ばい	近年 横ばい
肺	近年 横ばい	近年 横ばい	近年 横ばい	増加	近年 減少	増加	減少	近年 減少
乳房	-	増加	-	増加	-	減少	-	近年 減少
子宮	-	減少	-	減少	-	減少	-	減少

## 2. 死亡率減少効果が期待できる大阪府がん対策とは

大阪府において、**死亡率減少効果が期待できる効果的ながん対策は**、  
 がんのリスクおよび予防要因として明らかである生活習慣に対する、生活習慣改善  
 対策  
 有効な検診の実施および受診率の向上  
 質の高い医療の提供と連携  
 が必要不可欠である。

部位別がんに関する生活習慣・検診・生存率較差を下記に示した。

大阪府では、今後、死亡率減少効果が期待できる効果的ながん対策の一環として、

喫煙、多量飲酒、食生活（塩分摂りすぎ、野菜・果物）に対する生活習慣改善対策  
 有効な検診（胃X線検査、便潜血検査、肝炎ウィルスキャリア検査、視触診+マンモグ  
 ラフィ、頸部擦過細胞診）の実施

検診の精度管理と受診率向上（系統的な未受診者の把握と受診勧奨など）

大阪府地域がん診療拠点病院を中心とした質の高い医療の提供と連携

を強化していくべきである。

### がんとリスク要因・検診・生存率

部位	リスク要因	検診	大阪府全体 <sup>*2</sup> とがん拠点病院 <sup>*3</sup> の生存率(%) <sup>*4</sup> 較差
胃	塩分摂りすぎ、喫煙 ヘリコバクタ・ピロリ	有効 (胃X線検査)	「領域」において、生存率 較差が10%弱存在する。
大腸	運動不足、喫煙、多量飲酒、 塩分摂りすぎ、油脂肉類多食	有効 (便潜血検査)	「領域」において、生存率 較差が10%以上である。
肝臓	肝炎ウイルス、喫煙、多量飲酒	有効 (肝炎ウィルスキャリア検査)	-
肺	喫煙	条件付有効 (胸部X線+喀痰細胞診) <sup>*1</sup>	-
乳房	早い初潮年齢、遅い閉経年齢、出産 歴なし、高年初産、家族歴、肥満	有効 (視触診+マンモグラフィ)	-
子宮頸部	ヒトパピローマウイルス、喫煙	有効 (頸部擦過細胞診)	-

\*1：わが国では、精度管理を適切に行えば、肺がん検診は死亡率減少に寄与する可能性が高く、条件付有効とされた。一方、米国（U.S. Preventive Services Task Force）では、1996年に「検診は無効」と勧告されたが、2004年には「検診の有効性を判定する根拠が不十分」と変更された。

\*2：治療医療機関に関らず大阪府全体の成績 \*3：大阪府地域がん診療拠点病院（11医療機関）の成績

\*4：1993 - 1997年新発届出患者の5年相対生存率

### 3. まずは「効果的なたばこ対策」からはじめましょう！

#### (1) 喫煙は予防しうる単一で最大のがんの原因

喫煙は単独で、がんの原因の約 30% を占めており、喫煙により胃がん、肝臓がん、肺がん、子宮頸がんなど、全身の多くのがんにかかる危険性が高まる。また、先進国における 35 - 69 歳の働き盛りの年代では、全死亡におけるたばこの寄与割合（たばこが原因とされる死亡数の全死亡に占める割合）は大きく、男性では約 3 分の 1、女性では 1 割以上と報告されている（<http://www.health-net.or.jp/tobacco/front.html>）。

一方、英米や北欧諸国では、日本に比べてかなり早い時期から、たばこ対策を積極的に展開して国民のたばこ離れをすすめてきた。その結果、米国では、肺がんをはじめとしたがんの死亡と罹患の減少または近年減少傾向が見られている。日本では、たばこ関連疾患の死亡数は 2000 年には 114,200 人（男性 90,000 人、女性 24,200 人）に推計されており、20 年で約 2 倍に増加した。たばこ関連疾患の多くは、喫煙を開始してから 20 - 30 年かかって発症し死に至るため、現在の死亡状況は過去の喫煙の状況とたばこ対策の取り組みの遅れを反映していることになる。

これらのことから、たばこは回避すべき最大の問題であり、喫煙は予防しうる単一で最大のがんの原因である。

#### (2) 効果的なたばこ対策の実現に向けて

一般的に効果があると考えられているたばこ対策は、**たばこへの需要を減少させることを目指す対策**である（<http://www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/main.html>）。さらにこの需要を減少させる対策は、価格対策（たばこ価格の上昇を目的とする）と価格操作以外による対策に分類され、行政、医療機関、事業所が一体となつての取り組みが求められている。

行政、医療機関、事業所においてたばこへの需要を減少させることを目指す対策の実現がなされ、その結果として、国民のたばこ離れがすすみ、国民における喫煙率の低下、そして 20 - 30 年後に肺がんを始めとしたたばこ関連疾患の死亡と罹患が減少することを期待する。

#### 効果的なたばこ対策（たばこへの需要を減少させることを目指す対策）

対策	主体	具体的内容
価格対策	国	<ul style="list-style-type: none"> <li>たばこおよびたばこ製品の価格の上昇</li> </ul>
	国	<ul style="list-style-type: none"> <li>たばこ製品の広告と販売促進活動の包括的禁止法の制定</li> <li>たばこ会社に対して、たばこの箱における目に付きやすく、健康への強い警告表示の義務付け</li> </ul>
価格操作以外による対策	大阪府、市町村	<ul style="list-style-type: none"> <li>たばこ自動販売機の撤廃等の販売促進活動の禁止条例の制定</li> </ul>
	大阪府、市町村	<ul style="list-style-type: none"> <li>府庁や市町村役場、学校、医療機関、公共の場所や職場における全館禁煙または敷地内禁煙の実施</li> </ul>
	医療機関、事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>たばこに関する正しい情報と啓発キャンペーン</li> <li>禁煙希望者に対して、禁煙治療プログラムの提供</li> </ul>

## 資 料

表 1 大阪府の死亡率と罹患率，1966 - 2001 年

表 2 米国の死亡率と罹患率，1975 - 2002 年

表 3 市区町村別の標準化死亡比，1998 - 2002 年（全国を基準とする）

表 4 市区町村別の標準化罹患比，1995 - 1999 年（大阪府を基準とする）

表 5 市区町村別の死亡率と罹患率，1995 - 1999 年

表 6 医療圏別 5 年相対生存率 - 胃

表 7 医療圏別 5 年相対生存率 - 大腸

表 8 医療圏別 5 年相対生存率 - 肝臓

表 9 医療圏別 5 年相対生存率 - 肺

表 10 医療圏別 5 年相対生存率 - 乳房

表 11 医療圏別 5 年相対生存率 - 子宮

表1 大阪府の死亡率と罹患率，1966-2001年

男

	全部位		全部位(胃・肝を除く)		胃		大腸		肝臓		肺	
	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡
1966-1968	288.1	225.9	127.9	96.1	137.5	109.9	15.4	11.2	22.7	19.9	28.5	24.0
1969-1971	281.0	219.0	132.7	99.1	126.6	99.8	17.7	13.5	21.7	20.1	32.2	26.6
1972-1974	284.8	222.2	141.7	106.8	118.4	93.4	19.6	14.0	24.7	22.0	37.3	31.3
1975-1977	300.8	228.2	159.4	117.3	112.1	84.6	24.7	16.8	29.3	26.3	45.9	38.3
1978-1980	330.5	235.0	182.1	126.0	111.1	77.5	29.5	18.0	37.3	31.5	51.0	42.1
1981-1983	357.5	245.3	200.4	133.1	108.0	72.1	34.3	20.0	49.1	40.1	55.4	45.5
1984-1986	383.0	255.5	219.1	145.5	106.0	65.0	38.6	22.1	57.9	45.0	62.5	51.3
1987-1989	385.2	259.6	227.0	150.2	96.7	59.9	43.1	22.4	61.5	49.5	63.5	53.5
1990-1992	376.9	259.4	228.7	155.2	86.5	53.4	47.9	24.2	61.7	50.8	64.4	56.0
1993-1995	387.0	256.5	240.7	155.4	85.6	49.3	53.0	24.9	60.7	51.8	65.0	55.2
1996-1998	383.8	263.9	246.3	164.5	80.0	48.1	54.1	25.7	57.5	51.3	66.9	57.6
1999-2001	364.4	248.1	241.6	160.4	74.0	43.5	52.7	25.9	48.8	44.2	65.1	54.9

女

	全部位		全部位(胃・肝を除く)		胃		大腸		肝臓		肺		乳房		子宮		
	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患 <sup>1)</sup>	死亡	罹患 <sup>2)</sup>	死亡	
1966-1968	202.7	140.7	124.7	76.1	67.7	55.2	12.1	8.6	10.3	9.4	8.5	7.0	15.3	6.1	43.7	43.4	22.2
1969-1971	193.1	136.3	121.0	76.8	62.3	50.8	12.8	9.6	9.8	8.7	9.5	8.1	16.1	6.2	39.2	37.7	19.0
1972-1974	194.3	136.7	126.0	79.8	58.6	47.9	13.8	10.1	9.7	9.0	11.6	9.8	18.5	7.5	38.2	35.0	17.1
1975-1977	194.2	129.6	130.9	79.8	54.4	41.4	15.9	11.0	8.9	8.4	12.6	10.3	20.8	7.7	37.9	33.1	15.4
1978-1980	206.1	128.4	143.0	81.6	53.2	37.8	18.8	11.8	9.9	9.0	14.5	11.9	24.0	7.5	35.9	30.6	13.4
1981-1983	211.7	126.4	151.4	84.0	48.0	32.2	21.6	13.3	12.3	10.2	15.5	12.9	27.6	8.6	32.5	27.6	11.2
1984-1986	217.9	128.3	156.9	86.1	47.1	30.7	23.4	13.2	13.9	11.5	17.4	14.2	28.6	8.9	28.5	23.8	8.9
1987-1989	214.0	125.6	157.5	87.5	41.5	26.1	25.2	14.0	15.0	12.0	18.1	15.5	30.8	8.9	23.8	19.1	7.7
1990-1992	210.6	122.8	159.1	86.8	35.6	23.1	27.7	14.7	15.9	12.9	18.0	15.7	30.4	9.3	22.0	16.7	6.9
1993-1995	212.3	120.2	162.1	86.6	33.7	20.4	30.4	14.7	16.5	13.2	19.5	16.0	35.2	10.2	19.0	15.1	6.0
1996-1998	213.2	120.9	165.0	88.2	31.1	18.6	30.3	15.1	17.1	14.1	19.2	16.2	40.4	11.2	18.6	14.8	6.1
1999-2001	207.7	117.2	163.5	86.7	28.2	16.6	30.4	15.0	15.9	13.9	19.9	15.7	42.5	11.2	16.0	13.0	5.6

\*1 頸部上皮内がんを含む

\*2 頸部上皮内がんを除く

表2 米国の死亡率と罹患率，1975-2002年

	全部位				胃				大腸				肝臓				肺				乳房				子宮				子宮頸部							
	男		女		男		女		男		女		男		女		男		女		男		女		男		女		男		女		男		女	
	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡				
1975	466.5	258.4	365.7	160.0	17.1	12.3	7.8	5.9	68.3	32.8	53.6	25.0	3.9	3.8	1.6	2.0	89.5	76.4	24.5	17.6	105.0	31.4	35.5	5.3	14.8	5.6										
1976	481.0	262.2	367.2	162.7	17.5	12.0	8.3	5.7	71.7	33.3	54.1	25.4	3.8	3.8	1.8	2.0	93.8	78.5	27.3	19.0	101.9	31.8	34.4	5.3	14.2	5.4										
1977	486.3	264.2	363.5	162.9	16.6	11.5	7.9	5.4	73.5	33.2	54.9	24.9	4.2	3.8	1.5	2.0	95.5	80.4	28.3	20.0	100.8	32.5	31.6	5.2	13.0	5.0										
1978	488.3	267.1	362.0	163.8	16.5	11.0	7.9	5.5	72.3	33.7	55.2	25.1	4.2	3.9	1.6	1.9	96.7	82.1	29.7	21.4	100.5	31.7	30.1	5.1	12.5	4.8										
1979	496.3	268.7	365.3	163.1	17.4	11.0	8.2	5.2	74.1	33.6	54.5	24.6	4.1	3.9	1.7	2.0	95.8	82.9	31.5	22.3	102.1	31.2	27.9	5.0	12.7	4.6										
1980	505.5	271.1	367.6	165.8	17.1	10.6	7.1	5.1	74.5	33.7	56.5	24.4	3.9	3.9	1.7	2.0	100.0	84.7	32.2	24.1	102.1	31.7	27.3	5.1	12.2	4.5										
1981	510.6	269.8	376.8	165.9	16.6	10.6	7.4	5.0	75.8	33.0	56.4	24.0	4.6	4.1	1.7	2.0	99.4	85.2	35.1	24.9	106.3	31.9	27.3	4.9	10.8	4.3										
1982	510.8	272.9	376.0	167.4	16.3	10.3	7.1	4.9	75.2	33.0	54.5	23.6	4.4	4.2	1.9	2.1	100.7	86.8	36.7	26.5	106.4	32.2	26.8	4.9	10.6	4.1										
1983	519.7	274.1	380.5	168.3	15.8	9.9	7.4	4.8	75.6	33.1	55.6	23.2	4.7	4.2	1.6	2.0	99.5	87.0	37.8	28.1	111.1	32.1	26.5	4.8	10.5	4.0										
1984	525.0	275.1	392.1	170.5	15.3	9.9	7.3	4.7	77.6	33.0	56.0	23.6	4.3	4.3	1.9	2.1	102.0	88.2	39.5	28.9	115.8	32.9	25.7	4.7	11.0	3.9										
1985	530.6	275.7	402.8	171.0	15.1	9.5	6.9	4.4	79.0	32.7	57.4	23.1	5.1	4.4	1.7	2.2	98.6	88.5	40.2	30.4	124.1	33.0	25.2	4.6	10.2	3.8										
1986	537.9	276.0	401.9	171.6	15.0	9.4	6.8	4.2	77.8	32.1	54.7	22.3	4.8	4.5	2.0	2.2	99.1	89.0	42.3	31.4	126.7	32.9	24.4	4.4	10.8	3.8										
1987	563.0	276.3	413.1	171.5	15.0	9.1	6.8	4.2	77.5	31.9	52.6	22.0	4.8	4.6	2.2	2.2	101.6	90.0	44.2	32.7	134.4	32.7	24.7	4.4	10.0	3.6										
1988	558.0	276.9	409.0	172.5	15.5	8.8	6.5	4.2	75.2	31.1	51.8	21.5	5.4	4.8	1.8	2.2	98.7	89.9	46.3	34.1	131.3	33.2	23.6	4.3	10.6	3.6										
1989	566.7	278.5	408.0	174.3	15.2	9.2	6.3	4.2	74.9	30.8	52.5	21.2	5.6	5.0	2.2	2.3	97.9	89.8	46.1	35.8	127.1	33.2	24.4	4.3	10.7	3.6										
1990	592.3	279.8	414.8	174.7	13.7	8.9	6.2	4.2	74.3	30.8	51.2	20.6	6.0	5.3	2.3	2.4	97.0	90.6	47.8	36.8	131.6	33.1	25.1	4.3	10.7	3.7										
1991	636.8	279.1	418.1	175.3	14.2	8.9	6.6	4.0	72.8	29.6	50.0	20.3	6.7	5.3	2.6	2.5	97.3	89.9	49.6	37.6	133.6	32.7	24.6	4.2	10.0	3.5										
1992	657.3	276.5	414.5	174.4	13.4	8.1	6.1	3.9	70.4	29.3	49.2	19.9	6.1	5.7	2.4	2.6	97.2	88.0	49.9	38.7	131.9	31.6	24.8	4.2	9.9	3.5										
1993	621.4	275.9	408.0	174.6	13.6	8.2	5.8	3.8	68.4	28.6	48.3	19.8	7.1	5.8	2.5	2.7	93.9	87.6	49.2	39.3	129.1	31.4	24.3	4.2	9.7	3.4										
1994	588.8	272.1	412.8	174.1	13.6	7.9	5.7	3.7	66.3	28.3	47.7	19.3	7.0	6.0	2.5	2.7	91.0	85.7	50.6	39.6	130.7	30.9	25.1	4.2	9.4	3.4										
1995	569.9	268.5	413.8	173.4	12.6	7.7	5.2	3.7	63.7	27.7	46.9	19.1	6.8	6.3	2.8	2.9	89.8	84.4	50.4	40.3	132.3	30.6	25.3	4.1	8.8	3.2										
1996	569.8	263.7	416.8	171.2	12.6	7.4	5.5	3.5	65.4	26.7	46.6	18.5	8.3	6.5	3.2	2.9	87.9	82.8	51.2	40.4	133.4	29.5	24.9	4.1	9.6	3.2										
1997	572.9	258.1	426.6	169.0	12.7	7.2	5.6	3.4	68.0	26.2	47.9	18.1	8.0	6.5	3.2	3.0	86.3	81.3	52.5	40.8	137.4	28.2	25.8	4.0	9.2	3.1										
1998	569.3	253.6	431.5	166.9	12.2	6.8	5.9	3.4	66.8	25.6	49.2	18.0	8.3	6.7	3.1	2.9	87.9	79.9	52.8	41.0	140.8	27.5	25.7	4.1	9.1	3.0										
1999	575.5	252.8	427.5	167.2	12.1	6.6	6.0	3.3	65.4	25.5	47.8	17.8	8.8	6.5	3.3	2.9	84.4	77.0	52.3	40.1	140.4	26.6	25.3	4.1	8.2	2.8										
2000	571.7	248.1	417.5	166.6	11.6	6.4	5.4	3.2	63.2	25.0	46.4	17.5	8.4	6.8	3.2	2.9	81.4	76.4	51.0	41.1	135.3	26.6	24.7	4.1	7.6	2.8										
2001	566.3	243.8	418.4	164.2	11.1	6.1	5.0	3.1	61.9	24.2	45.5	17.0	8.2	6.9	3.0	3.0	79.5	75.1	50.4	41.0	136.6	26.0	25.1	4.2	7.9	2.7										
2002	553.2	239.9	415.1	162.7	11.1	5.9	5.3	3.0	59.9	23.8	45.6	16.5	8.4	7.2	3.1	3.0	77.8	73.5	50.8	41.5	132.9	25.5	24.5	4.2	7.2	2.5										

\*1 頸部上皮内がんを除く

表3 市区町村別の標準化死亡率, 1998-2002年 (全国を基準とする)

	全部位		胃		大腸		肝臓		肺	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
北区	131.0	119.3	131.9	105.9	124.8	106.8	182.8	182.6	121.0	173.7
都島区	111.5	116.6	99.5	109.4	100.9	104.4	150.5	202.3	122.4	103.0
東淀川区	133.5	124.9	133.3	130.0	120.1	130.6	213.7	174.9	128.5	172.2
旭区	119.4	103.1	117.3	82.3	99.3	123.8	141.2	105.2	121.5	131.8
淀川区	116.1	120.8	99.6	98.4	90.5	128.3	159.5	148.1	131.5	155.9
福島区	125.1	106.1	113.5	87.7	98.7	106.1	187.7	193.1	109.6	100.0
此花区	127.5	107.6	130.0	81.4	105.0	101.0	194.9	137.0	130.0	147.5
西区	125.6	113.2	97.4	78.7	100.6	77.7	202.0	194.4	147.9	137.9
港区	144.4	126.2	140.3	108.5	96.9	105.8	242.2	206.8	139.8	161.6
大正区	124.7	120.3	120.4	117.2	88.9	123.1	188.6	163.0	141.3	157.3
西淀川区	128.0	123.0	130.1	129.1	136.9	118.5	181.6	198.2	131.1	147.2
天王寺区	107.5	124.9	111.5	114.5	98.4	98.7	127.4	196.4	106.7	130.2
浪速区	130.4	136.1	110.3	99.1	114.7	141.5	232.3	264.4	131.0	156.6
東成区	118.5	130.8	106.5	130.0	114.8	135.7	197.1	197.8	114.9	127.8
生野区	116.9	109.9	122.9	98.1	97.7	97.6	174.3	173.5	119.9	143.7
城東区	118.8	118.0	100.8	103.8	100.8	110.0	166.3	148.9	131.0	138.3
鶴見区	113.4	106.4	104.2	103.4	86.0	84.6	174.3	110.4	111.9	179.0
中央区	111.2	121.7	111.7	109.2	114.3	108.7	161.3	186.8	86.9	125.4
阿倍野区	113.4	122.0	103.6	114.4	128.3	96.5	150.7	184.3	110.9	131.4
住吉区	129.2	118.9	132.9	116.5	123.4	117.4	171.5	174.7	128.0	127.9
東住吉区	123.8	121.4	114.7	113.2	107.2	126.1	188.5	186.8	122.6	134.6
西成区	136.1	135.6	127.3	126.6	122.3	136.5	212.4	220.1	129.2	179.2
住之江区	128.0	127.3	125.0	108.8	112.4	90.3	185.0	197.5	129.3	138.3
平野区	132.8	129.1	124.0	129.2	124.4	119.9	192.6	184.9	141.8	168.1
池田市	99.4	110.3	88.8	118.1	106.8	86.1	121.5	163.4	106.2	123.1
箕面市	103.4	99.5	96.0	77.1	107.2	92.0	123.8	106.0	96.4	96.8
豊能町	89.4	88.7	85.9	56.2	90.8	96.1	77.9	111.8	79.1	100.2
能勢町	93.5	107.8	91.4	54.9	83.9	60.1	58.3	93.3	137.3	121.0
豊中市	110.2	107.8	104.0	110.9	103.9	97.3	123.2	152.5	112.6	113.4
吹田市	115.7	109.7	114.8	101.4	106.9	88.1	135.4	131.8	113.0	132.5
摂津市	110.5	117.9	104.3	141.7	107.8	142.4	121.9	106.7	128.7	114.3
茨木市	103.5	109.0	102.1	101.5	105.7	106.0	132.3	156.0	100.3	106.0
高槻市	101.3	106.0	89.9	108.4	95.1	98.9	128.9	127.2	100.4	100.1
島本町	106.8	97.6	103.3	100.1	117.0	97.1	117.2	61.9	105.7	130.6
枚方市	99.7	104.5	91.6	100.1	96.9	113.3	109.6	125.1	102.0	109.9
寝屋川市	112.1	111.7	118.3	110.1	84.1	103.2	146.1	146.6	116.3	134.1
守口市	116.8	124.1	122.2	125.6	102.1	112.4	137.7	134.8	121.2	151.2
門真市	120.2	110.5	105.6	107.5	104.1	99.7	148.0	147.6	133.2	112.2
大東市	111.0	113.2	121.8	88.0	90.8	97.9	154.2	129.3	122.9	151.8
四條畷市	110.0	112.0	107.4	84.7	111.2	124.8	123.8	123.2	117.4	113.0
交野市	98.6	106.1	90.3	90.7	118.8	88.7	106.4	118.1	94.8	130.4
東大阪市	119.1	114.8	122.1	106.2	117.6	104.9	162.7	159.4	122.1	138.9
八尾市	113.4	107.6	101.3	103.9	96.9	100.9	167.3	148.6	127.4	124.3
柏原市	118.9	124.7	123.7	125.2	127.0	125.1	136.8	164.9	133.9	134.4
羽曳野市	111.6	107.0	123.7	107.4	91.9	93.0	133.3	126.9	116.8	110.2
松原市	118.8	110.9	111.9	108.5	94.9	120.8	153.3	144.9	121.5	104.6
藤井寺市	114.8	115.1	102.6	115.9	82.6	134.1	152.1	133.0	123.9	129.3
美原町	114.9	86.8	126.0	93.2	78.8	53.2	163.4	100.4	128.3	109.2
大阪狭山市	100.9	92.8	85.4	99.4	101.1	81.6	137.2	151.6	99.2	99.1
富田林市	108.2	106.8	98.7	96.8	87.4	115.2	149.2	121.6	125.8	145.7
河内長野市	103.7	109.9	108.9	105.7	81.1	110.2	117.6	152.0	93.3	113.9
太子町	89.5	90.4	75.7	133.5	92.6	40.0	155.0	85.9	100.9	89.5
河南町	102.8	103.2	95.6	177.5	89.5	92.3	137.7	29.1	99.0	102.6
千早赤阪村	114.2	99.0	56.0	186.9	76.6	111.3	197.1	59.3	116.4	61.7
堺市	111.8	110.2	110.1	109.3	110.5	106.1	143.6	129.4	107.7	127.4
和泉市	119.9	105.1	119.9	96.8	99.0	94.8	194.7	176.2	121.3	107.5
泉大津市	128.8	123.3	127.2	99.3	123.0	108.7	170.8	230.0	143.7	87.3
高石市	111.1	108.4	136.4	101.9	121.3	105.8	150.3	157.3	85.5	90.6
忠岡町	122.5	111.4	123.3	121.5	104.2	151.0	122.4	131.3	162.2	84.0
岸和田市	111.1	108.6	113.6	102.3	96.1	101.6	134.1	133.9	106.6	140.3
貝塚市	107.2	108.9	121.1	117.0	93.1	90.5	142.2	128.8	114.1	126.8
泉佐野市	122.5	110.7	121.9	126.2	111.3	107.6	181.3	137.2	123.6	147.0
熊取町	94.4	105.4	112.4	81.0	107.4	126.6	143.2	121.5	82.6	110.7
田尻町	120.7	90.6	135.4	119.6	73.8	86.6	166.0	99.1	168.5	143.4
泉南市	108.6	96.7	112.9	89.8	113.5	81.8	95.2	74.4	124.1	128.4
岬町	132.6	120.1	127.9	102.0	119.0	80.1	291.7	309.3	106.0	123.2
阪南市	106.0	111.3	111.9	103.7	111.2	94.8	138.1	209.3	98.7	131.3

表4 市区町村別の標準化罹患比, 1995-99年 (大阪府を基準とする)

	全部位		胃		大腸		肝臓		肺		乳房	子宮 <sup>*1</sup>
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女
北区	1.10	1.02	1.08	1.04	1.05	0.94	1.15	1.34	1.16	1.23	1.08	0.98
都島区	0.95	0.99	0.94	0.95	0.76	0.87	0.97	1.34	1.18	1.04	0.91	0.99
東淀川区	1.19	1.16	1.25	1.20	1.18	1.14	1.37	1.31	1.21	1.06	1.22	1.22
旭区	0.93	0.90	0.86	0.89	0.92	0.96	0.86	0.60	1.00	1.10	0.96	0.89
淀川区	1.07	1.14	1.04	1.24	1.07	1.20	1.09	1.13	1.14	1.12	1.24	0.92
福島区	1.16	1.09	1.14	0.81	1.19	1.11	1.01	1.21	1.07	0.87	1.37	1.00
此花区	1.08	1.04	1.15	0.95	0.89	1.05	1.01	1.15	1.21	1.39	0.73	1.20
西区	1.16	1.25	1.15	0.97	1.30	1.26	1.11	1.54	1.26	1.13	1.40	1.66
港区	1.13	1.00	1.01	1.02	0.86	0.91	1.46	1.19	1.30	1.24	0.72	1.13
大正区	1.19	1.08	1.21	1.08	1.26	0.99	1.10	1.20	1.16	1.32	0.90	1.23
西淀川区	1.11	1.07	1.10	1.15	1.19	1.22	1.14	1.14	1.10	1.03	1.07	0.50
天王寺区	1.00	1.10	0.87	1.16	0.90	1.09	1.04	0.94	0.84	1.14	1.21	1.01
浪速区	1.12	1.24	0.99	1.33	0.93	1.10	1.56	1.75	1.21	1.25	1.05	1.30
東成区	1.10	1.14	0.98	1.04	1.17	1.29	1.54	1.39	0.97	1.13	1.10	1.20
生野区	1.15	1.11	1.19	1.16	1.15	1.06	1.33	1.40	1.05	1.31	0.97	1.03
城東区	0.96	1.03	0.88	0.98	0.91	1.07	1.05	1.18	1.07	1.12	1.01	1.09
鶴見区	0.89	0.98	0.92	0.82	0.84	0.79	1.10	0.92	0.92	1.42	0.95	1.17
中央区	1.09	1.16	1.15	0.97	1.33	1.23	0.96	1.32	0.88	1.09	1.45	1.32
阿倍野区	0.98	1.08	0.93	1.06	1.11	1.03	0.95	1.36	0.88	0.93	1.18	0.95
住吉区	1.06	1.10	1.01	1.01	1.15	1.10	1.12	1.03	1.02	0.90	1.19	1.14
東住吉区	1.05	1.09	1.04	1.02	0.97	1.06	1.09	1.04	1.05	1.11	1.16	1.36
西成区	1.07	1.16	0.94	1.06	0.91	1.15	1.41	1.45	1.07	1.29	1.12	0.92
住之江区	1.04	1.08	0.92	0.95	0.98	0.94	1.17	1.29	1.12	1.18	1.16	1.07
平野区	1.09	1.09	1.09	1.16	0.98	1.00	1.22	1.16	1.14	1.24	0.99	1.18
池田市	0.79	0.84	0.75	0.90	0.86	0.68	0.86	1.15	0.71	0.89	0.61	0.73
箕面市	1.05	0.99	1.02	0.91	1.24	1.12	0.84	0.75	0.92	0.94	1.04	1.00
豊能町	0.89	0.74	0.83	0.54	0.97	0.73	0.60	0.68	0.68	0.84	0.87	0.73
能勢町	0.83	0.75	1.08	0.69	0.61	0.64	0.75	0.46	1.03	0.85	0.46	0.84
豊中市	1.01	1.05	1.02	1.06	1.16	1.20	0.83	0.91	0.88	0.83	1.17	1.17
吹田市	1.00	0.99	1.06	1.00	1.15	1.03	0.79	0.78	0.87	0.93	1.07	0.97
摂津市	0.87	0.91	0.79	0.96	0.79	0.80	0.81	0.89	1.02	0.81	0.84	1.12
茨木市	0.92	0.94	0.91	0.98	1.00	0.92	0.82	1.03	0.90	0.88	0.81	1.09
高槻市	0.93	0.97	0.99	1.00	0.89	0.89	0.80	0.79	0.87	0.85	0.91	1.24
島本町	0.96	0.87	1.19	0.98	1.10	0.64	0.57	0.62	0.80	0.68	0.80	1.28
枚方市	0.88	0.87	0.93	0.90	0.94	0.99	0.73	0.85	0.89	0.90	0.80	0.76
寝屋川市	0.98	0.96	1.06	1.06	1.07	1.16	0.91	0.96	0.94	1.00	0.90	0.73
守口市	0.99	1.03	1.03	1.07	0.93	0.95	1.05	1.02	1.03	1.11	1.01	0.90
門真市	1.03	0.97	0.98	1.12	0.96	1.15	1.08	1.04	1.10	0.78	0.95	0.79
大東市	0.93	0.97	1.08	1.19	0.82	0.91	0.97	0.82	0.90	0.86	1.00	0.95
四條畷市	1.01	1.04	1.02	1.04	1.06	1.10	1.06	0.89	0.89	1.00	1.17	0.76
交野市	1.06	1.00	1.16	1.13	1.25	1.10	0.79	0.62	1.08	0.99	1.01	0.84
東大阪市	1.00	0.96	1.00	0.99	0.99	0.97	1.10	0.93	1.02	0.99	0.93	0.95
八尾市	0.98	1.00	1.02	1.02	0.96	1.06	1.13	1.16	0.99	0.98	0.97	0.92
柏原市	0.96	1.01	0.96	0.99	0.94	0.95	0.94	0.93	1.05	1.20	1.08	0.68
羽曳野市	0.97	0.93	1.02	0.94	0.80	0.77	0.87	0.70	1.06	0.74	0.97	1.22
松原市	1.02	1.02	1.06	1.13	1.02	1.21	0.96	0.89	1.06	0.86	1.12	0.82
藤井寺市	1.01	1.09	0.94	1.02	1.15	1.19	0.80	0.69	0.96	0.95	1.51	0.98
美原町	1.02	1.05	1.10	0.89	1.31	0.94	0.80	0.93	1.16	1.18	1.20	0.90
大阪狭山市	1.05	1.02	0.97	0.92	1.03	0.96	0.81	0.75	0.95	0.91	1.59	0.79
富田林市	0.94	0.88	0.79	0.76	0.84	0.79	0.86	0.73	1.07	0.95	0.89	1.04
河内長野市	0.89	0.97	0.98	0.93	0.70	0.80	0.70	0.87	0.89	0.72	0.94	1.25
太子町	0.91	0.70	0.73	0.58	0.76	0.36	0.62	0.52	1.11	0.87	0.60	0.51
河南町	0.98	0.99	1.05	1.32	1.08	1.08	0.72	0.35	1.19	1.16	1.08	1.38
千早赤阪村	0.97	0.72	0.65	0.99	0.58	0.60	0.92	0.70	0.96	0.15	0.50	0.76
堺市	1.00	0.98	0.97	0.97	1.07	1.03	0.97	0.84	1.00	0.98	1.08	0.92
和泉市	0.98	0.91	0.98	0.93	0.83	0.74	1.10	1.03	1.12	0.80	0.96	0.88
泉大津市	1.02	0.95	0.87	0.96	0.83	0.79	1.32	1.20	1.07	0.94	0.77	0.92
高石市	1.01	0.93	1.03	0.87	0.98	0.84	0.96	0.89	0.96	0.82	1.04	0.64
忠岡町	0.86	0.83	0.87	0.49	0.59	0.98	0.68	0.86	1.09	1.12	0.42	1.07
岸和田市	1.06	1.06	1.11	0.97	1.10	0.95	0.96	0.91	1.00	1.12	1.02	1.34
貝塚市	0.90	0.91	1.12	0.97	0.88	0.73	0.75	0.87	0.85	0.87	0.80	0.84
泉佐野市	0.90	0.75	0.92	0.71	0.75	0.63	1.05	0.93	1.02	0.99	0.50	0.85
熊取町	0.73	0.86	0.78	0.84	0.76	1.00	0.81	0.88	0.63	0.69	0.66	0.89
田尻町	0.94	0.86	0.84	1.17	0.69	0.58	1.05	1.00	1.01	1.22	0.72	0.89
泉南市	0.79	0.76	0.80	0.79	0.70	0.64	0.71	0.77	0.88	0.89	0.58	0.76
岬町	0.90	0.89	0.69	0.75	0.95	1.07	1.74	2.08	0.70	0.76	0.57	0.60
阪南市	0.90	0.79	0.94	0.75	0.89	0.89	0.87	0.77	1.08	1.08	0.68	0.62

\*1 頸部上皮内がんを除く

表5 市区町村別の死亡率と罹患率, 1995-99年

	胃				大腸				肝臓				肺				乳房		子宮	
	男		女		男		女		男		女		男		女		罹患 <sup>1)</sup>	死亡	罹患 <sup>1)</sup>	死亡
	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患 <sup>1)</sup>	死亡	罹患 <sup>1)</sup>	死亡
北区	86.0	56.7	31.8	18.8	58.0	33.1	31.0	16.1	65.1	62.9	22.6	22.6	75.2	59.1	23.7	15.3	42.2	10.9	18.5	5.5
都島区	74.5	45.9	29.1	18.8	41.8	21.0	27.1	12.7	57.1	48.1	23.1	19.3	77.9	62.6	20.7	15.5	35.7	9.0	15.6	8.6
東淀川区	100.1	55.1	37.3	21.9	64.6	28.9	35.1	17.4	77.9	67.3	22.3	17.7	79.7	65.2	20.3	17.3	48.5	12.9	23.1	9.1
旭区	67.8	42.2	27.8	15.8	50.6	27.6	30.3	13.9	48.3	40.3	10.2	7.8	65.3	55.4	20.9	15.7	39.2	11.1	18.1	6.9
淀川区	82.4	44.8	38.6	19.3	58.1	25.8	37.7	17.5	61.7	54.5	19.3	15.6	75.9	63.3	22.4	20.7	50.3	12.9	20.5	6.8
福島区	90.8	45.5	26.5	15.5	65.1	25.3	34.3	15.3	58.4	48.3	20.6	15.2	71.4	55.9	16.1	13.5	53.9	14.4	21.3	3.4
此花区	90.2	53.5	28.6	16.6	48.0	24.7	31.8	16.9	56.2	56.8	19.2	16.9	79.1	65.2	27.1	22.2	28.7	10.8	22.1	7.3
西区	91.4	43.6	30.7	12.6	71.1	24.6	40.8	14.3	64.8	68.8	27.4	16.7	82.1	61.8	22.5	16.9	56.3	12.5	29.2	11.1
港区	81.6	63.3	30.0	21.1	48.8	29.2	27.5	18.6	82.1	73.0	20.3	19.4	85.8	70.2	24.2	21.7	29.7	10.0	19.4	6.6
大正区	96.9	54.2	33.5	16.7	67.6	24.4	31.7	13.3	63.9	50.2	20.9	14.4	74.0	68.0	25.0	20.0	37.3	15.7	25.0	8.0
西淀川区	87.5	45.2	34.6	18.8	65.0	32.8	37.3	16.2	63.6	60.0	19.6	14.5	73.3	58.5	19.5	15.7	42.5	10.3	13.2	5.7
天王寺区	69.5	42.3	36.4	18.2	49.5	20.5	34.8	11.4	59.7	49.1	16.4	13.2	54.7	45.5	22.4	14.4	47.7	14.7	19.2	6.2
浪速区	80.5	54.4	44.4	21.1	49.4	31.1	33.7	19.6	89.2	77.8	30.1	27.7	80.1	68.8	25.1	21.9	41.8	12.5	26.6	7.3
東成区	78.1	49.2	31.3	18.4	62.1	34.9	38.4	20.1	86.9	71.8	23.0	19.5	62.6	58.2	22.0	15.0	44.8	14.7	20.2	5.4
生野区	94.3	51.7	37.5	22.7	63.5	26.9	34.7	13.7	77.6	72.9	23.6	20.0	68.9	58.1	24.1	18.2	38.3	9.4	20.2	5.9
城東区	70.0	46.0	31.2	18.0	49.8	27.1	32.1	17.3	59.4	49.6	19.9	16.1	70.5	59.3	22.5	17.3	40.4	10.8	19.9	5.2
鶴見区	72.7	42.2	24.4	17.1	47.4	29.5	24.8	15.5	62.4	53.3	15.3	12.9	61.5	57.7	27.1	22.3	36.9	11.3	25.3	4.7
中央区	91.0	43.6	28.5	15.7	73.1	28.6	37.5	17.8	54.0	48.0	22.3	17.7	58.0	43.3	20.6	16.0	54.7	14.5	25.3	6.1
阿倍野区	73.5	52.1	33.8	17.8	61.1	28.5	31.4	17.5	53.8	50.6	23.8	17.5	58.4	53.8	18.1	16.6	48.9	15.8	17.1	7.0
住吉区	80.3	49.0	30.6	18.3	62.8	27.6	33.9	17.4	64.8	60.5	17.3	15.1	66.8	56.1	17.3	15.7	47.2	14.6	19.8	8.0
東住吉区	83.1	55.3	31.8	15.7	52.9	24.9	30.6	17.1	62.1	56.5	17.4	14.0	68.7	61.2	22.2	18.7	46.7	10.0	23.4	8.9
西成区	75.1	51.6	32.6	19.5	50.3	29.7	36.9	19.0	82.5	73.9	24.7	22.4	69.2	62.6	24.9	20.0	42.4	12.8	15.9	8.4
住之江区	72.7	42.3	29.4	19.0	53.6	27.1	28.8	16.3	66.3	61.9	21.8	18.3	73.0	61.1	22.7	17.5	46.4	12.2	18.5	4.6
平野区	85.9	52.9	36.2	23.1	53.8	28.2	30.7	15.9	69.4	60.5	20.3	17.5	73.4	63.8	24.6	21.9	38.8	11.8	20.0	6.3
池田市	60.4	44.6	26.4	17.3	48.0	26.8	20.1	15.7	49.0	39.1	18.8	15.9	44.9	43.1	18.1	13.5	24.0	11.0	12.0	5.9
箕面市	80.5	39.7	28.8	16.8	67.0	24.0	35.1	17.1	48.4	42.0	13.0	9.7	59.9	47.4	17.7	13.0	42.4	8.1	16.3	6.6
豊能町	63.4	43.8	17.0	8.0	55.1	27.6	20.1	6.7	34.9	21.4	13.2	11.0	45.6	45.5	17.9	18.2	33.0	7.8	14.9	2.3
能勢町	85.8	41.6	21.8	9.4	33.0	13.5	18.5	11.1	42.5	33.8	7.3	8.9	68.2	55.3	13.3	8.9	18.1	6.5	20.6	4.7
豊中市	82.3	41.6	33.1	19.1	63.2	25.3	37.6	15.5	47.3	41.0	15.2	12.5	57.6	53.4	16.2	14.0	46.4	11.6	22.1	7.5
吹田市	85.6	51.0	31.0	18.4	63.0	21.2	32.1	12.9	45.2	40.8	13.4	10.8	58.4	52.9	18.3	16.0	42.7	12.6	16.8	6.4
摂津市	61.6	33.3	28.8	18.6	43.0	24.1	24.6	12.5	46.7	42.7	14.9	12.3	65.5	52.4	15.4	13.7	32.7	9.8	18.6	7.9
茨木市	74.6	46.0	31.0	17.0	55.6	28.1	28.7	14.8	47.6	41.1	18.3	13.9	58.7	49.6	17.5	12.4	32.6	10.8	19.9	4.1
高槻市	79.9	43.1	31.1	17.7	48.5	22.2	27.5	14.6	46.1	42.4	13.0	11.5	59.2	48.3	16.5	14.4	36.2	11.1	22.7	4.6
島本町	94.3	52.6	29.9	17.1	61.7	28.3	18.9	12.0	33.1	29.7	11.5	8.0	54.2	45.0	13.3	11.2	31.7	10.0	21.0	4.3
枚方市	74.6	40.5	27.7	16.6	52.2	25.4	30.7	16.4	42.6	37.1	14.7	12.0	58.2	45.6	17.4	13.8	31.0	10.0	13.5	5.2
寝屋川市	83.2	48.9	32.7	18.5	57.8	27.0	37.3	18.0	53.0	44.4	16.1	12.4	61.2	55.8	19.4	16.0	35.9	11.2	12.7	5.6
守口市	81.0	47.0	34.0	20.5	50.1	24.5	29.2	17.2	59.4	45.0	17.5	12.7	69.0	62.0	21.5	19.3	40.0	11.9	15.2	7.7
門真市	77.4	49.6	34.6	19.9	54.3	27.1	34.9	17.5	61.3	46.5	17.9	13.4	74.1	63.4	15.8	14.2	36.2	13.5	15.5	5.7
大東市	85.8	53.3	37.7	20.4	44.8	17.7	29.4	12.9	56.0	45.7	14.2	11.8	59.0	52.2	16.9	13.6	39.8	12.6	19.9	6.6
四条畷市	83.4	48.1	31.8	16.7	59.8	22.0	32.7	15.3	59.6	54.5	15.2	12.0	59.0	51.0	18.6	13.3	46.8	16.6	11.9	7.3
交野市	92.4	43.3	35.0	17.8	68.4	24.5	35.9	12.8	44.1	34.0	9.8	11.3	70.3	61.0	19.2	18.0	41.3	10.0	14.2	5.2
東大阪市	80.0	45.6	30.6	19.1	54.8	25.8	29.7	15.4	62.9	53.3	16.0	13.7	66.4	57.2	19.7	16.8	37.2	11.1	17.3	4.4
八尾市	81.4	47.3	32.9	17.1	52.3	21.8	32.2	14.7	64.2	53.5	19.0	14.5	65.1	57.5	19.2	17.2	39.7	9.7	17.2	6.0
柏原市	78.8	44.1	31.9	21.1	51.8	27.3	30.0	15.5	52.9	45.0	15.4	13.1	69.2	55.7	22.3	17.6	44.4	11.5	11.0	3.0
羽曳野市	82.7	50.8	29.4	18.7	42.9	21.4	23.8	13.7	49.7	42.9	12.0	11.8	70.4	60.6	14.1	13.4	38.1	11.4	25.3	6.9
松原市	84.6	46.6	34.5	21.1	53.7	21.5	38.2	15.9	54.8	55.7	14.9	14.1	68.9	60.5	17.2	15.1	44.1	14.3	15.9	6.5
藤井寺市	74.3	39.9	31.8	16.5	64.3	31.4	36.7	17.6	46.1	43.4	11.6	11.9	63.8	54.2	19.2	14.2	58.9	15.6	18.0	9.1
美原町	86.7	52.2	29.1	16.3	71.8	25.0	28.6	12.2	46.4	41.6	14.9	11.3	76.8	60.3	24.2	19.9	49.1	9.3	18.7	4.2
大阪狭山市	77.3	40.4	29.2	17.7	55.8	18.7	31.0	11.2	46.0	51.8	13.2	12.2	65.4	42.8	18.5	15.3	65.0	15.6	19.4	2.6
富田林市	62.9	38.5	24.0	15.3	45.9	23.8	25.0	12.4	48.6	40.4	12.5	11.4	70.0	56.5	19.0	16.7	35.0	10.6	19.4	4.9
河内長野市	79.7	50.0	29.9	20.2	39.0	16.9	25.0	13.8	40.9	39.4	14.6	11.4	58.1	50.4	14.1	9.9	37.9	10.3	23.2	4.9
太子町	60.2	13.2	17.8	9.9	39.6	29.3	12.0	3.5	34.6	27.2	9.1	6.5	72.0	48.7	18.5	11.1	23.5	6.5	16.0	4.2
河南町	81.4	37.4	41.0	31.1	61.5	30.1	31.6	11.7	40.8	44.1	6.6	4.3	76.8	60.2	22.2	15.9	47.2	8.8	40.9	2.8
千早赤阪村	51.5	19.5	34.1	17.9	31.6	16.3	17.1	6.5	51.5	50.3	13.3	0.0	60.0	32.9	3.1	11.1	19.8	12.6	36.0	0.0
堺市	78.0	44.0	30.3	19.9	58.5	26.4	32.0	15.5	54.7	47.9	14.3	11.9	65.0	53.5	19.5	15.5	43.1	11.1	17.6	5.8
和泉市	79.0	51.1	28.5	20.9	45.1	22.7	22.8	12.5	62.4	58.0	18.0	14.3	73.1	68.0	15.9	13.8	38.4	11.0	17.3	4.8
泉大津市	69.9	51.6	29.5	24.5	45.6	31.9	24.0	16.3	75.6	67.4	19.9	20.6	72.2	63.4	19.3	14.6	29.0	7.3	14.3	7.7
高石市	82.6	50.1	24.9	17.6	55.6	34.8	24.4	13.7	52.9	45.5	14.7	11.8	64.4	46.8	17.0	12.5	43.3	12.8	10.5	5.4
忠岡町	69.1	35.8	13.4	13.0	32.4	20.6	31.1	22.4	41.9	52.6	15.2	9.0	68.5	61.9	20.8	17.4	14.4	8.3	23.3	5.8
岸和田市	88.2	49.3	30.7	15.8	59.2	20.6	29.6	13.5	54.7	44.2	16.0	13.1	66.0	48.4	22.0	14.9	41.5	8.3	27.0	5.8
貝塚市	88.7	45.9	31.1	18.5	49.0	23.5	22.9	12.9	42.1	43.7	14.4	11.9	55.5	52.0	16.7	17.4	30.9	8.8	13.5	8.0
泉佐野市	72.7	56.9	22.4	18.1	42.2	26.5	20.5	10.9	60.1	55.2	15.8	15.4	68.0	63.3	19.7	16.5	19.2	6.7	14.9	7.2
熊取町	61.9	40.1	26.3	20.7	42.7															

表6 医療圏別5年相対生存率 - 胃

<男女計>

	進行度												全体 <sup>1)</sup>		
	限局			領域			遠隔			観察数	生存率	標準誤差			
	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差						
大阪府	8,898 (41.4)	88.6	0.5	6,624 (30.8)	30.3	0.6	3,814 (17.7)	1.3	0.2	21,507 (100.0)	49.8	0.4			
大阪市	2,817 (39.7)	85.1	0.9	2,231 (31.4)	29.0	1.1	1,347 (19.0)	1.9	0.4	7,104 (100.0)	46.4	0.7			
市北部	659 (41.6)	87.3	1.9	486 (30.7)	29.5	2.3	284 (17.9)	2.0	0.9	1,585 (100.0)	49.0	1.4			
市西部	517 (41.1)	85.8	2.1	372 (29.5)	31.4	2.7	242 (19.2)	1.4	0.8	1,259 (100.0)	48.8	1.6			
市東部	734 (42.1)	84.8	1.9	530 (30.4)	29.5	2.2	300 (17.2)	1.9	0.8	1,744 (100.0)	48.4	1.4			
市南部	907 (36.0)	83.3	1.7	843 (33.5)	27.4	1.7	521 (20.7)	2.0	0.7	2,516 (100.0)	42.2	1.1			
北部	1,827 (44.0)	90.2	1.1	1,116 (26.9)	32.2	1.5	687 (16.5)	1.0	0.4	4,152 (100.0)	53.9	0.9			
豊能	1,116 (43.9)	88.3	1.4	740 (29.1)	34.3	1.9	442 (17.4)	0.8	0.5	2,541 (100.0)	53.4	1.1			
三島	711 (44.1)	93.2	1.6	376 (23.3)	28.0	2.5	245 (15.2)	1.3	0.8	1,611 (100.0)	54.6	1.5			
東部	1,966 (41.8)	90.0	1.0	1,389 (29.6)	31.6	1.4	794 (16.9)	1.1	0.4	4,700 (100.0)	51.7	0.8			
北河内	1,038 (40.9)	90.9	1.3	733 (28.9)	34.1	1.9	381 (15.0)	1.2	0.6	2,536 (100.0)	53.4	1.1			
中河内	928 (42.9)	89.0	1.5	656 (30.3)	28.8	1.9	413 (19.1)	1.1	0.6	2,164 (100.0)	49.7	1.2			
南部	2,288 (41.2)	90.6	0.9	1,888 (34.0)	29.6	1.1	986 (17.8)	0.8	0.3	5,551 (100.0)	49.4	0.8			
南河内	705 (43.2)	92.0	1.6	544 (33.4)	29.3	2.1	265 (16.2)	0.9	0.6	1,631 (100.0)	51.7	1.4			
堺市	708 (38.1)	89.1	1.7	672 (36.1)	30.6	1.9	336 (18.1)	1.3	0.7	1,860 (100.0)	47.3	1.3			
泉州	875 (42.5)	90.6	1.5	672 (32.6)	28.9	1.9	385 (18.7)	0.3	0.3	2,060 (100.0)	49.6	1.2			

注)大阪府がん登録資料に基づいて、診断年が1993-97年の新発生届出患者の5年相対生存率を算出した。  
 治療について複数の医療機関から届出のあった場合は、主治療を担当した医療機関で集計した。主治療は、手術>放射線治療>TAE>エタノール注入>レーザー治療>化学療法>ホルモン療法>免疫療法、の順番で判定。  
 上皮内がん、大腸粘膜がん、重複がんの第2がん以降、診断時年齢が100歳以上の各例は、生存率集計対象から除いた。  
 進行度は、診断時のがんの拡がりにより、「限局(原発臓器に限局)」、「領域(所属リンパ節または隣接臓器・組織に浸潤)」、「遠隔(遠隔臓器・組織に転移)」の3つに分類。  
 \*1 進行度不明例を含む。

<男>

	進行度												全体 <sup>1)</sup>		
	限局			領域			遠隔			観察数	生存率	標準誤差			
	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差						
大阪府	6,117 (42.4)	88.3	0.6	4,405 (30.5)	30.1	0.8	2,523 (17.5)	1.2	0.2	14,432 (100.0)	50.5	0.5			
大阪市	1,886 (40.1)	83.9	1.2	1,477 (31.4)	27.1	1.3	901 (19.2)	1.7	0.5	4,704 (100.0)	45.6	0.8			
市北部	437 (42.7)	86.0	2.4	307 (30.0)	28.6	2.9	188 (18.4)	2.5	1.2	1,023 (100.0)	49.1	1.8			
市西部	353 (41.5)	85.1	2.7	253 (29.7)	30.0	3.2	158 (18.6)	1.4	1.0	851 (100.0)	49.3	2.0			
市東部	487 (43.1)	82.3	2.5	339 (30.0)	28.9	2.7	191 (16.9)	0.6	0.6	1,130 (100.0)	47.5	1.7			
市南部	609 (35.8)	83.1	2.1	578 (34.0)	24.1	2.0	364 (21.4)	1.9	0.8	1,700 (100.0)	40.5	1.4			
北部	1,266 (44.5)	90.4	1.3	761 (26.8)	32.6	1.9	465 (16.4)	1.3	0.6	2,843 (100.0)	54.9	1.1			
豊能	800 (45.3)	87.6	1.7	506 (28.7)	35.3	2.4	300 (17.0)	0.8	0.6	1,765 (100.0)	54.5	1.4			
三島	466 (43.2)	95.2	2.0	255 (23.7)	27.3	3.0	165 (15.3)	2.0	1.2	1,078 (100.0)	55.7	1.8			
東部	1,369 (43.3)	90.2	1.2	922 (29.2)	32.5	1.7	516 (16.3)	0.7	0.4	3,162 (100.0)	53.2	1.0			
北河内	730 (42.2)	92.1	1.6	492 (28.5)	33.0	2.3	254 (14.7)	0.9	0.6	1,729 (100.0)	54.5	1.4			
中河内	639 (44.6)	88.1	1.9	430 (30.0)	31.9	2.5	262 (18.3)	0.5	0.5	1,433 (100.0)	51.7	1.5			
南部	1,596 (42.9)	90.0	1.1	1,245 (33.4)	30.1	1.4	641 (17.2)	0.9	0.4	3,723 (100.0)	50.9	0.9			
南河内	489 (44.2)	91.9	2.0	371 (33.5)	29.4	2.6	172 (15.5)	1.4	1.0	1,107 (100.0)	52.9	1.7			
堺市	497 (40.3)	88.2	2.1	436 (35.4)	31.2	2.4	213 (17.3)	1.1	0.7	1,232 (100.0)	49.2	1.6			
泉州	610 (44.1)	90.0	1.9	438 (31.6)	29.5	2.4	256 (18.5)	0.4	0.4	1,384 (100.0)	50.8	1.5			

表6 医療圏別の5年相対生存率 - 胃<男女計> の注釈を参照

<女>

	進行度												全体 <sup>1)</sup>		
	限局			領域			遠隔			観察数	生存率	標準誤差			
	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差						
大阪府	2,781 (39.3)	89.4	0.8	2,219 (31.4)	30.7	1.0	1,291 (18.2)	1.5	0.3	7,075 (100.0)	48.3	0.7			
大阪市	931 (38.8)	87.3	1.4	754 (31.4)	32.7	1.8	446 (18.6)	2.2	0.7	2,400 (100.0)	47.8	1.1			
市北部	222 (39.5)	89.6	2.7	179 (31.9)	31.0	3.8	96 (17.1)	1.1	1.1	562 (100.0)	48.8	2.3			
市西部	164 (40.2)	87.2	3.5	119 (29.2)	34.4	4.7	84 (20.6)	1.3	1.3	408 (100.0)	47.9	2.7			
市東部	247 (40.2)	89.5	2.8	191 (31.1)	30.5	3.6	109 (17.8)	4.0	2.0	614 (100.0)	50.0	2.3			
市南部	298 (36.5)	84.0	2.7	265 (32.5)	34.5	3.1	157 (19.2)	2.2	1.3	816 (100.0)	45.6	1.9			
北部	561 (42.9)	89.8	1.7	355 (27.1)	31.2	2.6	222 (17.0)	0.5	0.5	1,309 (100.0)	51.5	1.5			
豊能	316 (40.7)	90.1	2.3	234 (30.2)	32.1	3.3	142 (18.3)	0.8	0.8	776 (100.0)	50.9	2.0			
三島	245 (46.0)	89.4	2.7	121 (22.7)	29.6	4.4	80 (15.0)	0.0	1.3	533 (100.0)	52.5	2.4			
東部	597 (38.8)	89.6	1.7	467 (30.4)	30.0	2.2	278 (18.1)	1.9	0.9	1,538 (100.0)	48.5	1.4			
北河内	308 (38.2)	88.3	2.4	241 (29.9)	36.3	3.3	127 (15.7)	1.7	1.2	807 (100.0)	51.0	2.0			
中河内	289 (39.5)	90.9	2.3	226 (30.9)	23.0	3.0	151 (20.7)	2.1	1.2	731 (100.0)	45.9	2.0			
南部	692 (37.9)	91.8	1.5	643 (35.2)	28.8	1.9	345 (18.9)	0.6	0.5	1,828 (100.0)	46.5	1.3			
南河内	216 (41.2)	92.2	2.6	173 (33.0)	29.0	3.7	93 (17.7)	0.0	1.1	524 (100.0)	49.0	2.4			
堺市	211 (33.6)	91.1	2.7	236 (37.6)	29.6	3.1	123 (19.6)	1.8	1.2	628 (100.0)	43.6	2.1			
泉州	265 (39.2)	91.9	2.4	234 (34.6)	27.7	3.2	129 (19.1)	0.0	0.0	676 (100.0)	47.2	2.1			

表6 医療圏別の5年相対生存率 - 胃<男女計> の注釈を参照

表7 医療圏別5年相対生存率 - 大腸

<男女計>

	進行度												全体 <sup>1)</sup>		
	限局			領域			遠隔								
	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差			
大阪府	6,152 (41.2)	89.7	0.6	4,667 (31.3)	51.0	0.8	2,654 (17.8)	5.4	0.5	14,915 (100.0)	58.4	0.5			
大阪市	2,028 (39.6)	88.4	1.1	1,674 (32.7)	48.4	1.4	917 (17.9)	5.5	0.8	5,119 (100.0)	56.0	0.8			
市北部	453 (39.3)	89.7	2.3	372 (32.3)	45.7	2.9	228 (19.8)	4.5	1.5	1,153 (100.0)	54.9	1.7			
市西部	359 (41.5)	91.4	2.5	292 (33.8)	50.8	3.3	141 (16.3)	10.0	2.8	865 (100.0)	59.7	2.0			
市東部	531 (39.7)	89.3	2.2	427 (32.0)	50.2	2.8	197 (14.7)	5.7	1.8	1,336 (100.0)	58.9	1.7			
市南部	685 (38.8)	85.2	1.9	583 (33.0)	47.7	2.3	351 (19.9)	4.3	1.2	1,765 (100.0)	52.7	1.4			
北部	1,243 (42.9)	91.9	1.3	786 (27.2)	54.2	2.0	496 (17.1)	6.1	1.1	2,895 (100.0)	62.4	1.1			
豊能	806 (43.7)	93.3	1.5	559 (30.3)	55.0	2.4	315 (17.1)	5.0	1.3	1,845 (100.0)	63.3	1.3			
三島	437 (41.6)	89.4	2.2	227 (21.6)	52.1	3.8	181 (17.2)	8.0	2.1	1,050 (100.0)	60.8	1.8			
東部	1,233 (39.0)	89.9	1.3	969 (30.7)	50.6	1.8	588 (18.6)	5.2	1.0	3,159 (100.0)	57.1	1.0			
北河内	632 (37.2)	90.0	1.8	511 (30.1)	52.2	2.5	310 (18.2)	4.8	1.3	1,699 (100.0)	58.3	1.4			
中河内	601 (41.2)	89.9	1.8	458 (31.4)	48.8	2.6	278 (19.0)	5.6	1.5	1,460 (100.0)	55.8	1.5			
南部	1,648 (44.0)	89.3	1.1	1,238 (33.1)	52.9	1.6	653 (17.5)	4.8	0.9	3,742 (100.0)	59.6	0.9			
南河内	513 (47.9)	89.5	2.0	343 (32.0)	51.1	3.0	155 (14.5)	5.8	2.0	1,071 (100.0)	62.6	1.7			
堺市	549 (39.7)	90.3	2.0	491 (35.5)	55.8	2.5	268 (19.4)	5.8	1.5	1,382 (100.0)	58.6	1.5			
泉州	586 (45.5)	88.1	1.9	404 (31.3)	50.9	2.8	230 (17.8)	2.9	1.2	1,289 (100.0)	58.0	1.6			

表6 医療圏別の5年相対生存率 - 胃<男女計> の注釈を参照

<男>

	進行度												全体 <sup>1)</sup>		
	限局			領域			遠隔								
	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差			
大阪府	3,700 (43.0)	90.8	0.8	2,574 (29.9)	51.3	1.1	1,516 (17.6)	6.5	0.7	8,605 (100.0)	60.2	0.6			
大阪市	1,167 (40.1)	89.0	1.5	933 (32.0)	50.3	1.9	530 (18.2)	6.8	1.2	2,913 (100.0)	57.4	1.1			
市北部	256 (39.3)	90.5	3.2	211 (32.4)	45.0	3.9	130 (19.9)	4.4	1.9	652 (100.0)	55.2	2.3			
市西部	219 (42.8)	93.9	3.3	170 (33.2)	47.9	4.4	77 (15.0)	15.0	4.4	512 (100.0)	61.4	2.6			
市東部	311 (40.3)	89.3	3.0	221 (28.7)	48.3	4.0	133 (17.3)	6.8	2.3	771 (100.0)	58.2	2.2			
市南部	381 (39.0)	84.9	2.7	331 (33.8)	56.0	3.2	190 (19.4)	5.1	1.7	978 (100.0)	56.1	1.9			
北部	792 (45.7)	93.8	1.6	446 (25.7)	54.3	2.8	287 (16.6)	7.9	1.7	1,733 (100.0)	65.1	1.4			
豊能	495 (45.5)	95.8	2.0	314 (28.9)	54.6	3.3	188 (17.3)	6.8	2.0	1,088 (100.0)	65.2	1.8			
三島	297 (46.0)	90.5	2.7	132 (20.5)	53.5	5.0	99 (15.3)	10.1	3.2	645 (100.0)	64.8	2.3			
東部	743 (41.3)	89.9	1.7	522 (29.0)	50.7	2.5	316 (17.6)	5.2	1.3	1,798 (100.0)	58.9	1.4			
北河内	395 (39.6)	90.3	2.3	283 (28.4)	53.1	3.4	170 (17.1)	4.1	1.7	997 (100.0)	60.9	1.9			
中河内	348 (43.4)	89.4	2.6	239 (29.8)	47.9	3.6	146 (18.2)	6.3	2.2	801 (100.0)	56.6	2.0			
南部	998 (46.2)	91.2	1.5	673 (31.1)	51.3	2.2	383 (17.7)	6.2	1.3	2,161 (100.0)	61.1	1.2			
南河内	315 (51.1)	90.4	2.6	180 (29.2)	49.7	4.3	90 (14.6)	6.4	2.8	617 (100.0)	64.3	2.3			
堺市	335 (42.2)	93.6	2.5	267 (33.6)	54.2	3.4	154 (19.4)	8.7	2.4	794 (100.0)	61.0	2.0			
泉州	348 (46.4)	89.5	2.5	226 (30.1)	49.1	3.7	139 (18.5)	3.3	1.6	750 (100.0)	58.5	2.1			

表6 医療圏別の5年相対生存率 - 胃<男女計> の注釈を参照

<女>

	進行度												全体 <sup>1)</sup>		
	限局			領域			遠隔								
	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差			
大阪府	2,452 (38.9)	88.0	0.9	2,093 (33.2)	50.6	1.2	1,138 (18.0)	3.9	0.6	6,310 (100.0)	56.0	0.7			
大阪市	861 (39.0)	87.6	1.6	741 (33.6)	46.1	2.0	387 (17.5)	3.8	1.0	2,206 (100.0)	54.2	1.2			
市北部	197 (39.3)	88.7	3.3	161 (32.1)	46.5	4.3	98 (19.6)	4.7	2.3	501 (100.0)	54.6	2.5			
市西部	140 (39.7)	87.7	4.0	122 (34.6)	54.8	5.1	64 (18.1)	4.0	2.8	353 (100.0)	57.4	3.0			
市東部	220 (38.9)	89.3	3.2	206 (36.5)	52.0	3.9	64 (11.3)	3.4	2.4	565 (100.0)	59.9	2.5			
市南部	304 (38.6)	85.6	2.7	252 (32.0)	37.0	3.3	161 (20.5)	3.4	1.5	787 (100.0)	48.7	2.0			
北部	451 (38.8)	88.8	2.0	340 (29.3)	54.0	3.1	209 (18.0)	3.7	1.4	1,162 (100.0)	58.5	1.7			
豊能	311 (41.1)	89.6	2.3	245 (32.4)	55.6	3.6	127 (16.8)	2.5	1.4	757 (100.0)	60.7	2.0			
三島	140 (34.6)	87.1	3.9	95 (23.5)	50.1	5.7	82 (20.2)	5.5	2.7	405 (100.0)	54.3	2.9			
東部	490 (36.0)	90.0	1.8	447 (32.8)	50.4	2.6	272 (20.0)	5.2	1.4	1,361 (100.0)	54.9	1.5			
北河内	237 (33.8)	89.5	2.7	228 (32.5)	51.0	3.6	140 (19.9)	5.5	2.0	702 (100.0)	54.9	2.1			
中河内	253 (38.4)	90.5	2.5	219 (33.2)	49.8	3.7	132 (20.0)	4.8	1.9	659 (100.0)	54.8	2.1			
南部	650 (41.1)	86.5	1.7	565 (35.7)	54.7	2.3	270 (17.1)	2.8	1.0	1,581 (100.0)	57.5	1.4			
南河内	198 (43.6)	88.2	3.0	163 (35.9)	52.5	4.3	65 (14.3)	5.1	2.9	454 (100.0)	60.4	2.6			
堺市	214 (36.4)	85.5	3.1	224 (38.1)	57.6	3.7	114 (19.4)	1.9	1.4	588 (100.0)	55.4	2.3			
泉州	238 (44.2)	86.1	2.9	178 (33.0)	53.1	4.1	91 (16.9)	2.3	1.6	539 (100.0)	57.3	2.4			

表6 医療圏別の5年相対生存率 - 胃<男女計> の注釈を参照

表8 医療圏別5年相対生存率 - 肝臓

<男女計>

	進行度									全体 <sup>1)</sup>		
	限局			領域			遠隔			観察数	生存率	標準誤差
	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差			
大阪府	5,800 (48.8)	26.3	0.6	1,534 (12.9)	7.0	0.7	1,439 (12.1)	3.0	0.5	11,889 (100.0)	16.2	0.4
大阪市	2,099 (44.8)	24.6	1.0	664 (14.2)	5.5	0.9	616 (13.1)	2.2	0.6	4,685 (100.0)	14.4	0.6
市北部	458 (49.9)	26.5	2.2	135 (14.7)	4.9	2.0	112 (12.2)	5.0	2.2	918 (100.0)	15.4	1.3
市西部	383 (45.1)	26.9	2.4	110 (12.9)	3.2	1.8	97 (11.4)	2.3	1.6	850 (100.0)	16.7	1.4
市東部	554 (49.0)	23.1	2.0	151 (13.4)	6.1	2.1	153 (13.5)	0.8	0.8	1,131 (100.0)	13.9	1.1
市南部	704 (39.4)	23.3	1.7	268 (15.0)	6.3	1.6	254 (14.2)	1.7	0.9	1,786 (100.0)	12.9	0.9
北部	931 (48.9)	26.9	1.6	200 (10.5)	7.8	2.0	216 (11.4)	3.6	1.4	1,903 (100.0)	17.5	0.9
豊能	548 (47.4)	26.7	2.0	119 (10.3)	8.2	2.6	131 (11.3)	3.4	1.7	1,155 (100.0)	17.3	1.2
三島	383 (51.2)	27.1	2.5	81 (10.8)	7.0	3.0	85 (11.4)	3.9	2.2	748 (100.0)	17.8	1.5
東部	1,319 (52.9)	27.1	1.3	357 (14.3)	10.0	1.7	313 (12.6)	2.8	1.0	2,492 (100.0)	17.6	0.8
北河内	686 (54.8)	29.5	1.9	183 (14.6)	9.2	2.3	170 (13.6)	2.6	1.3	1,252 (100.0)	19.2	1.2
中河内	633 (51.0)	24.6	1.8	174 (14.0)	10.9	2.5	143 (11.5)	3.1	1.5	1,240 (100.0)	16.0	1.1
南部	1,451 (51.7)	27.6	1.3	313 (11.1)	6.2	1.5	294 (10.5)	4.2	1.3	2,809 (100.0)	17.2	0.8
南河内	466 (57.7)	29.3	2.3	90 (11.1)	11.8	3.7	93 (11.5)	4.9	2.4	808 (100.0)	20.2	1.5
堺市	472 (47.1)	29.0	2.2	98 (9.8)	3.4	1.9	105 (10.5)	4.4	2.1	1,003 (100.0)	16.8	1.3
泉州	513 (51.4)	24.8	2.0	125 (12.5)	4.5	2.0	96 (9.6)	3.4	1.9	998 (100.0)	15.1	1.2

表6 医療圏別の5年相対生存率 - 胃<男女計> の注釈を参照

<男>

	進行度									全体 <sup>1)</sup>		
	限局			領域			遠隔			観察数	生存率	標準誤差
	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差			
大阪府	4,311 (48.8)	26.9	0.7	1,131 (12.8)	7.3	0.8	1,087 (12.3)	3.5	0.6	8,826 (100.0)	16.5	0.4
大阪市	1,510 (44.3)	24.1	1.2	501 (14.7)	5.9	1.1	461 (13.5)	2.9	0.8	3,407 (100.0)	14.0	0.6
市北部	323 (49.4)	26.4	2.6	97 (14.8)	4.6	2.2	89 (13.6)	6.2	2.7	654 (100.0)	15.2	1.5
市西部	266 (44.3)	26.1	2.9	84 (14.0)	4.2	2.4	71 (11.8)	3.2	2.2	600 (100.0)	16.2	1.6
市東部	406 (49.2)	23.1	2.3	107 (13.0)	7.6	2.8	115 (13.9)	1.0	1.0	826 (100.0)	14.0	1.3
市南部	515 (38.8)	22.5	2.0	213 (16.1)	6.4	1.8	186 (14.0)	2.4	1.2	1,327 (100.0)	12.6	1.0
北部	665 (47.7)	28.4	1.9	139 (10.0)	5.7	2.1	165 (11.8)	4.8	1.8	1,394 (100.0)	17.9	1.1
豊能	400 (46.6)	27.4	2.4	82 (9.6)	6.7	2.9	100 (11.7)	4.6	2.2	858 (100.0)	17.5	1.4
三島	265 (49.4)	29.9	3.1	57 (10.6)	4.2	2.9	65 (12.1)	5.2	2.9	536 (100.0)	18.4	1.8
東部	997 (53.5)	27.8	1.5	263 (14.1)	11.7	2.1	234 (12.6)	2.9	1.2	1,863 (100.0)	18.2	1.0
北河内	515 (56.3)	28.6	2.1	129 (14.1)	10.7	2.9	118 (12.9)	3.8	1.9	914 (100.0)	19.2	1.4
中河内	482 (50.8)	26.8	2.2	134 (14.1)	12.6	3.1	116 (12.2)	1.9	1.4	949 (100.0)	17.1	1.3
南部	1,139 (52.7)	28.8	1.4	228 (10.5)	6.1	1.7	227 (10.5)	4.5	1.5	2,162 (100.0)	18.0	0.9
南河内	365 (58.9)	30.3	2.6	63 (10.2)	11.4	4.4	78 (12.6)	5.8	2.8	620 (100.0)	21.1	1.8
堺市	383 (48.2)	30.2	2.5	74 (9.3)	3.0	2.1	74 (9.3)	3.2	2.2	794 (100.0)	17.6	1.5
泉州	391 (52.3)	26.1	2.4	91 (12.2)	5.0	2.5	75 (10.0)	4.4	2.5	748 (100.0)	16.0	1.4

表6 医療圏別の5年相対生存率 - 胃<男女計> の注釈を参照

<女>

	進行度									全体 <sup>1)</sup>		
	限局			領域			遠隔			観察数	生存率	標準誤差
	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差			
大阪府	1,489 (48.6)	24.7	1.2	403 (13.2)	6.2	1.3	352 (11.5)	1.2	0.6	3,063 (100.0)	15.4	0.7
大阪市	589 (46.1)	25.8	1.9	163 (12.8)	4.1	1.7	155 (12.1)	0.0	1.0	1,278 (100.0)	15.2	1.1
市北部	135 (51.1)	26.7	4.0	38 (14.4)	5.9	4.0	23 (8.7)	0.0	0.0	264 (100.0)	15.9	2.4
市西部	117 (46.8)	28.7	4.4	26 (10.4)	0.0	0.0	26 (10.4)	0.0	0.0	250 (100.0)	17.9	2.6
市東部	148 (48.5)	23.0	3.7	44 (14.4)	2.6	2.5	38 (12.5)	0.0	2.9	305 (100.0)	13.9	2.1
市南部	189 (41.2)	25.6	3.4	55 (12.0)	6.1	3.4	68 (14.8)	0.0	1.6	459 (100.0)	14.0	1.7
北部	266 (52.3)	23.2	2.7	61 (12.0)	12.2	4.3	51 (10.0)	0.0	2.1	509 (100.0)	16.4	1.7
豊能	148 (49.8)	24.9	3.7	37 (12.5)	11.6	5.5	31 (10.4)	0.0	3.4	297 (100.0)	16.5	2.3
三島	118 (55.7)	21.2	4.0	24 (11.3)	13.1	7.1	20 (9.4)	0.0	5.2	212 (100.0)	16.3	2.7
東部	322 (51.2)	25.2	2.5	94 (14.9)	5.6	2.4	79 (12.6)	2.7	1.9	629 (100.0)	16.0	1.5
北河内	171 (50.6)	31.9	3.8	54 (16.0)	5.9	3.3	52 (15.4)	0.0	2.1	338 (100.0)	19.1	2.3
中河内	151 (51.9)	17.6	3.2	40 (13.7)	5.2	3.6	27 (9.3)	7.8	5.3	291 (100.0)	12.6	2.0
南部	312 (48.2)	23.3	2.5	85 (13.1)	6.6	2.8	67 (10.4)	3.3	2.3	647 (100.0)	14.2	1.5
南河内	101 (53.7)	25.9	4.6	27 (14.4)	12.6	6.8	15 (8.0)	0.0	7.4	188 (100.0)	17.2	2.9
堺市	89 (42.6)	23.5	4.8	24 (11.5)	4.6	4.5	31 (14.8)	6.9	4.7	209 (100.0)	13.6	2.5
泉州	122 (48.8)	21.1	3.9	34 (13.6)	3.2	3.1	21 (8.4)	0.0	5.0	250 (100.0)	12.6	2.2

表6 医療圏別の5年相対生存率 - 胃<男女計> の注釈を参照

表9 医療圏別5年相対生存率 - 肺

<男女計>

	進行度												全体 <sup>1)</sup>			
	限局			領域			遠隔									
	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差				
大阪府	2,252	(17.1)	53.7	1.2	4,887	(37.2)	11.4	0.5	4,712	(35.9)	1.8	0.2	13,135	(100.0)	14.6	0.3
大阪市	856	(17.5)	52.6	2.0	1,786	(36.4)	10.2	0.8	1,756	(35.8)	1.5	0.3	4,901	(100.0)	13.7	0.5
市北部	184	(16.8)	57.8	4.3	416	(38.0)	10.5	1.6	403	(36.8)	0.9	0.5	1,096	(100.0)	14.2	1.2
市西部	132	(15.2)	61.4	5.1	311	(35.7)	7.0	1.5	311	(35.7)	0.4	0.4	870	(100.0)	12.3	1.2
市東部	224	(18.6)	60.7	3.9	469	(38.9)	11.9	1.6	405	(33.6)	2.6	0.8	1,207	(100.0)	17.5	1.2
市南部	316	(18.3)	39.9	3.2	590	(34.1)	10.4	1.4	637	(36.9)	1.8	0.6	1,728	(100.0)	11.5	0.8
北部	347	(15.1)	54.5	3.1	907	(39.4)	12.3	1.2	843	(36.6)	2.5	0.6	2,303	(100.0)	14.9	0.8
豊能	205	(14.3)	59.9	4.0	608	(42.5)	12.7	1.4	505	(35.3)	2.7	0.8	1,431	(100.0)	15.8	1.0
三島	142	(16.3)	46.6	4.8	299	(34.3)	11.7	2.0	338	(38.8)	2.1	0.9	872	(100.0)	13.4	1.3
東部	392	(14.7)	52.6	2.9	1,062	(39.9)	12.8	1.1	927	(34.8)	1.2	0.4	2,664	(100.0)	13.7	0.7
北河内	209	(15.8)	52.0	3.9	515	(38.9)	12.0	1.5	465	(35.1)	0.7	0.4	1,325	(100.0)	13.7	1.0
中河内	183	(13.7)	53.4	4.3	547	(40.9)	13.6	1.6	462	(34.5)	1.7	0.7	1,339	(100.0)	13.7	1.0
南部	657	(20.1)	55.5	2.3	1,132	(34.6)	11.2	1.0	1,186	(36.3)	2.1	0.4	3,267	(100.0)	16.5	0.7
南河内	184	(18.5)	48.5	4.2	335	(33.7)	8.4	1.6	388	(39.1)	2.5	0.9	993	(100.0)	13.1	1.2
堺市	240	(19.4)	63.3	3.7	436	(35.3)	12.9	1.7	458	(37.1)	1.8	0.7	1,234	(100.0)	18.5	1.2
泉州	233	(22.4)	52.9	3.8	361	(34.7)	11.9	1.8	340	(32.7)	2.0	0.8	1,040	(100.0)	17.4	1.3

表6 医療圏別の5年相対生存率 - 胃<男女計> の注釈を参照

<男>

	進行度												全体 <sup>1)</sup>			
	限局			領域			遠隔									
	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差				
大阪府	1,569	(16.6)	50.2	1.5	3,617	(38.3)	11.6	0.6	3,385	(35.8)	1.7	0.2	9,444	(100.0)	13.9	0.4
大阪市	581	(16.9)	49.5	2.5	1,292	(37.6)	10.1	0.9	1,226	(35.6)	1.4	0.4	3,440	(100.0)	12.9	0.6
市北部	123	(15.4)	55.5	5.4	317	(39.7)	10.3	1.9	286	(35.8)	0.8	0.6	798	(100.0)	13.3	1.3
市西部	82	(13.7)	63.4	6.6	226	(37.9)	6.6	1.8	210	(35.2)	0.6	0.6	597	(100.0)	11.9	1.5
市東部	147	(18.4)	60.7	5.0	316	(39.5)	13.2	2.1	272	(34.0)	1.8	0.9	801	(100.0)	17.8	1.5
市南部	229	(18.4)	33.6	3.7	433	(34.8)	9.6	1.6	458	(36.8)	1.8	0.7	1,244	(100.0)	10.2	1.0
北部	238	(14.4)	48.7	3.8	671	(40.5)	11.6	1.3	609	(36.7)	3.1	0.8	1,658	(100.0)	13.6	0.9
豊能	137	(13.4)	56.1	5.0	443	(43.3)	12.7	1.7	366	(35.8)	3.5	1.0	1,022	(100.0)	15.3	1.2
三島	101	(15.9)	38.7	5.5	228	(35.8)	9.3	2.1	243	(38.2)	2.5	1.1	636	(100.0)	10.9	1.4
東部	278	(14.2)	51.2	3.5	800	(40.9)	13.0	1.3	690	(35.3)	1.4	0.5	1,956	(100.0)	13.5	0.8
北河内	150	(15.4)	51.3	4.7	382	(39.3)	13.0	1.8	343	(35.3)	0.7	0.5	973	(100.0)	13.9	1.2
中河内	128	(13.0)	50.9	5.2	418	(42.5)	13.0	1.8	347	(35.3)	2.0	0.8	983	(100.0)	13.0	1.2
南部	472	(19.7)	51.4	2.7	854	(35.7)	12.6	1.2	860	(36.0)	1.5	0.5	2,390	(100.0)	15.7	0.8
南河内	138	(18.1)	45.4	4.9	265	(34.7)	9.5	1.9	296	(38.7)	2.9	1.1	764	(100.0)	12.7	1.3
堺市	173	(19.7)	60.2	4.5	322	(36.7)	14.5	2.1	316	(36.0)	0.4	0.4	877	(100.0)	18.1	1.4
泉州	161	(21.5)	47.0	4.6	267	(35.6)	13.3	2.3	248	(33.1)	1.4	0.8	749	(100.0)	16.0	1.5

表6 医療圏別の5年相対生存率 - 胃<男女計> の注釈を参照

<女>

	進行度												全体 <sup>1)</sup>			
	限局			領域			遠隔									
	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差				
大阪府	683	(18.5)	61.6	2.1	1,270	(34.4)	10.9	0.9	1,327	(36.0)	1.9	0.4	3,691	(100.0)	16.5	0.6
大阪市	275	(18.8)	59.0	3.3	494	(33.8)	10.5	1.5	530	(36.3)	1.9	0.6	1,461	(100.0)	15.5	1.0
市北部	61	(20.5)	62.2	7.0	99	(33.2)	11.1	3.3	117	(39.3)	1.0	1.0	298	(100.0)	16.8	2.3
市西部	50	(18.3)	58.2	8.0	85	(31.1)	7.9	3.1	101	(37.0)	0.0	1.1	273	(100.0)	13.2	2.2
市東部	77	(19.0)	61.0	6.2	153	(37.7)	9.4	2.5	133	(32.8)	4.0	1.8	406	(100.0)	16.9	2.0
市南部	87	(18.0)	55.6	5.9	157	(32.4)	12.6	2.8	179	(37.0)	1.9	1.1	484	(100.0)	14.7	1.7
北部	109	(16.9)	66.8	5.0	236	(36.6)	14.5	2.4	234	(36.3)	0.9	0.6	645	(100.0)	18.2	1.6
豊能	68	(16.6)	67.5	6.2	165	(40.3)	12.6	2.7	139	(34.0)	0.8	0.8	409	(100.0)	17.2	2.0
三島	41	(17.4)	65.5	8.5	71	(30.1)	18.9	5.0	95	(40.3)	1.1	1.1	236	(100.0)	20.0	2.8
東部	114	(16.1)	56.0	5.1	262	(37.0)	12.2	2.1	237	(33.5)	0.9	0.6	708	(100.0)	14.4	1.4
北河内	59	(16.8)	53.6	7.0	133	(37.8)	9.2	2.6	122	(34.7)	0.9	0.9	352	(100.0)	13.2	1.9
中河内	55	(15.4)	58.6	7.4	129	(36.2)	15.3	3.3	115	(32.3)	0.9	0.9	356	(100.0)	15.5	2.0
南部	185	(21.1)	65.6	4.0	278	(31.7)	7.4	1.6	326	(37.2)	3.5	1.1	877	(100.0)	18.8	1.4
南河内	46	(20.1)	57.6	8.1	70	(30.6)	4.6	2.6	92	(40.2)	1.2	1.2	229	(100.0)	14.8	2.5
堺市	67	(18.8)	71.3	6.4	114	(31.9)	8.6	2.8	142	(39.8)	5.0	2.0	357	(100.0)	19.5	2.2
泉州	72	(24.7)	65.5	6.4	94	(32.3)	8.2	3.0	92	(31.6)	3.4	2.0	291	(100.0)	21.1	2.5

表6 医療圏別の5年相対生存率 - 胃<男女計> の注釈を参照

表10 医療圏別5年相対生存率 - 乳房

	進行度												全体 <sup>1)</sup>		
	限局			領域			遠隔			観察数	生存率	標準誤差			
	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差						
大阪府	4,275 (52.5)	95.6	0.4	3,019 (37.1)	74.6	0.9	471 (5.8)	19.4	1.9	8,146 (100.0)	82.6	0.5			
大阪市	1,323 (51.1)	96.5	0.8	967 (37.3)	75.4	1.5	176 (6.8)	18.0	3.0	2,590 (100.0)	82.4	0.9			
市 北 部	326 (55.3)	96.3	1.7	201 (34.1)	76.6	3.3	35 (5.9)	9.8	5.4	590 (100.0)	84.0	1.8			
市 西 部	222 (51.0)	99.6	1.5	162 (37.2)	74.5	3.7	31 (7.1)	23.7	7.9	435 (100.0)	84.6	2.0			
市 東 部	299 (50.3)	94.0	1.9	219 (36.8)	75.5	3.2	42 (7.1)	18.5	6.4	595 (100.0)	80.1	1.8			
市 南 部	476 (49.1)	96.8	1.3	385 (39.7)	75.0	2.4	68 (7.0)	18.9	4.9	970 (100.0)	81.9	1.4			
北 部	794 (51.6)	95.6	1.0	529 (34.4)	76.6	2.0	97 (6.3)	22.8	4.4	1,538 (100.0)	83.6	1.1			
豊 能	584 (55.5)	95.9	1.2	340 (32.3)	75.0	2.6	48 (4.6)	15.6	5.5	1,052 (100.0)	84.7	1.3			
三 島	210 (43.2)	94.7	2.0	189 (38.9)	79.4	3.1	49 (10.1)	29.8	6.7	486 (100.0)	81.2	1.9			
東 部	920 (52.6)	93.8	1.0	653 (37.3)	72.8	1.9	93 (5.3)	21.2	4.3	1,749 (100.0)	81.0	1.0			
北 河 内	473 (51.0)	92.3	1.5	357 (38.5)	73.5	2.5	48 (5.2)	19.5	5.9	928 (100.0)	79.9	1.4			
中 河 内	447 (54.4)	95.4	1.4	296 (36.1)	71.9	2.8	45 (5.5)	23.0	6.4	821 (100.0)	82.3	1.5			
南 部	1,238 (54.6)	96.1	0.8	870 (38.3)	73.9	1.6	105 (4.6)	17.0	3.8	2,269 (100.0)	83.4	0.9			
南 河 内	433 (57.0)	97.7	1.2	279 (36.7)	75.6	2.8	32 (4.2)	16.6	6.8	760 (100.0)	85.8	1.4			
堺 市	459 (55.1)	95.9	1.3	321 (38.5)	75.3	2.5	38 (4.6)	19.3	6.6	833 (100.0)	83.7	1.4			
泉 州	346 (51.2)	94.4	1.6	270 (39.9)	70.2	3.1	35 (5.2)	14.8	6.1	676 (100.0)	80.2	1.7			

表6 医療圏別の5年相対生存率 - 胃<男女計> の注釈を参照

表11 医療圏別5年相対生存率 - 子宮

	進行度									全体 <sup>1)</sup>		
	限局			領域			遠隔			観察数	生存率	標準誤差
	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差	観察数	生存率	標準誤差			
大阪府	1,713 (54.2)	89.9	0.9	1,071 (33.9)	47.4	1.6	219 (6.9)	10.9	2.2	3,162 (100.0)	67.8	0.9
大阪市	607 (52.7)	88.2	1.6	395 (34.3)	45.7	2.7	89 (7.7)	7.4	2.9	1,151 (100.0)	65.1	1.5
市 北 部	138 (52.9)	89.6	3.1	94 (36.0)	36.4	5.2	20 (7.7)	5.5	5.3	261 (100.0)	62.2	3.2
市 西 部	123 (57.2)	83.9	3.9	68 (31.6)	38.9	6.4	14 (6.5)	8.1	7.8	215 (100.0)	63.6	3.6
市 東 部	159 (54.8)	90.2	3.0	97 (33.4)	65.1	5.3	19 (6.6)	5.5	5.4	290 (100.0)	73.0	2.9
市 南 部	187 (48.6)	88.2	2.9	136 (35.3)	41.9	4.6	36 (9.4)	9.1	5.0	385 (100.0)	62.1	2.7
北 部	346 (52.7)	92.7	1.7	244 (37.1)	48.8	3.4	42 (6.4)	14.8	5.6	657 (100.0)	69.6	1.9
豊 能	173 (48.3)	90.1	2.6	139 (38.8)	46.6	4.5	26 (7.3)	4.1	4.0	358 (100.0)	64.9	2.7
三 島	173 (57.9)	95.5	2.0	105 (35.1)	51.6	5.2	16 (5.4)	32.0	11.9	299 (100.0)	75.4	2.7
東 部	312 (52.8)	90.4	2.0	202 (34.2)	43.1	3.7	36 (6.1)	15.5	6.4	591 (100.0)	66.3	2.1
北 河 内	157 (53.6)	88.3	2.9	100 (34.1)	41.6	5.2	15 (5.1)	8.4	8.0	293 (100.0)	64.9	3.0
中 河 内	155 (52.0)	92.4	2.6	102 (34.2)	44.6	5.2	21 (7.0)	20.0	9.0	298 (100.0)	67.8	2.9
南 部	448 (58.7)	89.6	1.7	230 (30.1)	52.4	3.5	52 (6.8)	10.6	4.5	763 (100.0)	71.4	1.8
南 河 内	158 (59.6)	90.6	2.7	81 (30.6)	53.6	5.9	18 (6.8)	5.8	5.7	265 (100.0)	72.4	3.0
堺 市	172 (65.6)	87.5	2.9	68 (26.0)	53.3	6.4	12 (4.6)	19.4	12.5	262 (100.0)	75.0	2.9
泉 州	118 (50.0)	91.4	3.0	81 (34.3)	50.5	6.0	22 (9.3)	10.0	6.8	236 (100.0)	66.2	3.3

表6 医療圏別の5年相対生存率 - 胃<男女計> の注釈を参照

長寿科学振興財団による  
がん医療均てん講演会

統計でみる大阪府のがん  
がんの征圧を目指して

---

2005年12月（非売品）

発行 大阪府立成人病センター 調査部  
〒537-8511 大阪市東成区中道 1-3-3  
Tel : 06-6972-1181（内線 2302）

印刷 未広印刷  
〒546-0033 大阪市東住吉区南田辺 1-10-5  
Tel : 06-6629-6881